縫いぐるみの
かわいい動物集

やさしく作れる実物大型紙つき

雄鶏社

色とデザイン

バニーとダンボ……1
ワンワンの家族　のら公とレディの親子
トラスティ　ブルドッグ　シャム猫……2
森の仲間　おしゃれな豚　リスのチー　バンビ　狸
小猿　とびうさぎ　まだらうさぎ　とぼけ熊……4
街の紳士と淑女たち　おしゃれなプードル
ペギーとペッグ　ペルシャ猫　黒猫のミー
グクシー……6
お出かけ　おすましなワン君とふくろうのカップル……8

☆マスコットやペットに！

デフォルムされたかわいいデザイン

かわいいバンビ……9
おしゃれなねずみたち　狸　小熊のクロ助……10
小象　うさぎ　小猫……16
吊し猿　にわとり　おしゃれな小熊……17
水浴びをする象　コンドル　くじゃく……18
カンガルーの親子　ペンギン……19
おしゃれなプードルとペルシャ猫……24
ブラック・キャット……47
にわとり……48

基本型動物の作り方

Iの型　作例仔馬……33
IIの型　作例ダンボ……36
IIIの型　作例カッパ……38
毛糸リングの作り方……41
縫いぐるみ動物のデザイン……25
表情のいろいろ……28
材料と用具について……32

やさしく作れる

かわいい動物集

☆飾り棚に、抱き人形に

からす　にわとり　とらの仔とらちゃん……12
たぬき　きつね……13
おどけたにわとり　いたずらねずみ……16
仔馬　仔豚　いたずら仔熊……17
鷲　ライオン　さい……20
黒牛　ひよう　きつね……21
キリンとライオン……40
のら公……42
ジョックのいろいろ……43
おすましのプードル　つながれたワン君……44
縫いぐるみの壁かけ——ふくろうと鳩の親子……46

そのまま使える実物大型紙

49〜56　73〜80

雄鶏社刊

この本をお使いになる方に

子供には夢を、大人には幼き日へのノスタルジアを誘う縫いぐるみの動物は、難かしいコツのいらない誰でも作れる易しいものです。

この本はその中でも特に易しく、皆に愛される作品、80数点を、色刷り頁と、それに続くグラビア頁に集めましたから、その中からお好きな動物をえらんでください。

全作品に実物大型紙をつけました。頁数の関係で、一頁に3～4点のせましたから間違えないように注意して、別紙に一応写してから布地を裁ってください。

作り方は活版頁に説明しましたが、33～39頁に基本型3種の作り方を、写真を併用して詳しく説明いたしました。先ずそれを読んでから、各作品にとりかかってください。

——デザイン——

飯野ゆり子

製作 フエニックス

斉藤公子

塚越清子

藤田桜

真野誠二

五十音順

——写真撮影——

阿部正二

松下正

本社写真部

——図版・カット——

白日工房

橋本一麿

遠峰健子

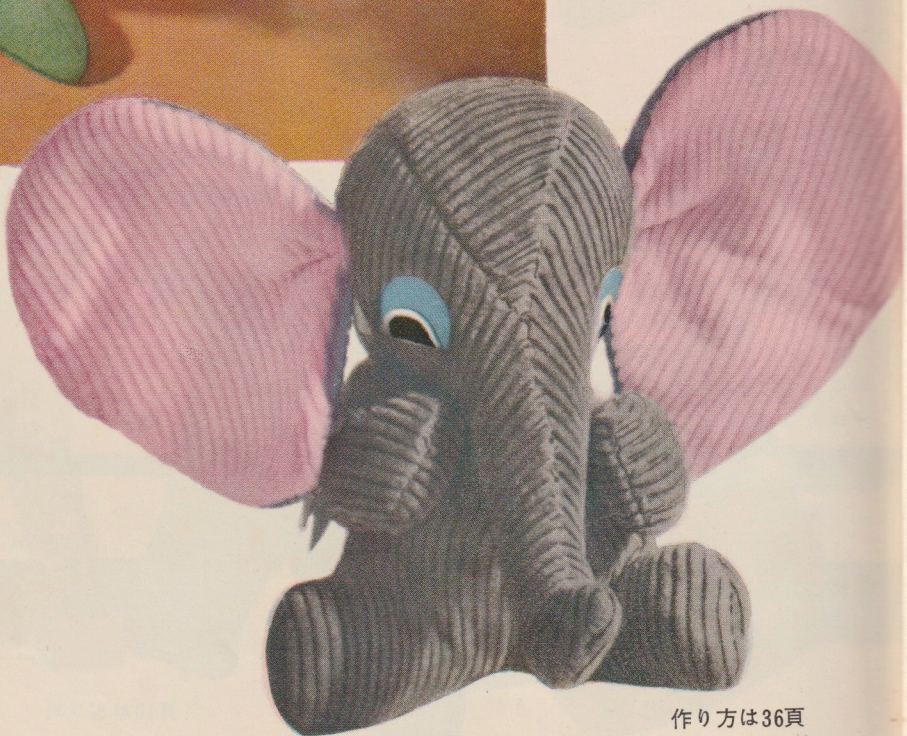
名柄禎子

この中の作品のデザイン権は製作者にありますからその商品化を禁じます

バニーとダンボ

暖かい春の日差しを浴びて、沢山お花をつんできた兎のバニーと、お友達がなくて一寸淋しそうな可愛いいダンボ。色やアクセサリーに好みを生かして、あなたのお部屋に夢をそえてください。

作り方は81頁



作り方は36頁

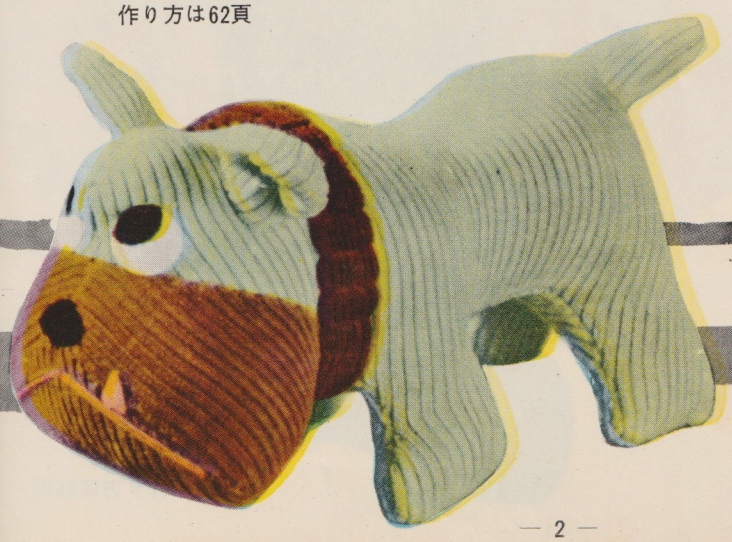
デザイン　飯野ゆり子
製　作　フェニックス

わんわんの家族

デザイン　飯野ゆり子

作り方は60頁

作り方は62頁



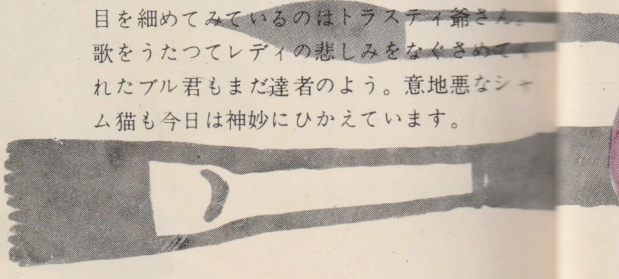
このデザインの著作権はウォルト・ディズニー・プロダクションズに属しますので、そのディズニー日本代理人永田雅一の了承なくして、これを商品として製作販売されることは禁止されております。但し、個人の趣味として販売の目的でなく作られることは構いません。

作り方は59頁

作り方は61頁

ワンワン物語の人気者達です。

めでたくノラ公の奥様になつたレディは、今もこんなに可憐な目をして、そつくりな二世を従がえて今日は記念撮影です。それを目を細めてみているのはトラスティ爺さん。歌をうたつてレディの悲しみをなぐさめてくれたブル君もまだ達者のよう。意地悪なシャム猫も今日は神妙にひかえています。



作り方は69頁

作り方は69頁

作り方は84頁

森の仲間たち

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フェニックス

作り方は83頁

作り方は58頁

作り方は66頁

森は動物達の楽園——それぞれに思い思いのいでたちです。小熊のクロちやんは片時もマフラーが離せないそう。おサル君は目下瞑想中。元気な兎今からお友達を探しに一。こちらでは、仲好しのリスの兄妹が、ブーちやんも一緒に、面白いことはないかと何か相談しています。そして元気な森の子供達をじつと見守つているのは兎の小母さんとバンビのお兄さん。

平和な森の一コマです。

作り方は58頁

作り方は60頁

パールのネックレスをしたお洒落なプードル。
を変えてセットにするとモダーンな感覚です。
いつも仲好しのペギーとペッグ。今日も話が
んでいます。同じ型紙でこんなに愉しいお友
が作れます。

街の紳士と淑女たち

作り方は64頁

右　おいたばかりしたので叱られて、一寸神妙にかしこまつたところです。

作り方は61頁

（上）くるくると巻いたループ・ヤーンの毛の中から、一寸顔をのぞかせたペルシヤ猫。淡い色で夢のように。

（下）大きな耳に、とがつた鼻のダックスフンド。細かいコツはいりませんが、パッキンダの詰めだけは固めに。

作り方は85頁

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フェニックス

お出かけ

おどけたふくろうも、小粋な犬のアヴェックも今日はおめかしでお出かけです。

ボディは難かしいコツのいらない単純なものですから、アクセサリーにいろいろと工夫をこらして、愉しい雰囲気を作つてください。

作り方は95頁

作り方は94頁

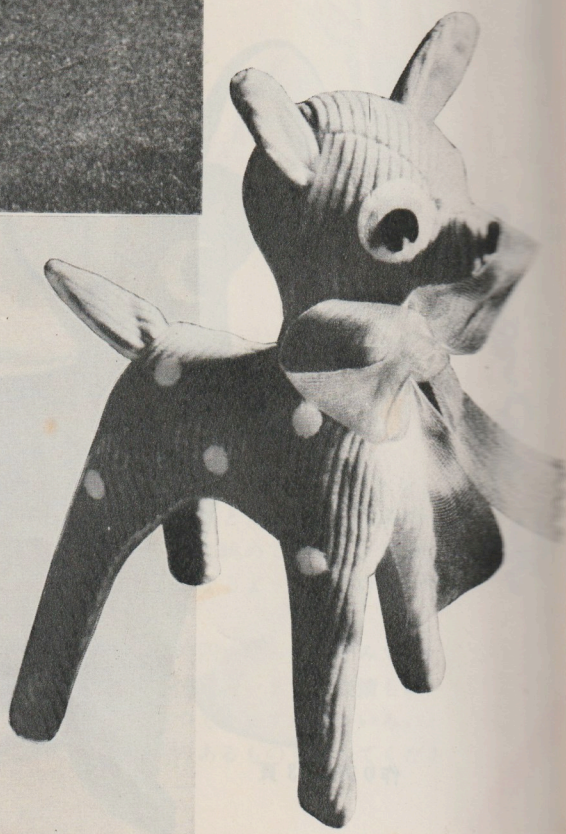
デイン　塚越清子

かわいい表情

仔鹿のバンビ

作り方は57頁

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フエニックス



まあ可愛いい！と思わず口に出るようなこの可愛らしさは一体どこから生れているものなのでしょうか。それはやはり作る者の愛情の反映なのです。

心をこめるということが、何より大切なのです。少し位縫目がまがつても、足がびつこでもあなたの愛情一つで可愛くなるものです。

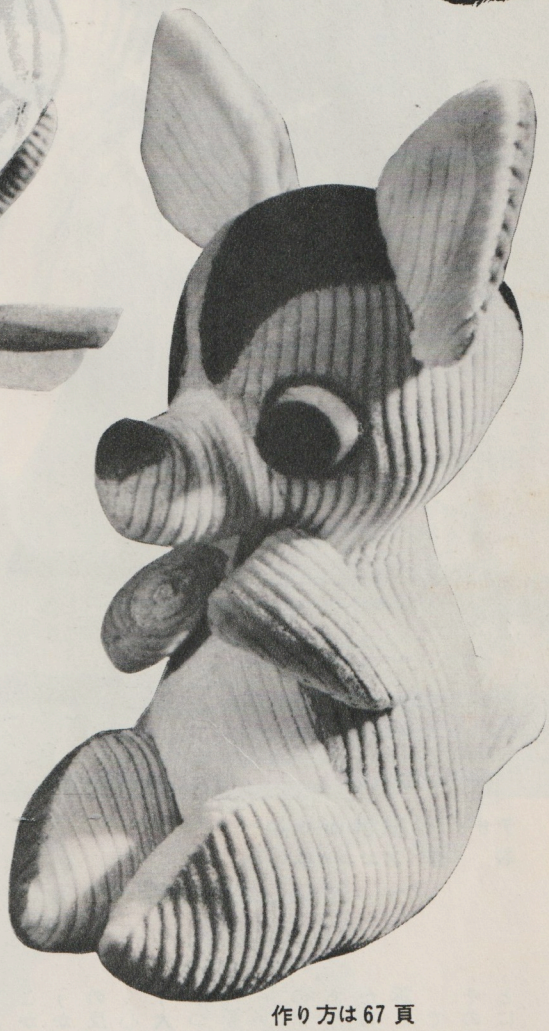
少し具体的にいいますと、表情のポイントは、何といつても目にあります。動物は口がきけませんから、目で自分のいいたいことを訴えているのです。

ですから作るものへの愛情を、その目に表現すればよいということになります。

ぼくらは仲よし

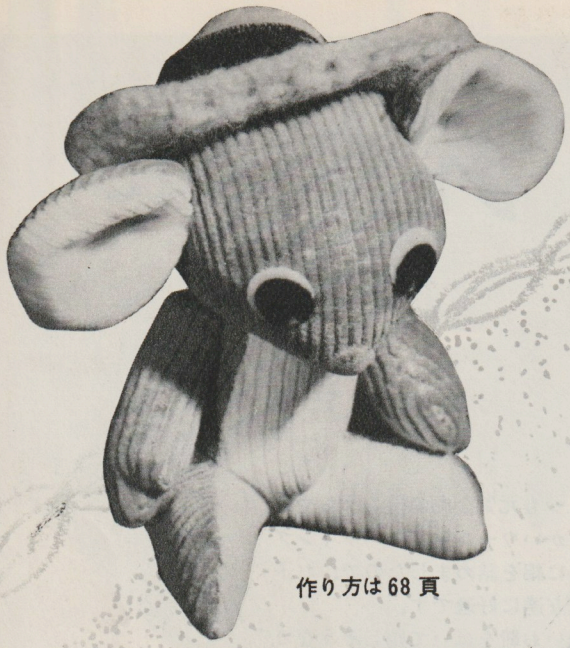
デザイン　飯野ゆり子
製　　作　フエニックス

作り方は 82 頁



作り方は 67 頁

作り方は 63 頁



作り方は68頁

作り方は67頁

作り方は66頁

たぬきと、熊と、ねずみの子供達。

じつと眺めていると、思わず微笑みかけたくなるようなあどけない可愛らしさです。

左の四点はみなねずみですが、こんなに表情が違います。表情もポーズによつて違つてきますから、いろいろ工夫して個性のあるものを作つてください。

お友達に

デザイン　斉藤公子

作り方は88頁

A　いつも元気な虎の子トラちやん。やわらかいウール地に、パッキングの代りに綿を詰めましたので、お子様のお友達に好適です。

B　赤いお靴をはいて嬉しそうなカラスの赤ちやん。これも飾るというより持つて遊ぶためのもの。

C　これは又赤いとさかのにわとり。羽にも薄く綿をしいて質感を出しました。

作り方は90頁

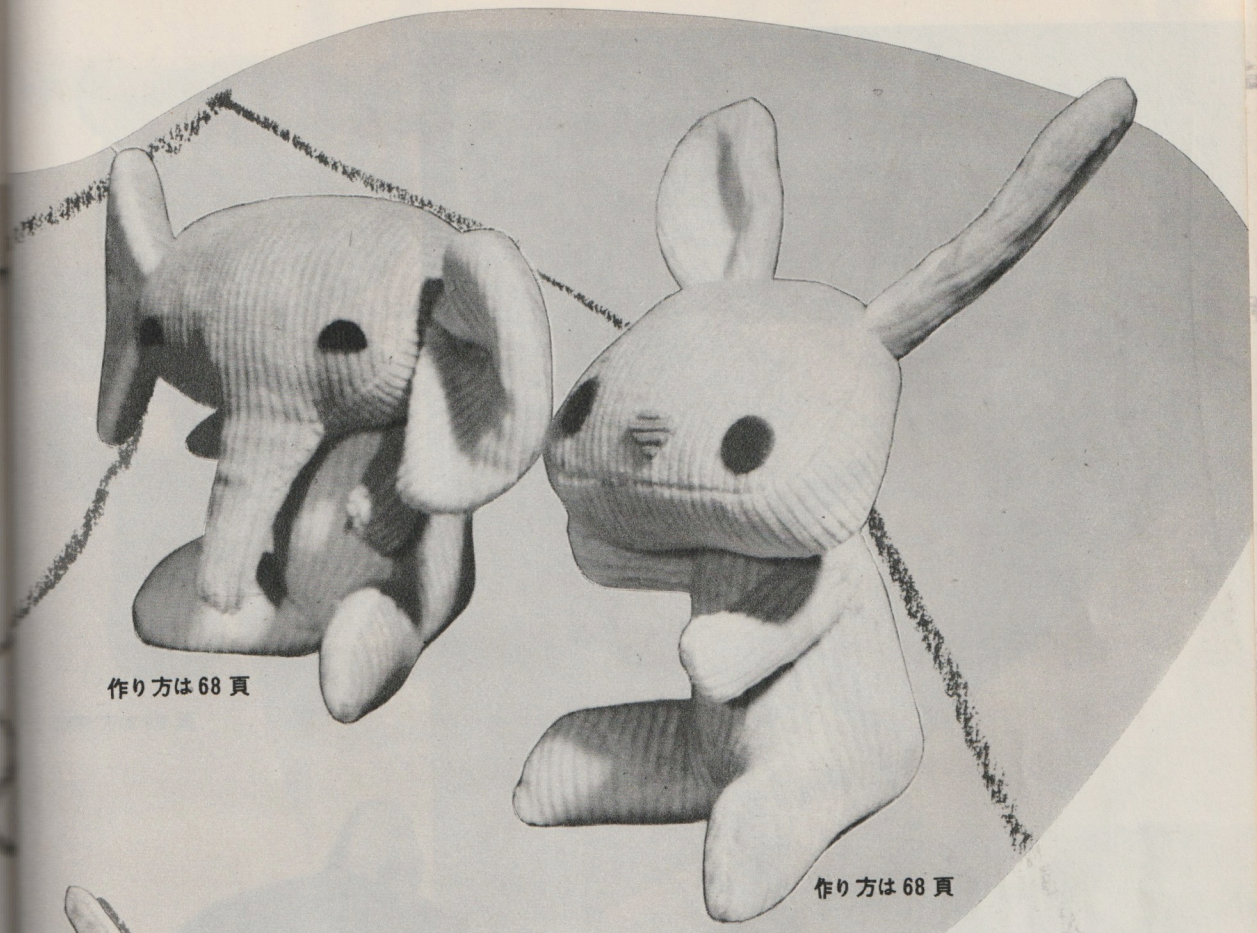
作り方は89頁

作り方は87頁

D　胴と足に較べて、耳と尾の大きな狐です。とがつた顔はしていますが、あまりだますのは得意でないようです。

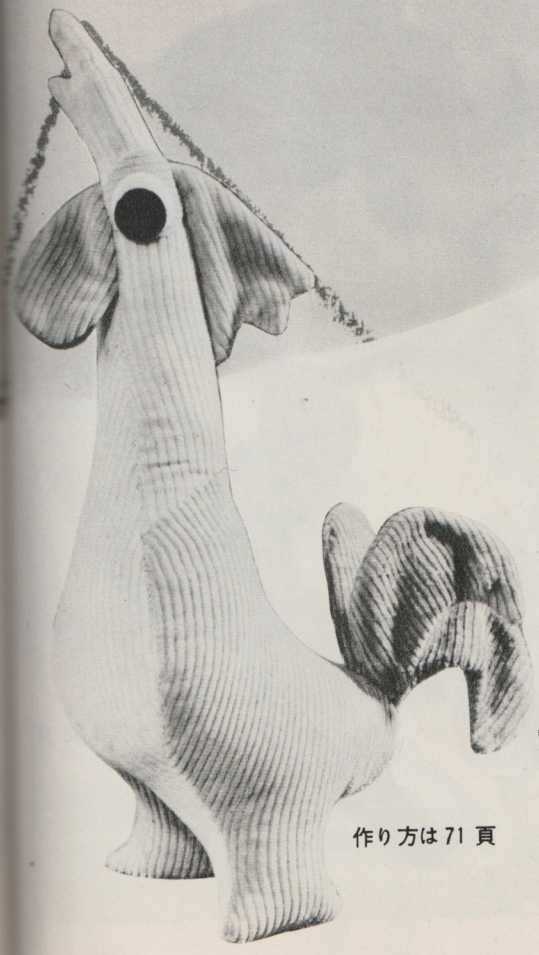
E　今にもお腹をたたいて和尚さんと競争を始めそうな、狸村のチャンピオン。

作り方は86頁



作り方は68頁

作り方は68頁



作り方は71頁

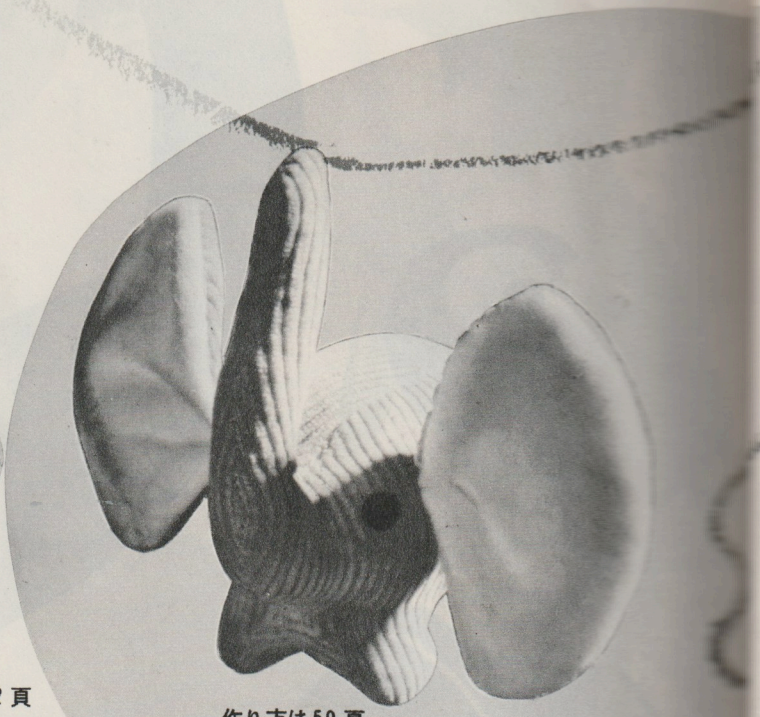
作り方は68頁

いつもお側に置いて頂くために、小さい動物ばかり集めてみました。

並んですわつたぞうとうさぎは、その下の黒猫と頭が違うだけでボディは共通です。つんと首の長いにわとりは、ボディの色を変えて楽しさをねらいました。

デザイン　飯野[illegible]子
製　作　フェニックス

作り方は82頁



作り方は59頁

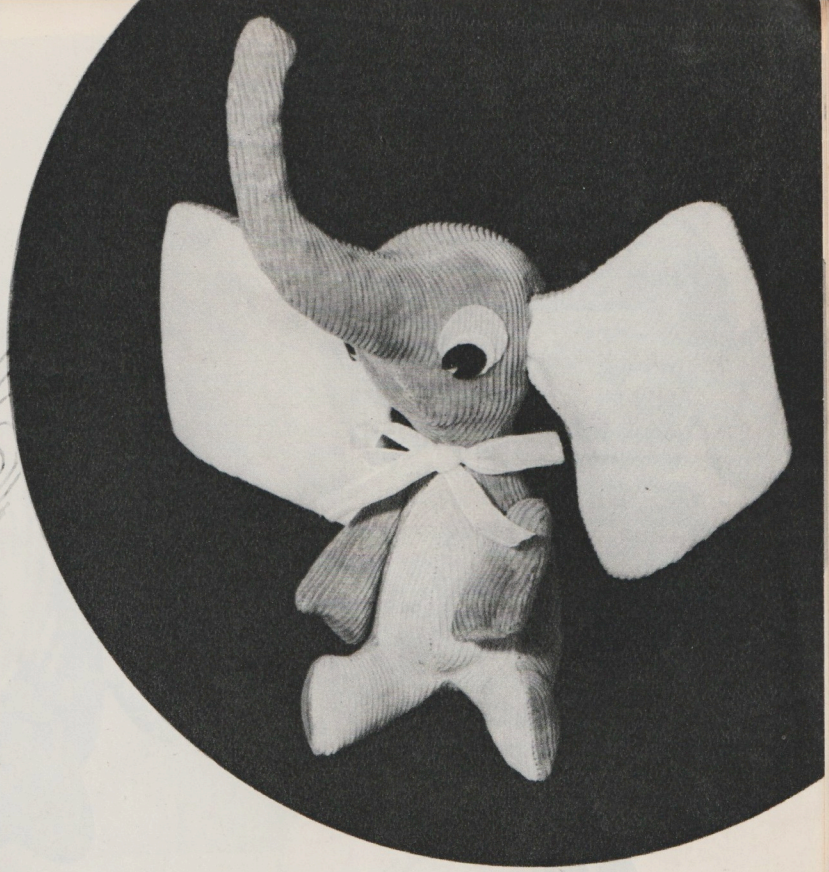
胴も手もぶらぶらと動くおサル君と、大きな耳のダンボはどちらも頭でつかちの人気者。

その下のやはり耳だけ大きな小犬は、裆も入らない一番簡単な縫いぐるみです。

かわいいデザイン

作り方は84頁

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フエニックス



作り方は72頁

作り方は70頁

作り方は70頁

動物の世界では、男性の方がお洒落なようです。ここに並んだ一匹二羽は皆男性なのですが、このスタイルをみてくださいといわんばかりの様子です。

おしゃれな動物たち

南極の人気者ペンギン。大きな毛糸のボンボンを胸に飾つて、一寸そりかえつてポーズを作つたところ。

暖かそうなショールを肩に、子供をお腹に、カンガルーのお母さんがお買物におでかけです。足の袋は入らなくてもよいのです。

作り方は71頁

作り方は85頁

いたずらっこ

デザイン　真野誠二

作り方は92頁

お台所の隅からの戦利品をくわえて一寸一休み。ナイロン・ブラシのひげも得意そうです。

鶏冠がまるで王冠のように素敵にわとりのマダム。きれいな色フェルトの小布があつたら、是非一つ作つてください。

作り方は93頁

作り方は96頁

作り方は92頁

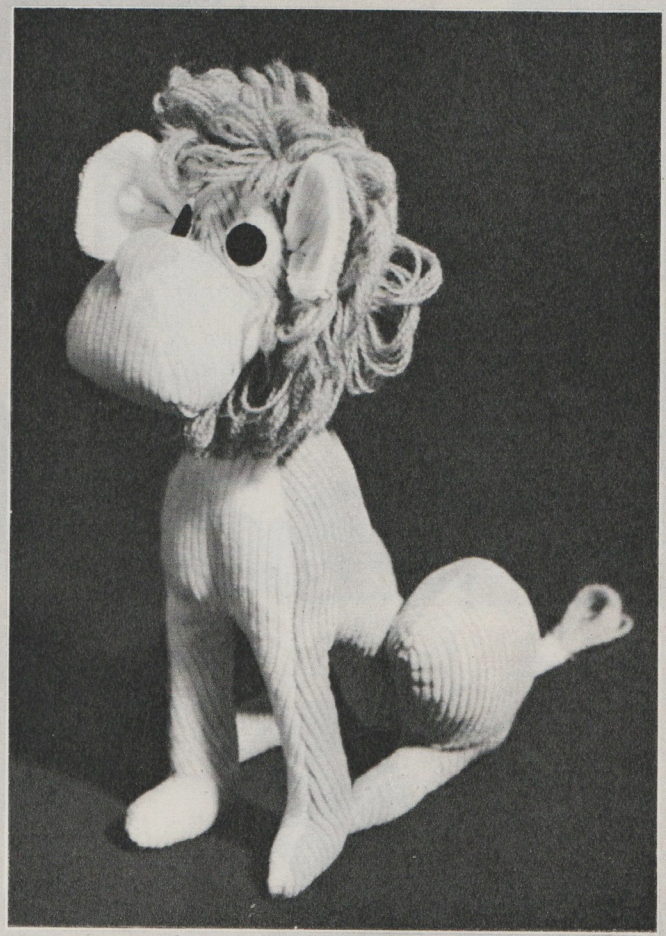
柔らかく暖かいウールは可愛いい仔馬。いくらお洒落しても泥の臭いの抜けない豚は、素朴でラフな味のあるコーデュロイで。お魚を釣りあげて御満悦の黒熊は、やつぱり黒の一番きれいなベルベッティでしよう。

それぞれの布地のもつ味を考えて作品を作りたいものです。

作り方は91頁

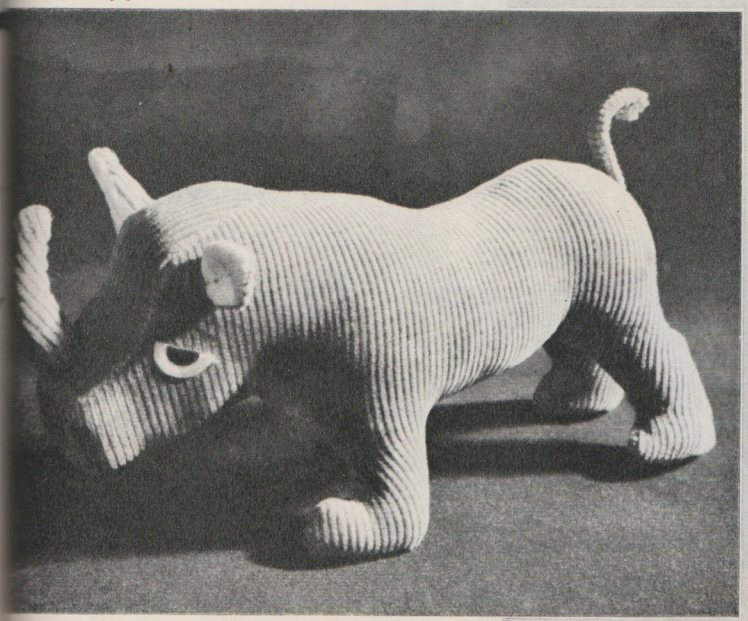
り方は71頁

大きな嘴とするどい目—鳥類の王の貫禄充分です。足に芯を入れて安定よく立つようにしてください。



作り方は84頁

り方は62頁



百獣の王も、このライオンは少しスマートで可愛すぎるようです。ライオン族の中のダンディというところでしょうか。

これは又猛々しいサイです。あまりリアルだとおつしやる方は、色を変えたらよろしいでしよう。

闘牛場のざわめきの中から出て
きたスペインの闘牛。赤と黒と白
を変えたところに、この牛の面白
さがあります。

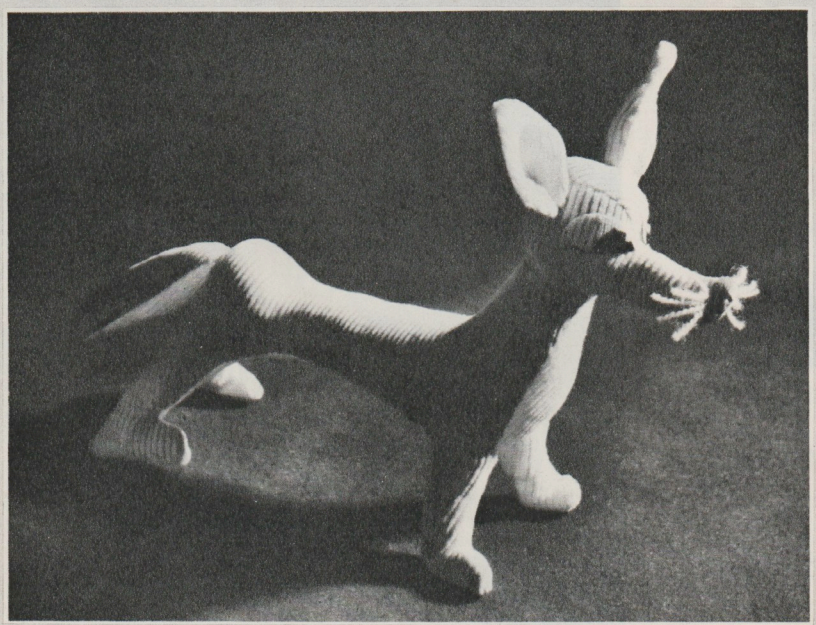
黄色と黒のコントラスト
かな豹。顔布が続いているので
イオンより簡単にできます。

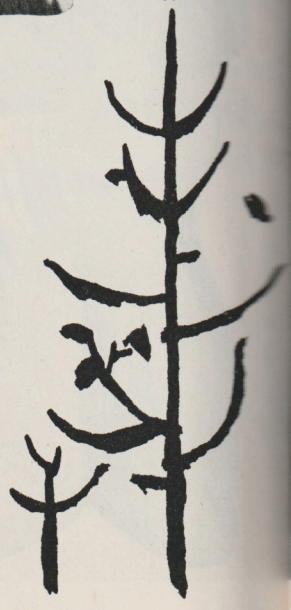
尖った顔に細い体の狐。太く
つては狐の猾猾さは出てきません

作り方は65頁

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フエニックス

作り方は62頁





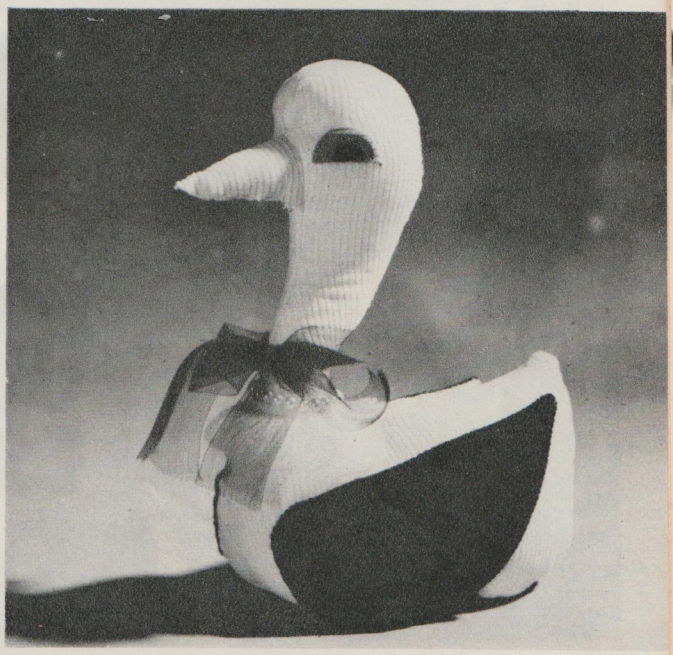
仲間

デザイン　飯野ゆり子
製　作　フエニックス

いたずらなカッパが集つて、又何か相談がまとまつたようです。基本型のIIIにくわしく説明しましたから、ポーズと表情を工夫して面白いものを作つてください。

海の青にも、空の青にもそまない真白いスワン。さしずめ水鳥の女王様です。スマートに品よくお作りください。

作り方は83頁



作り方は72頁

河の

作り方は 65 頁

ぽかぽかとよいお日和。亀の親子もお散歩です。あまり可愛がられない亀も、色をきれいにすると又面白味がでてきます。

作り方は

作り方は 72 頁

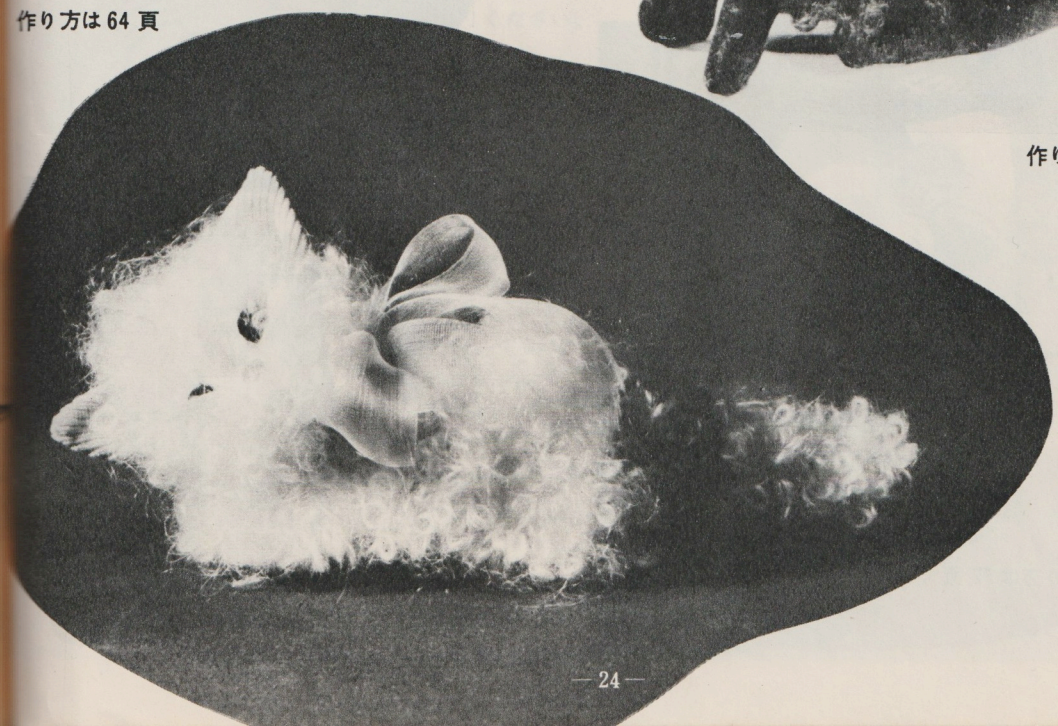
おすまし

デザイン　飯野ゆり子
製　　作　フエニックス

上　犬の中の貴婦人プードルのおすまし姿。地の色とループヤーンは必ず同系の色で、顔がつんと尖つて、一寸高慢そうな表情ですから、どちらかといえば、強い色の方がよいでしょう。

下　おねんねしている時も、お洒落を忘れないペルシャ猫。これは淡い色で体一面をループヤーンでおおいました。

作り方は64頁



作り方は83頁

特徴をつかんで
単純化します

実際の動物からどのように縫いぐるみへ変型するかということは、誰しも考えてみることでしょう。

それはまず、実物なりその写真なりをよく見ることです。そしてその特徴がつかめたら、その点を誇張するのです。

例えば、キリンは首も足もすばらしく長いので、長い四本足と首と、短いたてがみがあれば出来てしまいます。

馬も同じです。ただキリンと馬の違いをどこでつけるかということが問題になるのです。これは実物をみれば分るのですが、背中の線が違うのです。キリンは尾の方へぐっと斜に下っていますが、馬は殆ど真直横へ延びています。図示の馬は、首を長くすることによりその特色を一点に集め、足は短くしてしまいましたが、これでも馬の感じは出るわけです。

つまりどの場合でも、その特徴をよくつかみ、それを単純化するということが何より大切なことなのです。

豚
りす
バンビ
耳
耳
頭まち
ボディ
手
わ
ボディ
耳
頭まち
足まち
手
わ
足まち
頭まち
後足
まち
ボディ

バニー
ノラ公
ダンボ
鼻
鼻先
頭まち
ボディ
頭
アゴまち
耳
ボディ
耳
耳
足まち
頭まち
手
ボディ
足まち
後足
尾
手
頭まち

「目は口程にものをいい」という言葉がありますが、口をきくことの出来ない動物は、特に目だけでしかいいたいことを表現できないのです。それで動物を作る場合、私達は目にいろいろなことを語らせて欲しいのです。

それには、別にこの場合はこうしなければならないというきまりはないのですが、表情を作るのに、一応知っているとよいことを、いろいろな動物によってみてみます。

あひる　眠っているのではありません。何か一寸考え事をしているという様子です。それともお見合？はずかしそうな表情でもあります。

こういう風に、半月形を下向きにするとこんな表情が生れます。

豚、象　これは又嬉しそうな顔。あひるの目をさかさにするとこうなります。

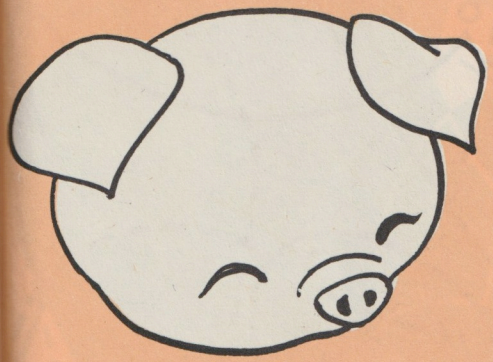
わし　わしのように鋭い目と、もののたとえにもあるように、これは特別すごい目です。

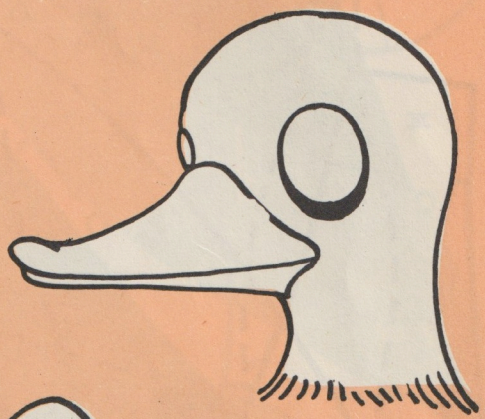
半円を下向きに、目尻を吊上げました。黒目を中央に寄せると、なおすごい顔になります。

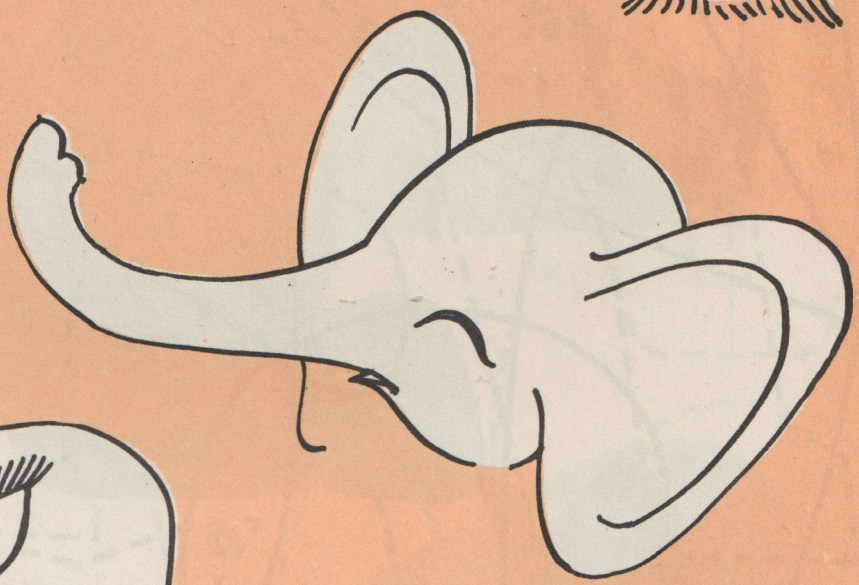
馬　わしの目を反対にしました。半円を上向きにして、細い黒目を下につけるとこんなにおとなしい馬が出来ます。

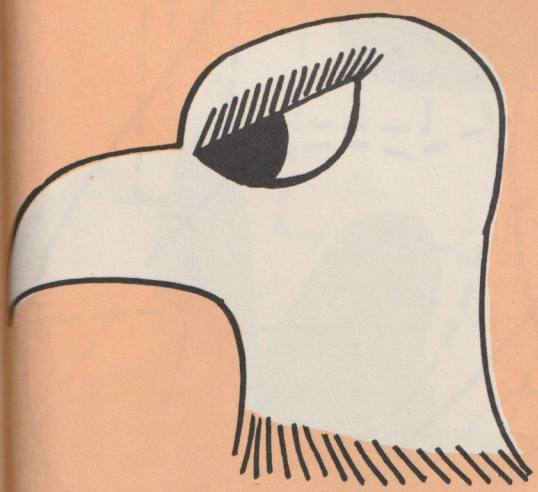
バンビ　これは又可愛らしい目。白丸の中に空色の半円、その中に小さな黒目、これだけの組合せでどうしてこんなに可愛くなるのでしょう。

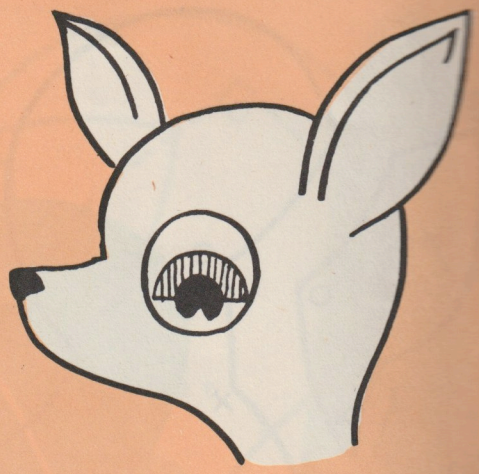
まず、白丸が大きいこと、半円が下を向いていること、黒目が小さく下の方についていること等がこの感じを作るのです。この組合せは色々使い途があります











動物の表情は
目がポイントです。

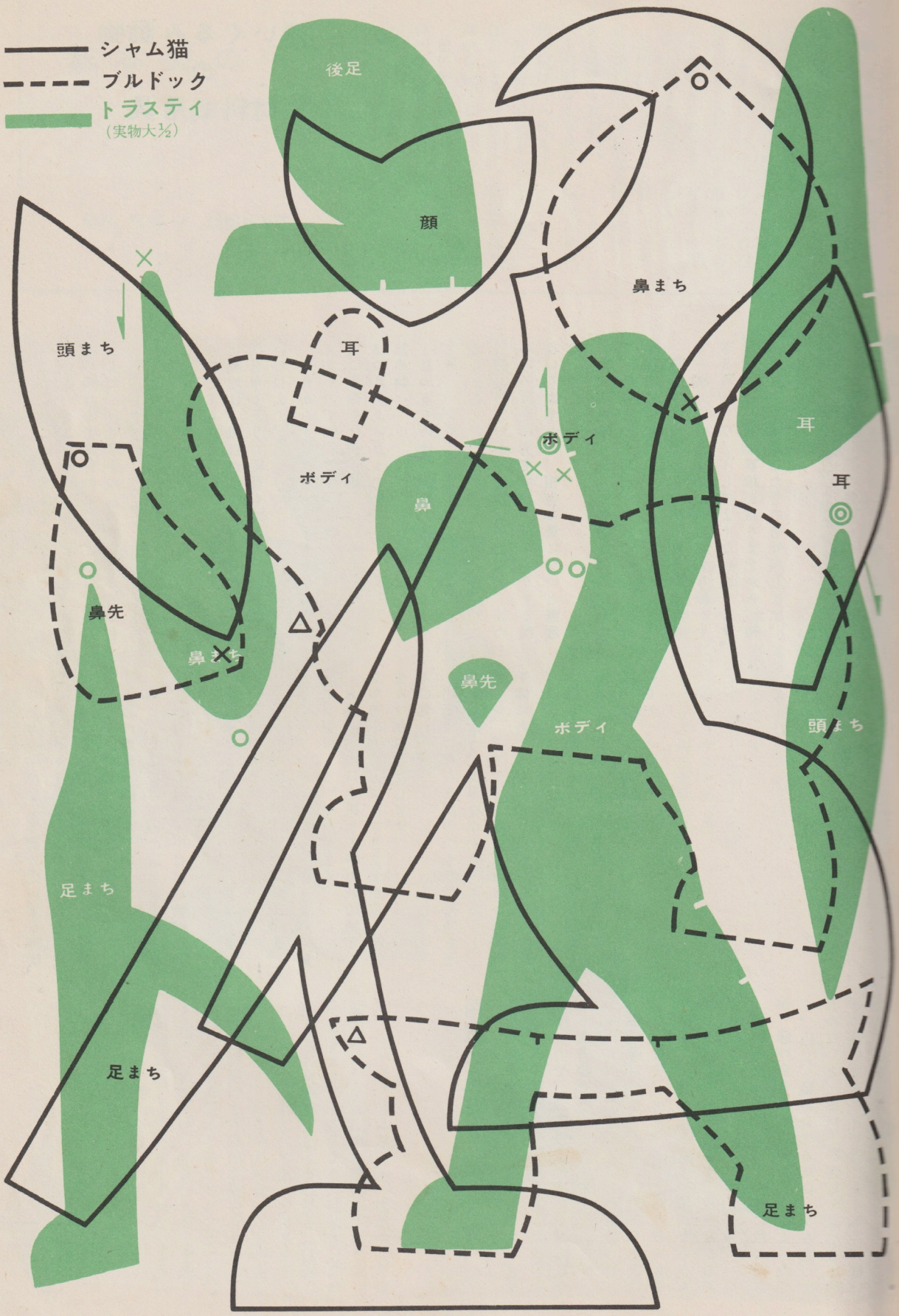
から研究してください。

きつね　名前を聞いただけでずるそうですが、この目はその感じを強調してみました。とがった白目が吊り上って、その上に黒目が上の方につけてあります。

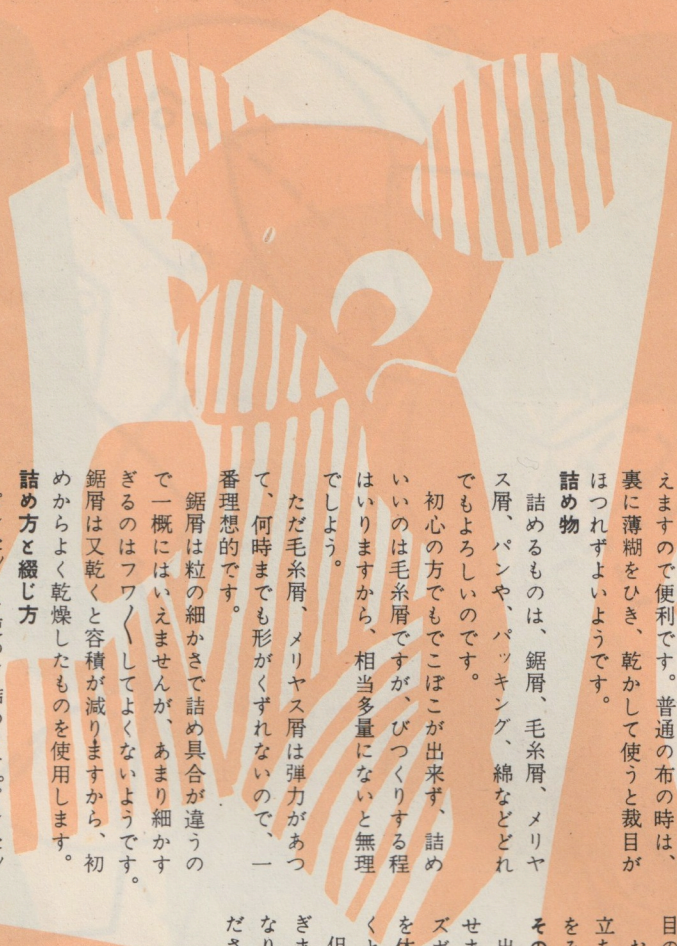
ライオン　これは何かに驚いているところ。それは目と目の間がくっついているからです。それから白目の割合に黒目が小さくて下についていること、眉毛が吊り上っていること等です。この黒目は中央に寄せても面白いでしょう。

す。この組合せは色々使い途があります

ノラの仔
レディの仔
レディ
鼻先
ボディ
頭まち
尾
鼻先
ボディ
頭まち
頭まち
耳
アゴまち
鼻先
尾
ボディ
耳
耳
尾
足まち
足まち
足まち


シャム猫
ブルドック
トラスティ
(実物大½)
後足
顔
鼻まち
頭まち
耳
ボディ
耳
ボディ
鼻
耳
鼻先
鼻まち
鼻先
ボディ
頭まち
足まち
足まち
足まち

縫いぐるみ動物の材料と用具



布地

これにはこの布地を使わなくてはいけないということは別にありません。お手持の残り布で裁目のほつれにくい、目のつんだ、一寸厚手のものでしたら何でもよいのです。この本の中では、手に入り易いのでコーデュロイ、別珍を多く使いましたが、メルトシ、メリヤス、化繊ウールなどでも、よいものが出来ます。ただ化繊地は、裁目がほつれやすいので、縫代を多くとり、縫目もできるだけ細かくいたします。

それから、目はフェルトがそのまま使えますので便利です。普通の布の時は、裏に薄糊をひき、乾かして使うと裁目がほつれずよいようです。

詰め物

詰めるものは、鋸屑、毛糸屑、メリヤス屑、パンや、パッキング、綿などどれでもよろしいのです。

初心の方でもでこぼこが出来ず、詰めいいのは毛糸屑ですが、びつくりする程はいりますから、相当多量にないと無理でしょう。

ただ毛糸屑、メリヤス屑は弾力があつて、何時までも形がくずれないので、一番理想的です。

鋸屑は粒の細かさで詰め具合が違うので一概にはいえませんが、あまり細かすぎるのはフワ〳〵してよくないようです。

鋸屑は又乾くと容積が減りますから、初めからよく乾燥したものを使用します。

詰め方と綴じ方

ピンセットを使つて詰めます。ピンセットは15糎以上の腰の強いものを使います。短いと手のひらに当つて手をいためます。

ピンセットがなくて箸で代用する時は、頭に綿、布等を糸でしつかりゆわえて使うとよろしいでしょう。つまりその位ぎゆつと詰めないと、あとで型がくずれてくる恐れがあるのです。

綴じ、刺繍には布団の綴じ針を用います。一枚の布と違い、中に詰め物がしてあるので、長さと丈夫さが必要なのです。

綴じ糸は木綿糸2本どり、又はカタン糸8番を使います。

ミシンの地縫は針は14番、糸は50番、60番のカタン糸又は、ハブ糸を使い、針目の目盛は「2」に合せます。

お腹の詰め口を綴じる時の糸加減で、立ち方や座り方にひびきますから、格好をみながらいたします。

その他

出来上つたら人間のつもりで着物を着せましよう。簡単なボレロ、スカート、ズボン、ジャケットなど、端布か新聞紙を体にあててピンでとめながら切つてゆくと型紙がとれます。

但し上着、ズボン、靴下、靴と揃えますと動物の素朴な可愛らしさがなくなりますから適当になさるようにしてください。

用布の見積りと裁ち方

用布の見積りは、多目にしてありますが、一匹では左右の型紙をさしこみにしにくいので、二匹以上一度にお作りになると経済的です。

それから左右を要するものを裁つ時、一番間違いのない方法は、用布を中表に二つに折り、ルレットで下側の布にもうつして、一緒に裁ちます。慣れないうちは、どうしても同じ面を二枚とりがちですので―。

頭に入れる襠は、バイヤスに裁つた方が、縫い合せる時自由が利いてよいのです。但し、縫い合せる時にピンを打つておかないと、標以上に伸びすぎて変な格好の頭になることがありますから、縫い合せに注意してください。

基本型の作り方

製作指導　飯野ゆり子

縫いぐるみの動物は、大別して後記のように三つの型に分けることができます。

その縫い方は別にむずかしいコツのいらない易しいものですが、手順よくきれいに仕上げるための参考にと、各型の中で最も基本的なものをとりあげて、写真を併用してくわしく説明いたしました。

各作品にとりかかる前に、一度目を通して、それから個々の作り方をみてください。

Iの型は4本足に、胸から足の襠が続けて入ります。

IIの型は前足(手)を別に作り、後からとりつけます。襠はやはり胸から続きます。

IIIの型は頭、手、足、胴を全部別々に縫い、後から組合せてとりつけます。

基本型I

型紙80頁

最も基本的な形態の四本足直立型です。

作例　仔馬

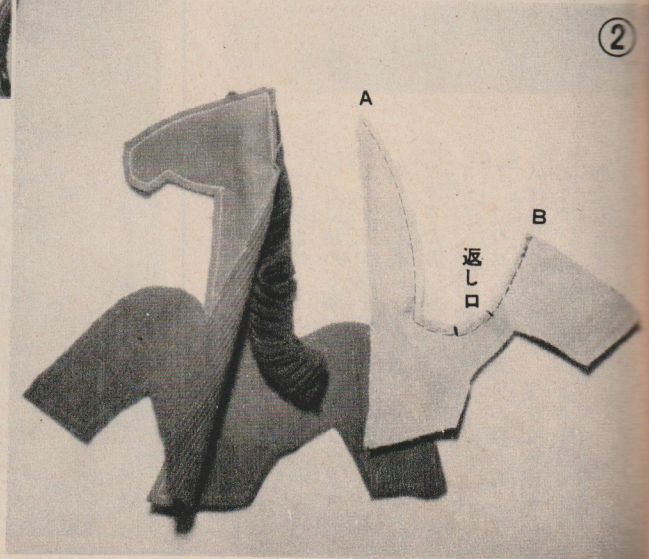
これには頭に毛糸のリングがたてがみとして入ります。普通はこの代りにバイヤスの頭襠布が入るのです。

材料　エンジ・コーデュロイ(ボディ)25糎巾25糎丈　クリーム・コーデュロイ(足襠)18糎巾26糎丈　たてがみ用黒極細毛糸少少

用具　ピンセット　鋏　目打　糊

①

②



1　ボディ、襠は左右各一枚ずつ、耳は表布だけ、全部0.5糎の縫代をつけて裁っておきます。毛糸リング(毛糸リングの作り方41頁参照)をくびの長さ(12糎)になるよう三本どりで作っておきます。

2　足襠布二枚を中表に合せ、途中返し口を3糎開けてAB間を縫い合せます。ボディ二枚の間に毛糸リング(たてがみ)を挟み、あご下から始まって鼻先を通り、首の付根迄、上側の布がずれないように気をつけて縫い合せます。

合せに注意してください。

③

④

⑤

3 足襠布をボディと中表に合せ、要所要所にピンを打ち、下側の足のお尻からあごの下迄ぐるつと縫います。

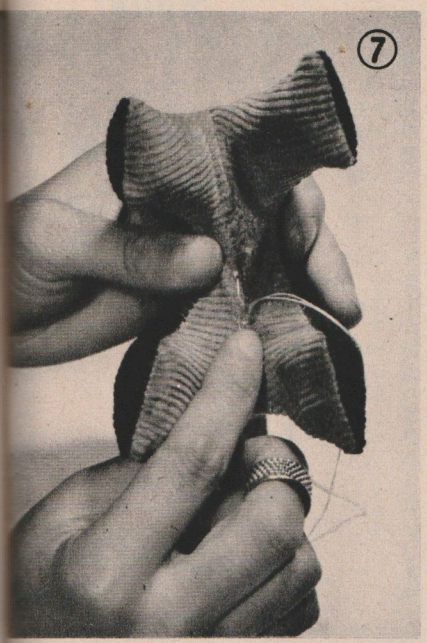
4 つづけて反対側をあご下から縫い下り、お尻迄きても切らず、背中を首の付根迄縫い上げます。耳は裁つてある表布を、中表に裏布（裁つてない）の上へのせ、縫い合せてから囲りを切り落しますとずれずに縫えます。

5 縫代の角々につれないように切り込みをいれ、ピンセットを使つて表に返します。

先ず鼻の先端をピンセットでしつかり挟み、毛糸に引かからないように注意しながら返し口迄押し出します。次に四本の足を順々に返し口迄持つてゆき、全部の先端が返し口に集りましたら、今度はピンセットを返し口からさしこんで頭を引張り出し、続いて四本の足を引張つてゆきますと布地をいためず楽に返す事ができます。

6 詰めにかかります。写真は鋸屑を使いました。ピンセットで少しずつ屑をはさんで鼻先から詰めます。急いで全体をふくらませようとすると、あとからは先の方に詰める事ができなくなりますから、しつかり先端を整える事にきをつけます。固くする事に一生懸命になると、布が延びすぎたり、足がびつこになつたりしますから、全体の形をよく見乍らして下さい。

7 立たせてお腹の部分が横からふくらんでみえないように、丈夫な木綿糸二本どりで、針目の出ないようにしつかりとお合せます。


⑦

パッキングは出来るだけ固く詰めます。 ⑥

基本型Ⅰ

—仔馬の出来上り—

打を足の方へ向けて深くさしこみます。太い目打がなければ、鋏で一寸切込をいれても良いのです。

9 その穴に糊をたっぷり付けます。

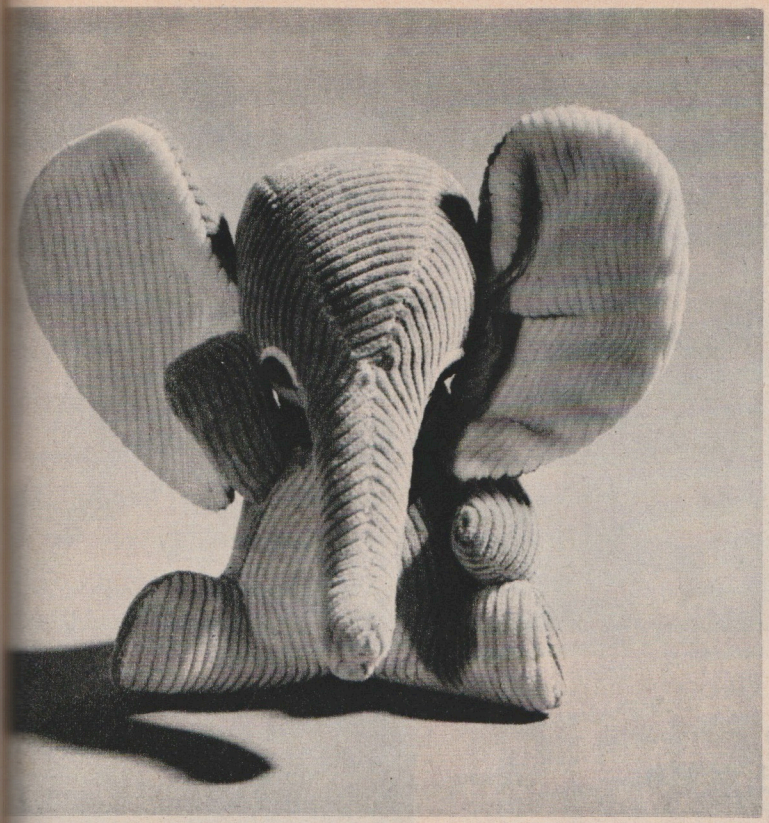
10 耳を外表に二つ折りにして穴のふちに当て、目打でぐっと押し込みます。糊がはみ出ないように。

11 しわのないように形を整えます。

12 出来上り写真を見ながら、目、手綱、又はリボン、くら等を自由に適当にお付け下さい。

基本型II

型紙27頁

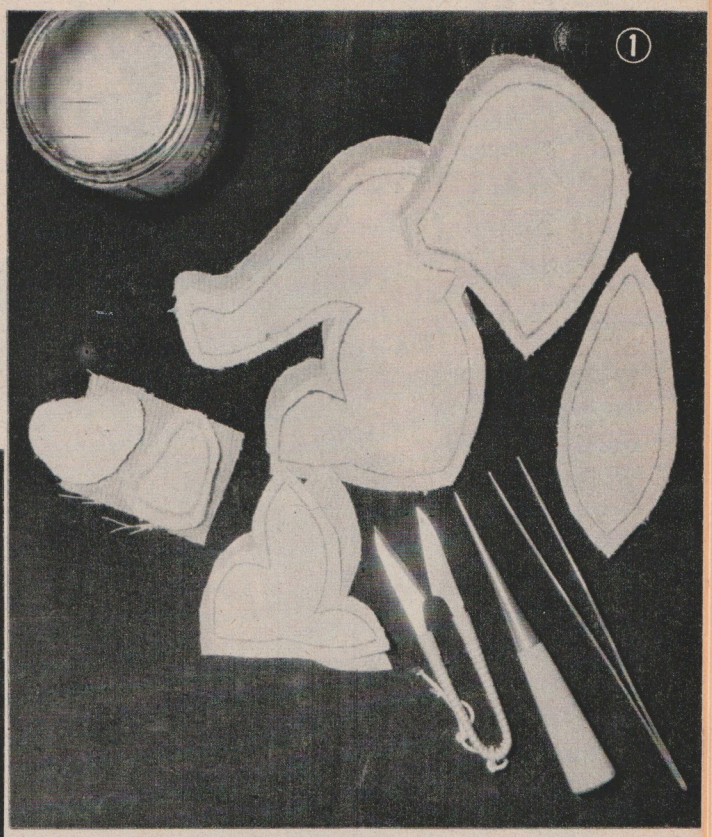


これは後足を投出して座っている形で、手（前足）は別に縫つて、あとから取り付けます。

作例　象

材料　グレー・コーデュロイ（ボディ、耳表）15糎巾25糎丈　クリーム・コーデュロイ（裆）16糎巾8糎丈　ピンク・コーデュロイ（耳裏）10糎巾12糎丈

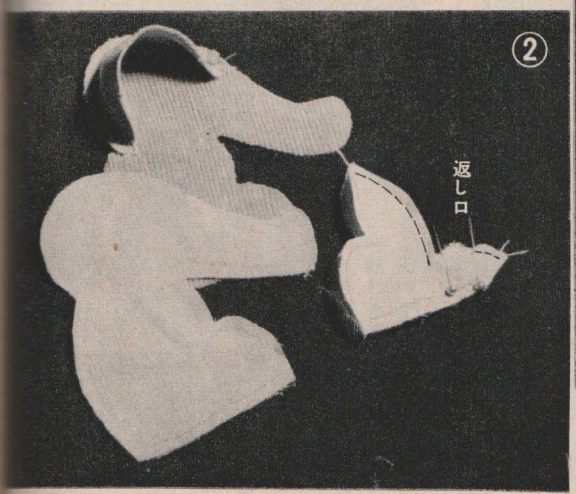
用具　ピンセット　鋏　目打　糊

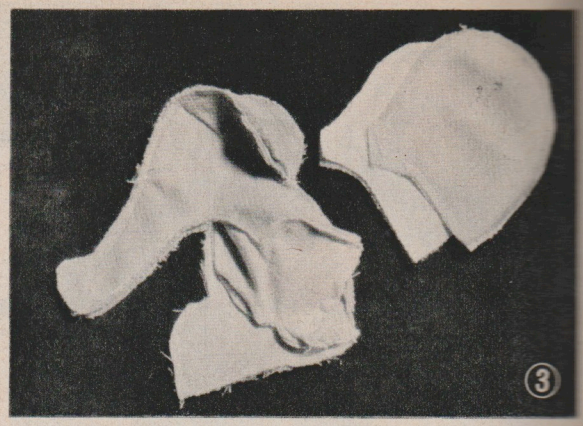


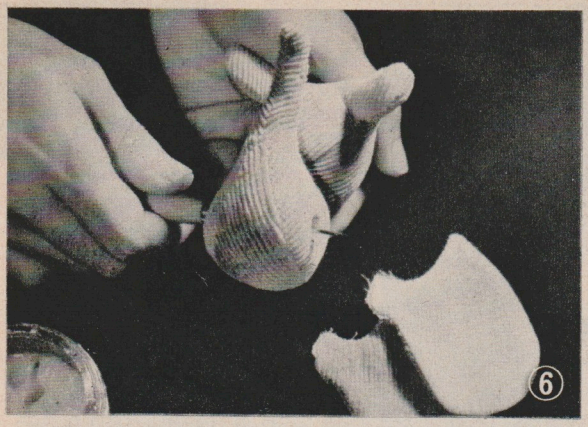
1　頭裆だけバイヤスで一枚とり、あとは左右各一枚ずつ、手は片面だけ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

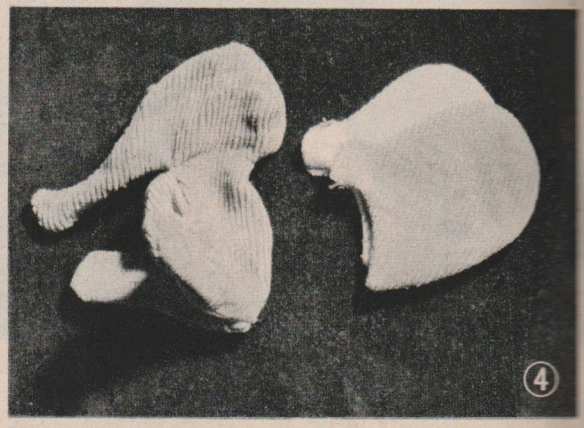
2　足裆二枚を中表に合せ、ピンを打つてある所（返し口）を外してA～B間を縫います。ボディ布の首の後角に頭裆の巾の広い方の先を合せて、しわのよらないようにピンを打つて縫い合せます。

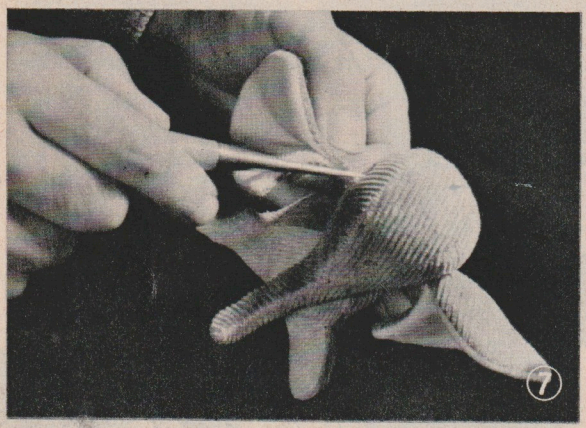
3　反対側のボディと裆を合せたら続けて鼻先を縫い、あごの下に足裆布（2の写真）を合せ、両足を縫い、次に背中を縫います。裆の合う所に穴のあかぬよう、きをつけて下さい。耳、手は裁つてある表布を裏布（裁つてない）の上へ中表にのせて縫い、あとから裏布を裁ち落します。

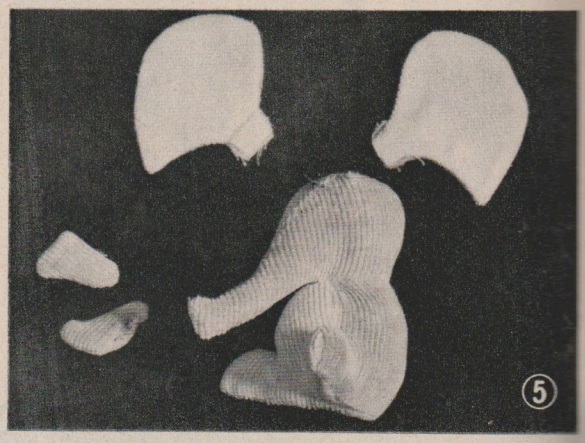


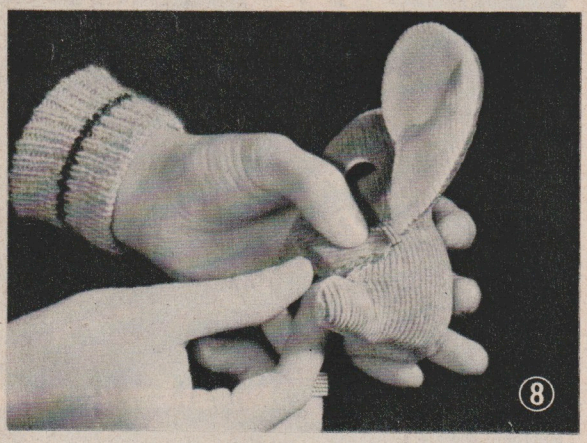












4 縫い代の角角に切込みをいれて表へ返します。鼻はよほどきをつけないと途中でつつかえて出てこなくなります。ピンセットで先端をしつかり挟んで破らないように押しこんでください。鼻が出てしまえばあとは簡単です。

5 馬と同じ要領で鼻先からしつかり詰めてゆきます。頬とお腹を可愛らしくふくらませ、引くり返らぬよう座り方にきをつけて詰めます。糸の見えぬようとじ合せます。手も軽くつめてとじます。

6 耳の位置を決めて左から右へ目打をさし通し、大きな穴があいたら、今度は右から左へ目打をさし通して、右の耳穴も大きくしておきます。

7 その穴に糊をたつぷりつけておき、耳を外表に二つ折りにして、穴のふちにのせ、目打で一息にぐつと押し込みます。左右をまちがえぬよう(尖つている方が、下になります)。

8 手を糸が見えないようにしつかり縫い付け、目を貼り、リボンを結びます。

基本型III

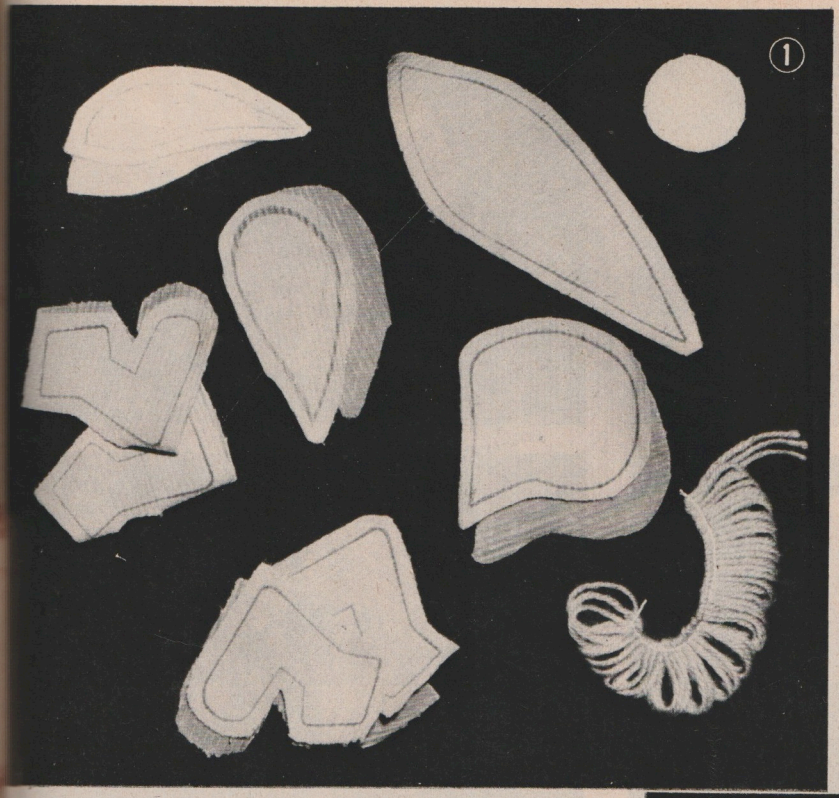
型紙76頁

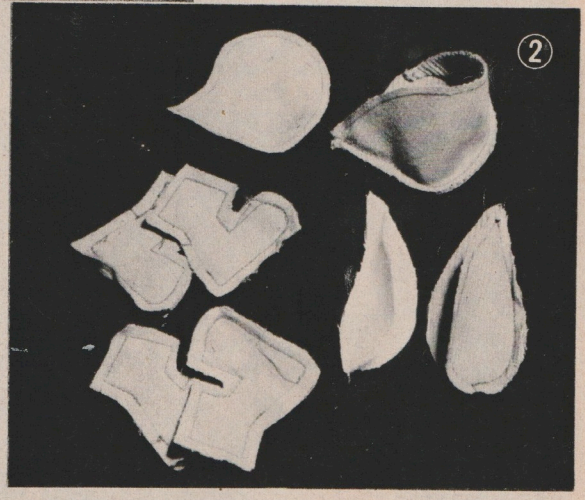
これは頭、手、足、胴を全部別々に縫い、詰めてから各部分を組合せます。

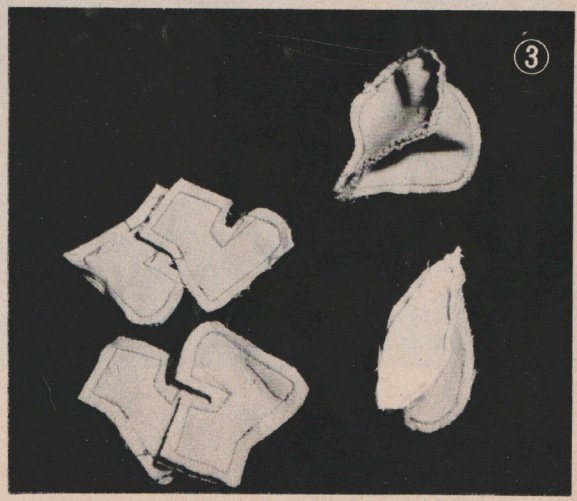
作例　座りカッパ

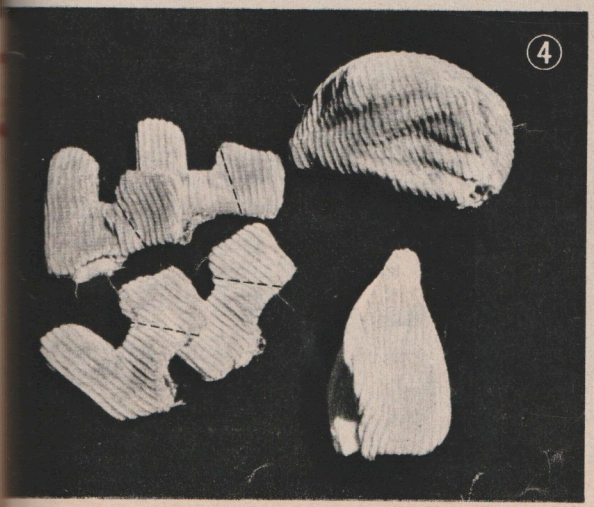
材料　ワサビ色コーデュロイ(ボディ)30糎巾25糎丈　ピンク・コーデュロイ(腹)8糎巾8糎丈　極細毛糸(グリーン、ピンク、黄)少々

用具　ピンセット　鋏　目打　糊





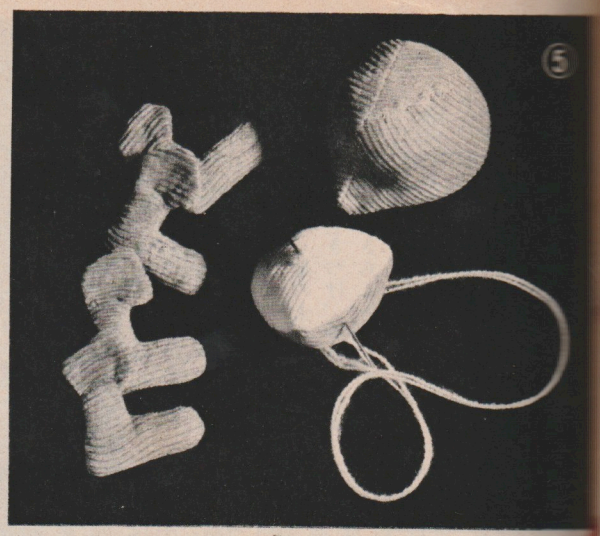


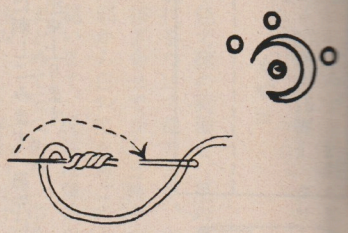


1　頭襠一枚、頭、背、腹左右各一枚、手、足は八枚(片面四枚裁つて馬の耳のように縫い合せてから裁つてもよい)0.5糎の縫代を付けて裁ちます。頭のお皿として直経2.5糎の円形を空色の布で切り抜いておきます。

髪の毛は馬のたてがみと同じ要領で巾2糎長さ8糎のリングをグリーン三本どりで作つておきます。

2　頭襠布は巾の広い方をあご下(平らな方)から合せて、しわにならぬよう、つれないように縫います。胴布は合標を合せ背と腹を別々に縫います。手足は1糎の返し口をあけてぐるりと縫い合せます。



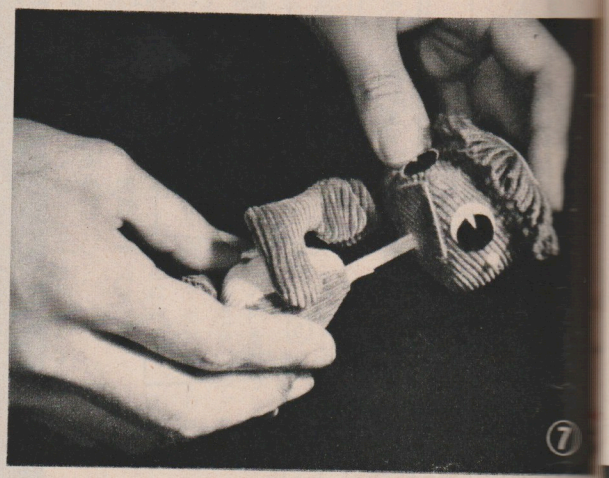


3 頭の片面をつける時、丁度お皿のつく所に返し口が開くようにします。背布、腹布を合せて太い方を返し口として縫います。

4 ピンセットを使つて上手に返して下さい。切込は手足の内側角一ヶ所でよいでしょう。手足を返したら、水かきになるように先の方にミシンをかけます。

5 詰めに入ります。気をつけることとしては、口をあまり尖らせない事、頬をふくらませる事、はなの所をへこませ、頭のてつぺんを平につぶす事等です。手足四本のうち、巾の広い方が足になりますからごろごろしないように平につめましょう。胴は置いた時にころがらないよう、底を平に詰めます。

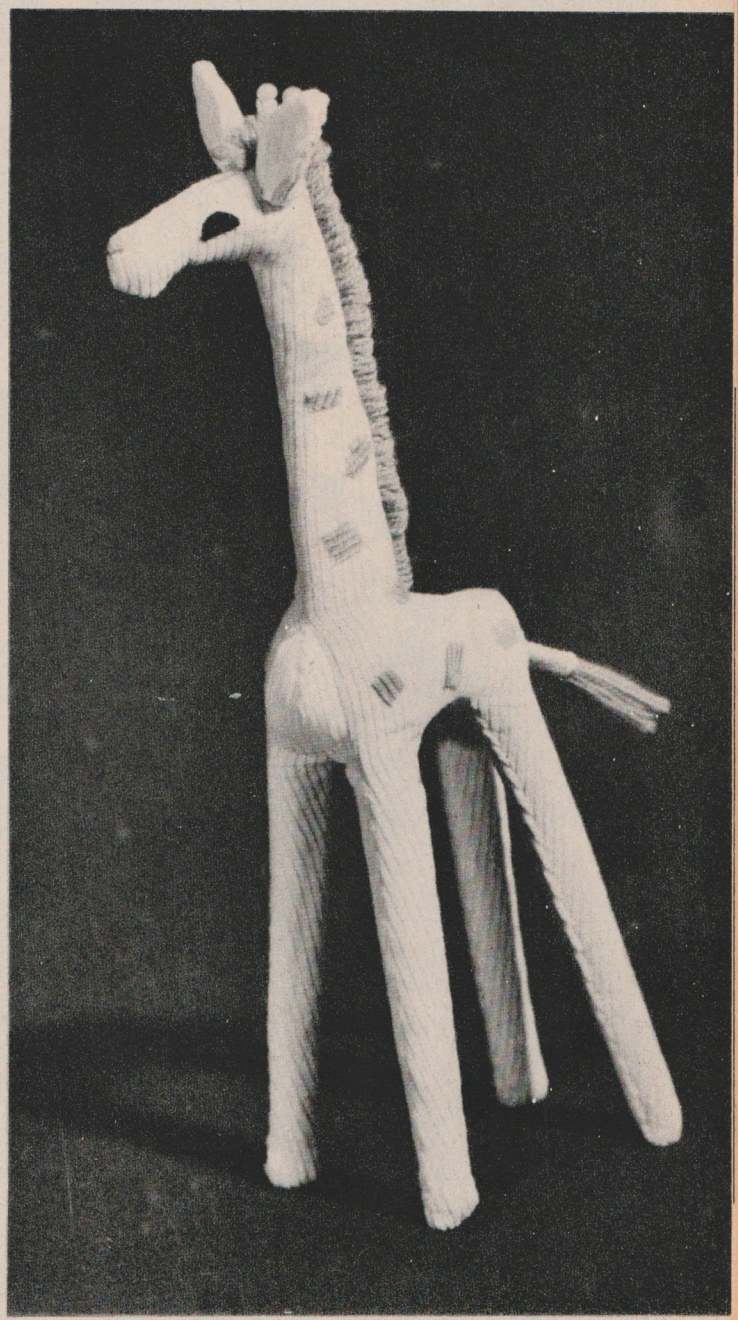
6 お腹の中央にピンクの毛糸でバリオンローズ（図参照）を刺します。二本どりで花は十五回、芯と葉は五回位。結び玉は作らず、背中の方から針をいれ、止めも作らず、反対側へ針を抜いて糸が見えないように引張つて切ります。手足を写真のようにしつかり縫い付けます。耳はピンクの毛糸でバリオンローズ（十回巻）、口は黄色で縫い、目の上にへの字に刺します。刺繍針は、ふとんのとじ針が好適です。丸い目を白と黒で可愛く貼り、髪の毛を輪になるよう貼りつけ、その上からお皿をかぶせます。



7 首は杉箸か竹箸を4糎長さに切り両端に糊をたつぷりつけて、胴と頭に、目打で大きい穴をあけた所へさしこみ、ぎゆつと押えて、箸が見えない様にします。

スタイリストのキリン

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙79頁　基本型Ⅰ



足も首もすらっと伸びたスマートなキリン。それだけに安定よく、固くしまった感じにお作りください。

材料　黄色コーデュロイ20糎巾60糎丈　白コーデュロイ6糎巾6糎丈　茶又はグレー（斑紋）、黒少々　茶又はグレー極細毛糸　割箸

作り方

ボディを黄色、衿を白で0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

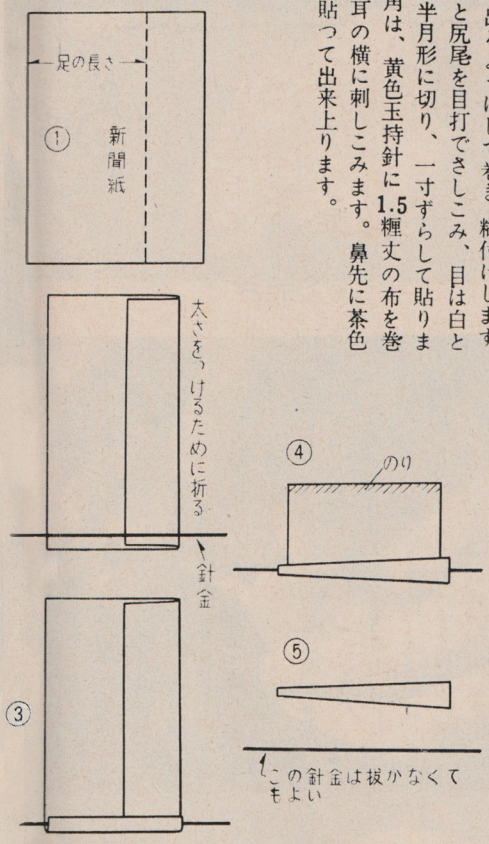
足衿を縫い合せ、ボディ布と中表に合せて衿の方を見乍ら足先がずれぬようにピンを打つて縫います。続けてあごの下から始め、たてがみ（下段毛糸リングの作り方を参照して1.5糎巾14糎丈）を挟んで背中まで縫い下します。縫い代に切り込みをいれて表に返します。足は割箸を足より2糎長く切り、足の太さになる迄新聞紙をぐるつと巻きつけ、一寸糊でとめて4本の足に先迄きちんといれます。足が入つたら鼻の先から鋸屑を詰めます。お腹に詰めすぎると両足が開いてしまいますから、前後からみて余り足がひろがらないようにきれいにとじます。

斑紋は体の下部に大きな模様がいくように布をきざみ糊で貼りつけます。

尻尾は1糎巾5糎丈にボディ布を切り、たてがみと同じ毛糸5本位束にして3糎外へ出るようにして巻き、糊付けします。

耳と尻尾を目打でさしこみ、目は白と黒を半月形に切り、一寸ずらして貼ります。角は、黄色玉持針に1.5糎丈の布を巻き、耳の横に刺しこみます。鼻先に茶色布を貼つて出来上ります。

足の芯の作り方



毛糸リングの作り方

(1)　ハガキ位の厚紙を長さ15～6糎、巾2.5糎に切り、一方の端を0.5糎の折線をつけひろげます。極細毛糸三本どりで、はじから平にぐるぐると必要な長さ（馬のたてがみは14糎、カッパは11糎）になる迄巻きつけ、巻き終りは一寸挟みこんでおきます。

お洒落なライオン

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙80頁　基本型II

ライオンのお国は暑いアフリカ。日射病にかからない予防でしょうか、今日は帽子をかぶつてお散歩です。

材料　辛子色コーデュロイ20糎巾30糎丈
白コーデュロイ20糎巾15糎丈　クリーム薄茶毛糸　リボン少々

作り方

ボディは辛子色で顔の両面と、足の裆は白で0.5糎の縫代をつけて裁ちます。ボディ布と顔布を接ぎ合せてから足裆をつけます。顔布上部から白の裆をあごの下迄つけ、背中を縫います。尻尾は薄茶の毛糸を七、八本まとめて三つ折布（巾2糎長さ15糎）に挟みミシンをかけます。針金をいれると格好がとり易くなります。ボディが出来たら詰めにかかります。顔に重心がいかないように足をしつかり詰め、胴を細く締めます。

たてがみは毛糸リングの作り方（下段）をみて薄茶毛糸五本どりで巾3糎長さ首廻りの長さのリングを四本作ります。首の周囲に糊をつけて、リングを四本並べて当て、はじを乾く迄ピンでとめておき、しつかり着いたら外します。

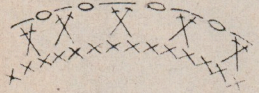
耳は目打でさしこみそのすぐそばに目を貼ります。鼻もこげ茶の円を貼ります。

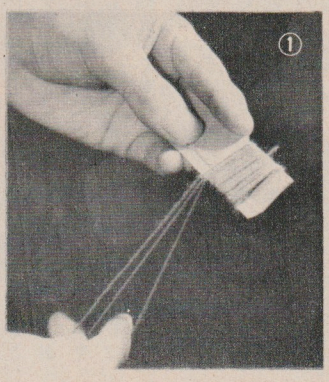
帽子はクリーム色極細毛糸二本どりで図のように編み、細いリボンをクラウンの囲りに巻き、合せ目にパール、釦等を飾りつけ、格好よく被せます。

帽子の編み方

頭の中心より編み始める。**一段目**　糸端で輪を作り、輪の中に細編を六目入れて引を引締める。**二段目**　全目に二目ずつ編み入れる。**三段目**　一目おきに二目ずつ編み入れる。**四段目**　二目おきに二目ずつ入れる。**五段目**　三目おきに二目ずつ入れる。六段より一〇段まで増減なく編む。**一一段目**　四目おきに二目ずつ入れる。以下一四段目まで増目の間隔を一目ずつ拡げてゆく。最後に外廻りに図のような縁飾りを入れる。

帽子をかぶせてからピンでリボンを形よく止めつける。

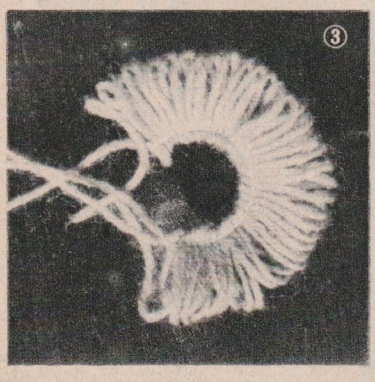




(2)　次に折線を折ると毛糸にゆるみができますから、一方に押し出して、それを縫代として毛糸だけにミシンをかけます。

(3)　紙を抜き出して出来上ります。

巻きつけ、巻き終りは一寸挟みこん



ノラ公

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙79頁　基本型II

口絵三頁のノラ公と同じですが、これは座っているので足が別になります。相当型が沢山ありますから、間違えないように裁ってください。

材料　グレー・コーデュロイ（ボディ、足、耳、尾表）25糎巾35糎丈　空色（鼻先、胸）ピンク（耳、尾裏）コーデュロイ少々　黒別珍、フェルト少々　ブルー・ループヤーン少々　黄色リボン　パール玉待針一本

作り方

型紙に0.5糎の縫代をつけて、ボディ、前足、耳、鼻先、後足各二枚、縦布で裁ちます。頭と胸の衿は斜布で各一枚。尾と耳裏はピンクで。

先ず鼻先とボディの頭部を標(●)を合せて接ぎ合せます。次に胸衿を標を合せて鼻先布と縫い合せます。ここが一寸はん雑ですから標に合せて間違えないように注意してください。頭衿は鼻先のへこんだところ(◉印)から背中へつけ下します。続いて返し口を残して胸衿の終りのところ迄縫います。つれないように縫い代に切り込みをいれて表へ返します。

前足は縦半分に折り、太い方を返し口として二方を縫います。後足は二枚裁ち、共布へ中表にのせてぐるりと縫い、周囲をたち落します(布がずれないため)。耳、尾は裏をピンクにして足の要領で縫います。これはさし込みますから返し口はとぢなくてもいいのです。

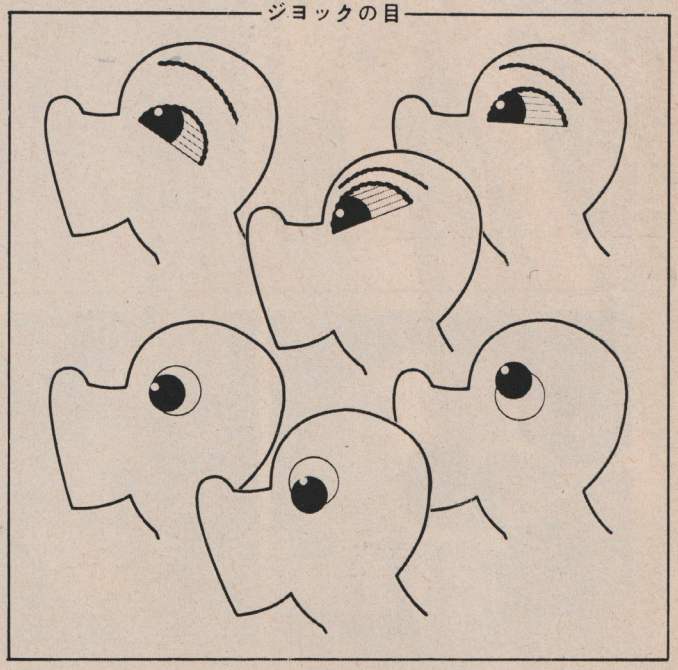
縫いあがつたら鋸屑を詰めます。前足だけは紙を巻いていれ(40頁参照)口をきれいにかがります。相当固く詰めたつもりでも、ぢきに柔らかくなりますからよく乾燥した詰物を使うように。その他鼻がとび出しすぎないようにすることと、頭を丸くするように気をつけて詰め、お腹は細く締めてきつちり綴じます。足をとじつけ、尾はまつすぐさし込み、耳は2糎位深くさしこんでから、丈の半分の所で前に折り、内側に糊をつけて起き上らないようにしておきます。

目は空色2.2糎、白1.5糎、黒1糎の円を切り、写真を参照してずらして貼り、黒にポスタカラーの白で一寸点をいれます。水色と白の丸の上に黒毛糸をぐるつと貼り眉とマツ毛の感じにします。

鼻先は黒別珍を貼りつけ、ヒゲはジョックを参照してつけます。

首にリボンを巻き、玉待針で止めて出来上ります。

ジョックの目



ジョック

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙78頁　基本型Ⅰ

お隣の小父さん犬、レディ達のいいお友達です。赤いチョッキを編んで着せたら、そつくりになります。

立つたのも座つたのも材料、作り方は同じです。布地、表情によつて同じ型紙でもこんなに変つた感じになります。

材料　座つたのは黒別珍、立つたのはコーデュロイ
ボディ25糎巾25糎丈　裏8糎巾8糎丈
クリーム・ループヤーン少々　パール、リボンなど

作り方

これは耳と尾の裏を除いて全部一色で、0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

足裆左右を合せ、AB線を縫います。返し口はあまり大きくしないように。

縫代を割り、ボディと中表に合せ、裆を上にして胸から足へ向つて縫いおろします。その糸を切らずに、反対側をお尻から胸へ向つて縫いあげ、続いてあごの裆を標を合せてピンを打ち四方を縫い合せてしまいます。鼻先の丸味を縫つたら、頭裆を細い方を前にして両側を縫い合せ、背も続けて縫います。これは耳としつぽが同じ型紙ですから、ピンクの裏をつけて、同じものを二枚作ります。

次にパッキングを詰めますが、この犬はあごが角張つているところに面白味があるので、特に気をつけて詰めてください。足がビッコにならないように。かたく詰めたらとじ合せます。

目は右頁の図をみて色々作つてみましょう。

眉毛は、写真では黄色のコーデュロイを半月型に切つて貼りましたが、毛糸をボサボサと貼りつけるのもジョックらしくてよいものです。

ひげはループヤーン（なければ極細毛糸）を二本の指にくるくると五回巻きつけ、そつと指を抜いて真中を白の本綿糸二本でぎゆつとしばり、その糸を針に通して鼻の両側に縫いつけます。

耳は内側に折つてピンと立ててさしこみ（35頁10番参照）、しつぽは写真のように、座つたのは下向きに、立つたのはピンと立ててとりつけます。

首には0.5糎巾のベルベットリボンを巻いて、合せ目にパールピンを刺して飾りと留め兼用にしたり、パールをつないで巻いたり、又はリボンを結んでもよろしいでしょう。

おさげのプードル

長く編んだお下げの先に、赤いリボンを可愛く結んだお洒落なお嬢さん。お下げをとって蝶ネクタイを結べば粋な紳士

デザイン　塚越清子

材料　ピンク・コーデュロイ巾34糎丈15糎　コーデュロイと同色の極細毛糸少々　赤$\frac{1}{2}$吋巾リボン45糎　黒別珍少々　パッキング　赤フェルト少々

作り方

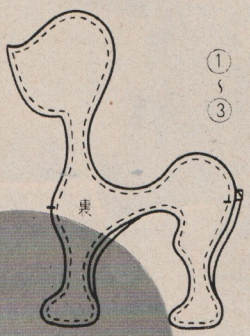
(1) 型紙に0.5糎の縫代をつけて胸と裆を裁ちます。

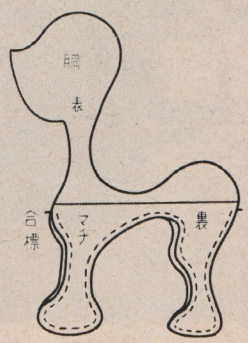
(2) 胸の布に裆を中表に合せて合標から合標まで足を縫います。

(3) 裆のついた布二枚を中表に合せ、合標から合標まで頭部を縫います。

(4) 表に返し腹部からパッキングを詰め詰め口をまつります。

(5) 黒の別珍を直径1.5糎の円に裁ち同色





て鼻先にとりつけます。

(6) 胸の共布を巾1.5糎丈2糎に裁ち切り指先で巻いてまつり、尾の位置にとりつけます。

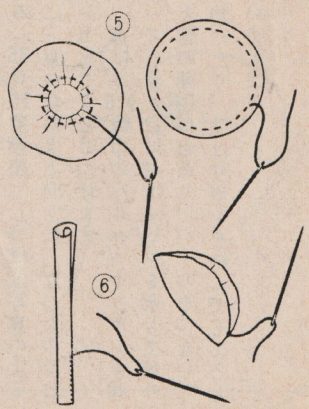
(7) 黒別珍で眼を裁ち糊で貼りつけます。

(8) 極細毛糸30本を7糎に裁ち、3等分して三つ編みにし、これを2本作ります。

(9) 首筋の真上にあたる頭部に三つ編み毛糸をかがりつけます。

(10) 毛糸3本どりでリング編みにし、4本の足首に一組づつと腰と頭に可愛らしく毛糸を置いてみて形がきまったら糸で要所要所を留めつけます。

おさげの先に丸みをつけ、犬の口の辺に目打で穴を明け、フェルトの先に糊少々つけて差し込みます。



つながれたワンちゃん

デザイン　塚越清子

つながれた紐が一寸痛々しいように細い、スマートなワン君。山小屋風のオルゴールの箱にでもつなぐと洒落ています。

材料　コーデュロイオレンジ(胴、耳表)40糎巾17糎丈　コーデュロイ黄色(袴、耳裏)40糎巾9糎丈　足の飾りに木ビーズ赤24個　黒0.5糎巾ビロードリボン20糎丈　黒別珍少々　パッキング

作り方

(1) 型紙に0.5糎の縫代をつけて、胴、耳、袴各二枚ずつ縦に布目を通して裁ちます。

(2) 胴の布に袴を中表に合せ、合標から合標まで足を縫います。

(3) 袴をつけた胴布を中表に合せ、合標から合標まで頭部を縫います。これで詰め口を残して形ができたわけです。耳は中表に合せ縫い返しておきます。(おさげのプードルの図を参照)

(4) 腹部からパッキングを詰め、詰め口をまつります。

(5) 黒の別珍を直径1.5糎の円に裁ち、周囲を縫いしめ鼻の位置にかがりつけます。

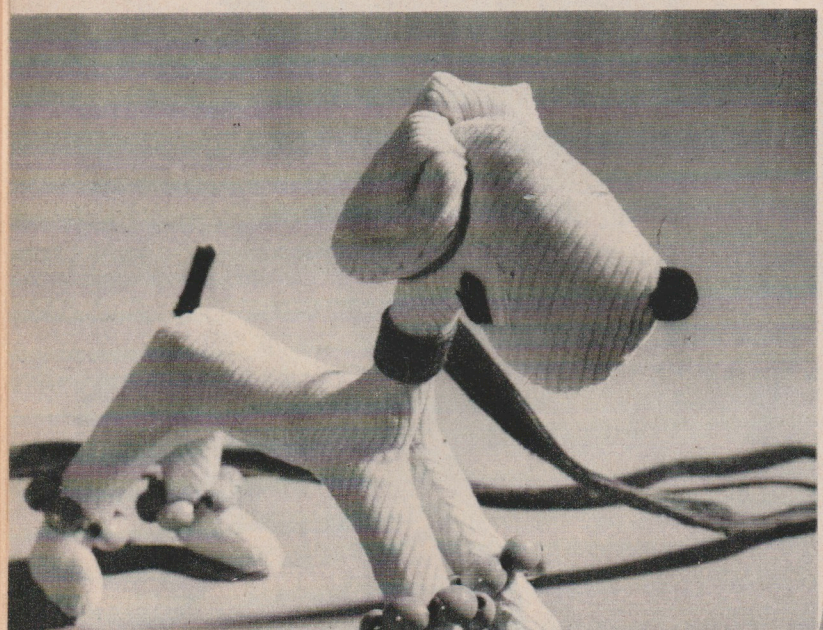
(6) 尾は黒別珍を巾1.5糎、丈2.5糎に切り、くるくると巻いてまつり、胴の尾の位置に目打で穴を明け、先を差し込んでまつります。

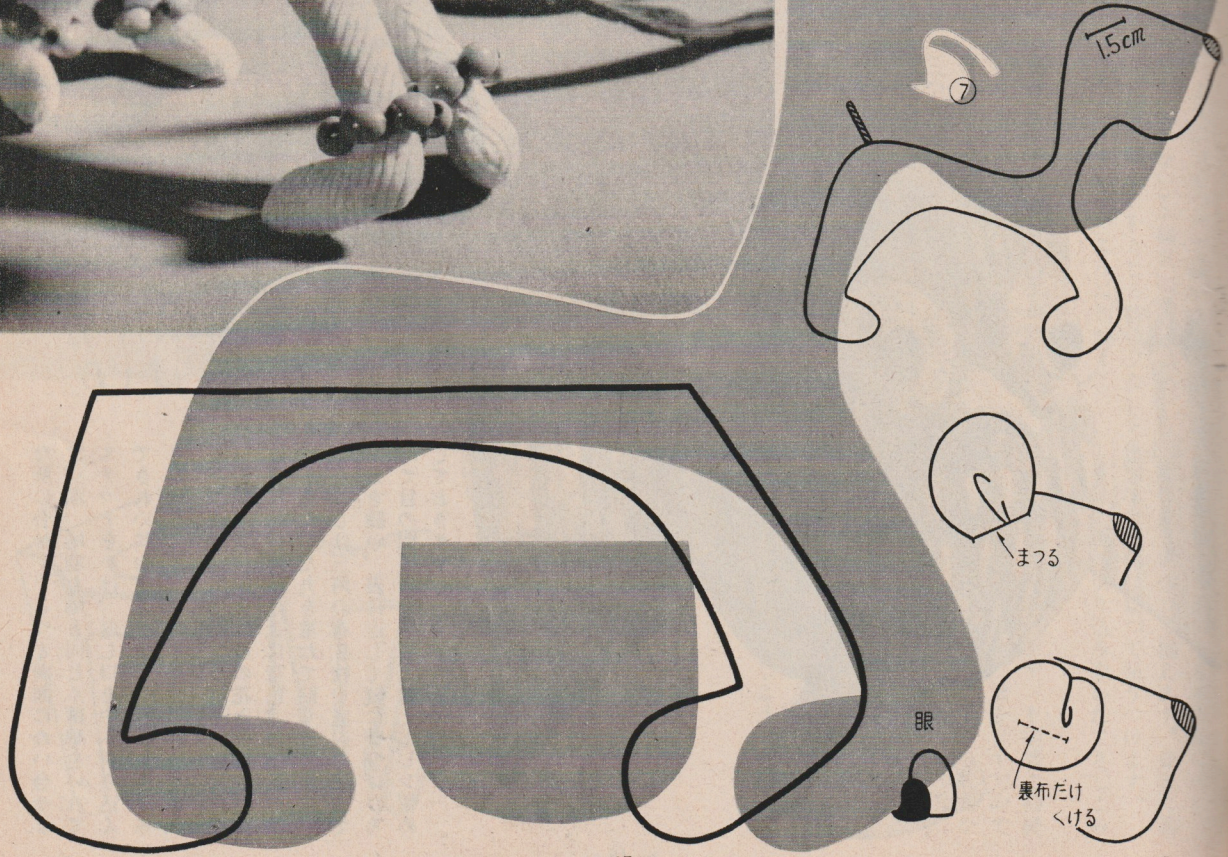
(7) 耳の位置に1.5糎長さの切り込みを入れ、耳の裁ち目を一つヒダを取り、その切り込みに差し入れ、図の位置をまつり、耳を倒して裏側だけ胴にくけつけます。

(8) 黄色コール天と黒別珍で図のように眼を切り、糊ではりつけます。

(9) 足首に木ビーズを糸に通し、飾ります。

(10) 黒のリボンを首に巻き、糸で留めてそのリボンをスタンドとかオルゴールなどにつないでおきます。





縫いぐるみの壁かけ

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙78頁

一つの試みとして壁掛を作ってみました。ふくろうは片面ですが、鳩は両面使えますから、色ちがいにしますと今日はピンク、明日はクリームと変った気分で眺められます。

又天井、鴨居等から糸で吊しておくとひとりでくるくる廻ったりして面白いものです。

鳩の親子

材料（　）内は子鳩　ボディ25糎巾40糎丈（20糎巾30糎丈）襠15糎巾4糎丈（4糎巾10糎丈）毛糸、パール

作り方

写真をみればわかるように、くちばしの付根から細い襠をいれて、羽にかかる所で終りますからあとは2枚をぐるつと縫い廻ります。返し口は胸の下部にします。表に返してから羽にウス綿をいれて点線の通りミシンをかけ、羽と尾羽にも写真のようにステッチをかけます。目はクリーム色の大きな丸に黒の半円を貼り、丸の外側にピンクの毛糸をぐるつとまわして糊付けします。首にパールを巻き、ピンクの毛糸で花を作り胸に飾ります。吊紐はバランス良くリボンを縫付けてください。

ふくろう

材料　茶色コーデュロイ（ボディ）20糎巾30糎丈　グレー・コーデュロイ（襠）38糎巾8糎丈　白コーデュロイ（羽）15糎巾25糎丈　クリーム毛糸少々
注　コーデュロイは全部太縞のもの

作り方

襠は2枚裁つて丈を接ぎ、しつぽの尖つた所に合せ、ぐるつと両面にぬい合せます。羽、尾羽も鳩と同じく薄綿をいれてステッチをかけ、返し口を中へ折り込んできれいにかがります。クリーム色毛糸4本取りでボディの下半分に写真を参照して点々を刺します。同じ毛糸で目の囲りの花を二つ作り（鳩の花と同様）目の位置に縫付けその上に空色、白、黒の順に小さくした丸を重ねて貼り付けます。くちばしは三角の布2枚を底辺を残して二方を縫い、表に返して縦に菱型にひろげて目の間に糊付けし、乾く迄ピン留めしておきます。

ブラック・キャット

耳を立て、腰をあげた一番モダーンな猫のスタイル。つやつやと光るまつ黒なビロードで作ると素敵です。

デザイン　飯野ゆり子
製作　フエニックス
型紙79頁　基本型Ⅰ

材料　黒ビロード50糎巾30糎丈　クリーム・コーデュロイ8糎巾10糎丈　2糎巾ブルー・リボン　水色、黄色コーデュロイ少々　茶別珍少々

作り方

型紙に0.5糎の縫代をつけて、頭、ボディ、袴各2枚、頭袴1枚、耳は表2、裏2枚ずつ裁ちます。

頭は鼻先から袴を入れ、下側に開きを作り、全体がボールのように丸くなるように詰めます。鼻先がきゅつと上を向き、頬をふくらませる気持でしますと可愛らしくなります。

ボディは足が細長いので図を参照してすれないように気をつけて縫います。足は4本とも紙を巻いて(40頁図参照)詰めますが、お腹の開き口をとじる時に立たせて、びつこにならないように加減してください。

耳は表裏布を中表に合せてまわりを縫い、表に返しておきます。

しつぽは黒ビロードを2糎巾20糎丈に切り、三つ折ミシンをかけ、針金を芯に入れます。

目は図のように水色で木の葉型、黄色で半円を切り、鼻先から0.5糎程あけて貼ります。(黒丸を半分に切り、0.1糎位の間隔をあけて貼つても猫の目になります。)

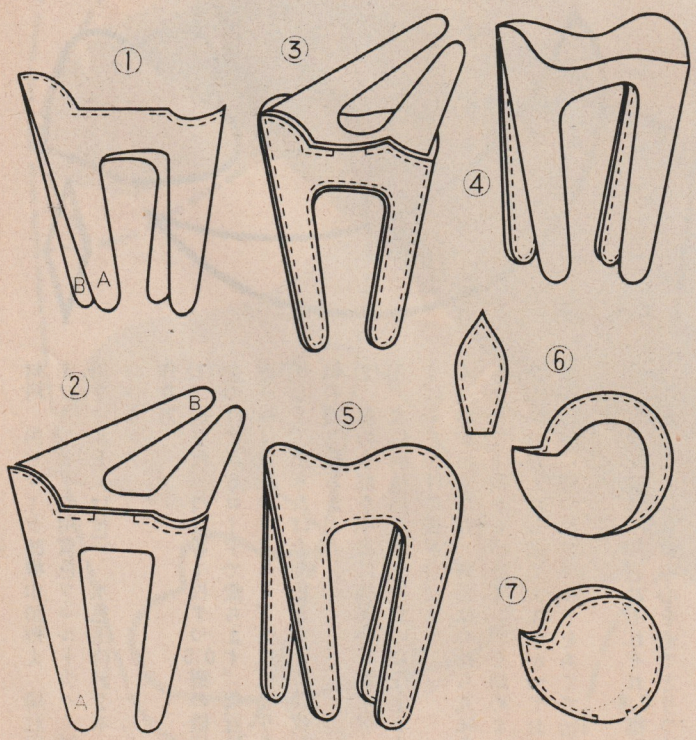
ひげは黄色の毛糸を6本鼻先に通し、1.5糎の長さに切つて揃えます。鼻先に茶色別珍を三角に切つて貼りつけます。

耳は2糎の切り込みをいれてさしこみます。

顔ができたら頭とボディを割箸で接続します。(39頁7番参照)箸をさす方向でバランスがとれなくなりますから研究なさつてください。

しつぽは袴先より1.5糎位上つたところにさしこみづけ(35頁11番参照)にして、格好よく先を丸めます。

首にリボンを結びましたが、パール、小鈴なども可愛いいでしよう。



ニワトリ

デザイン　藤田　桜

無駄なものを全部切り捨てたぎりぎりのフォルム。それだけに作る方の感覚によつて生きる作品です。
色はどれでもない、やつぱり黒でしょう。

材料　黒ビロード26糎巾30糎丈　鳩冠用赤フェルト　嘴用黄色フェルト少々　尾用フェルト（12色）　水色玉待針2本　パッキング

作り方

(1) 胴2枚、襠は各1枚ずつ0.5糎の縫代をつけて黒ビロードで裁ちます。鶏冠は赤、嘴は黄色のフェルト、尾は色どりを美しく、出来れば全部色を変えて12枚型紙の通り裁ちます。

(2) 胴の上部を中表に接ぎ合せます。

(3) 次に前後襠を角をきれいに仕上るように気をつけて接ぎ合せます。

(4) 形が出来たら、胸側は心持ち丸味をもたせて下側からパッキングを詰めます。

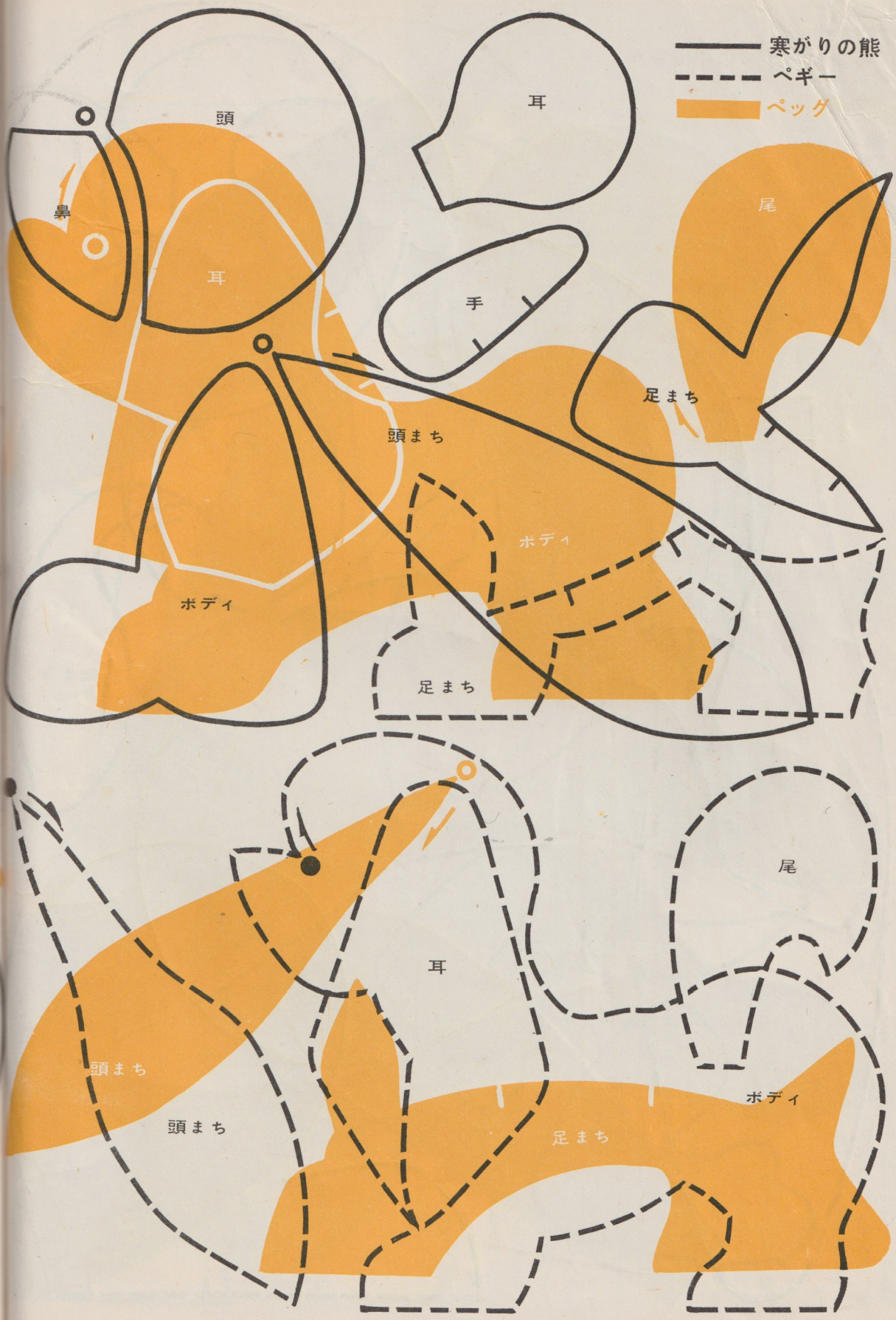
(5) 詰めおえたら糸で大体かがつておいて、四角に切つたフェルトをあてて始末します。

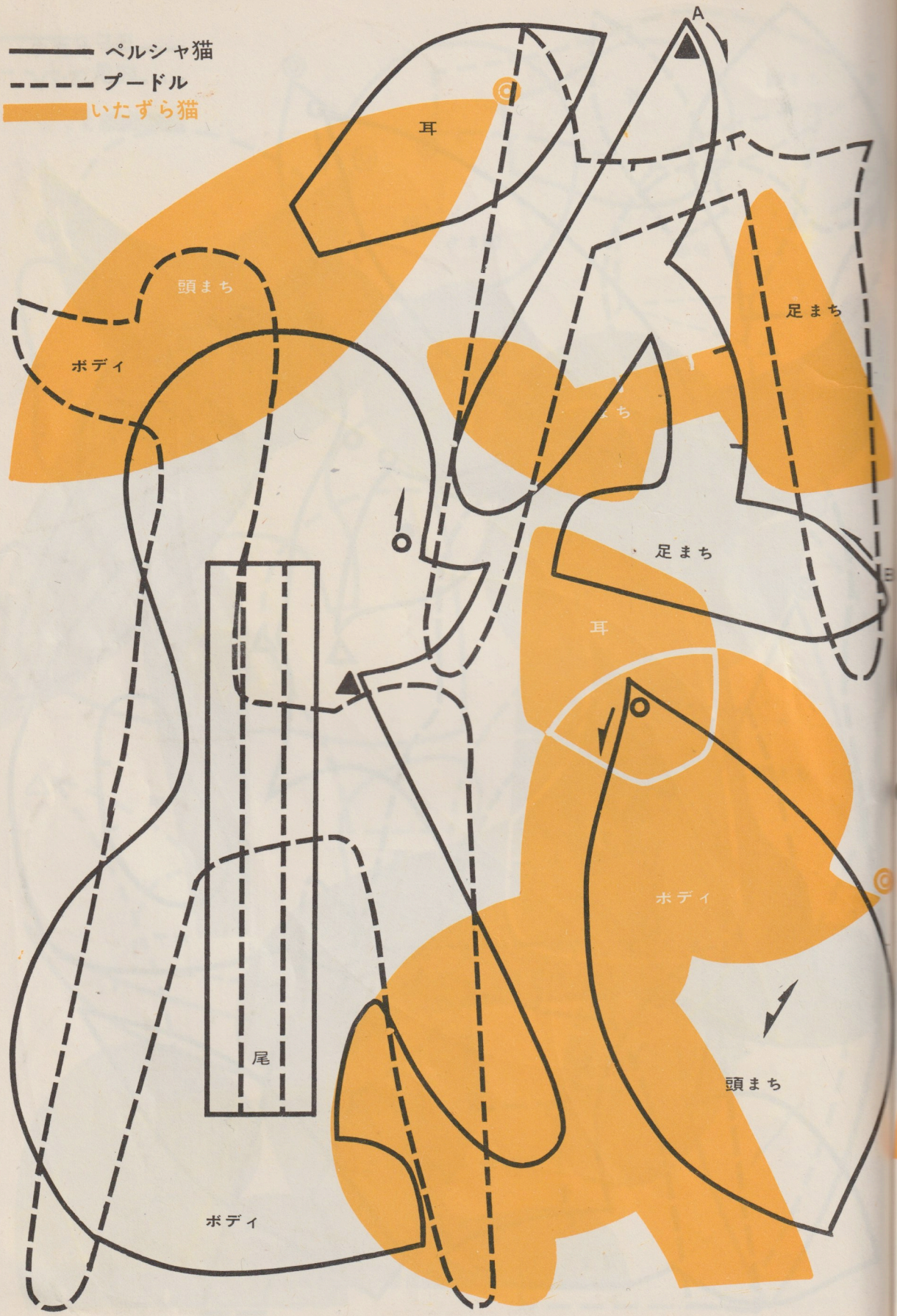
(6) 嘴は先端に、鶏冠はそれぞれ0.8糎位内に入つたところに中心を糸でとりつけます。

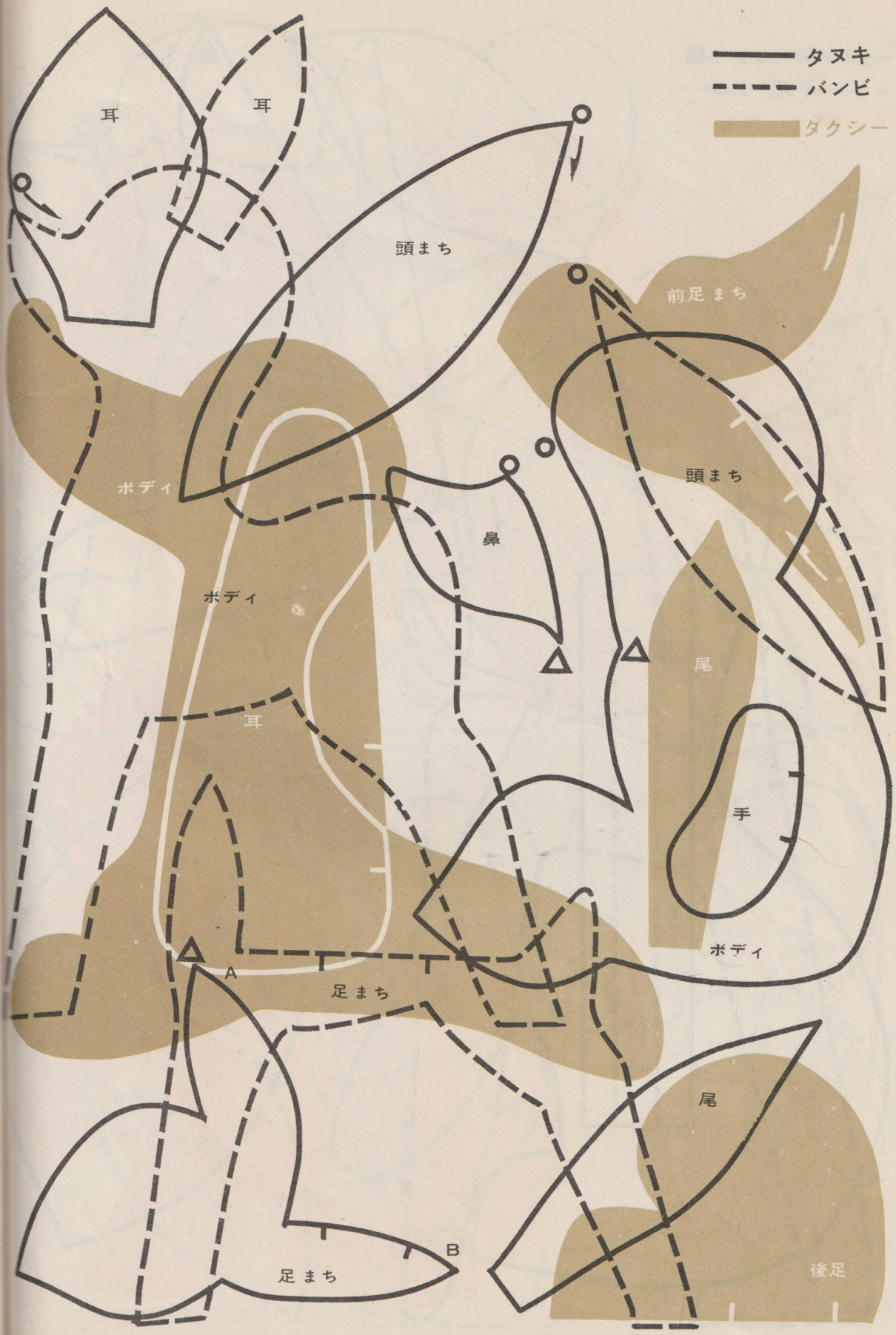
(7) 色どりよく裁つた尾をきれいにひろげて先にとりつけます。

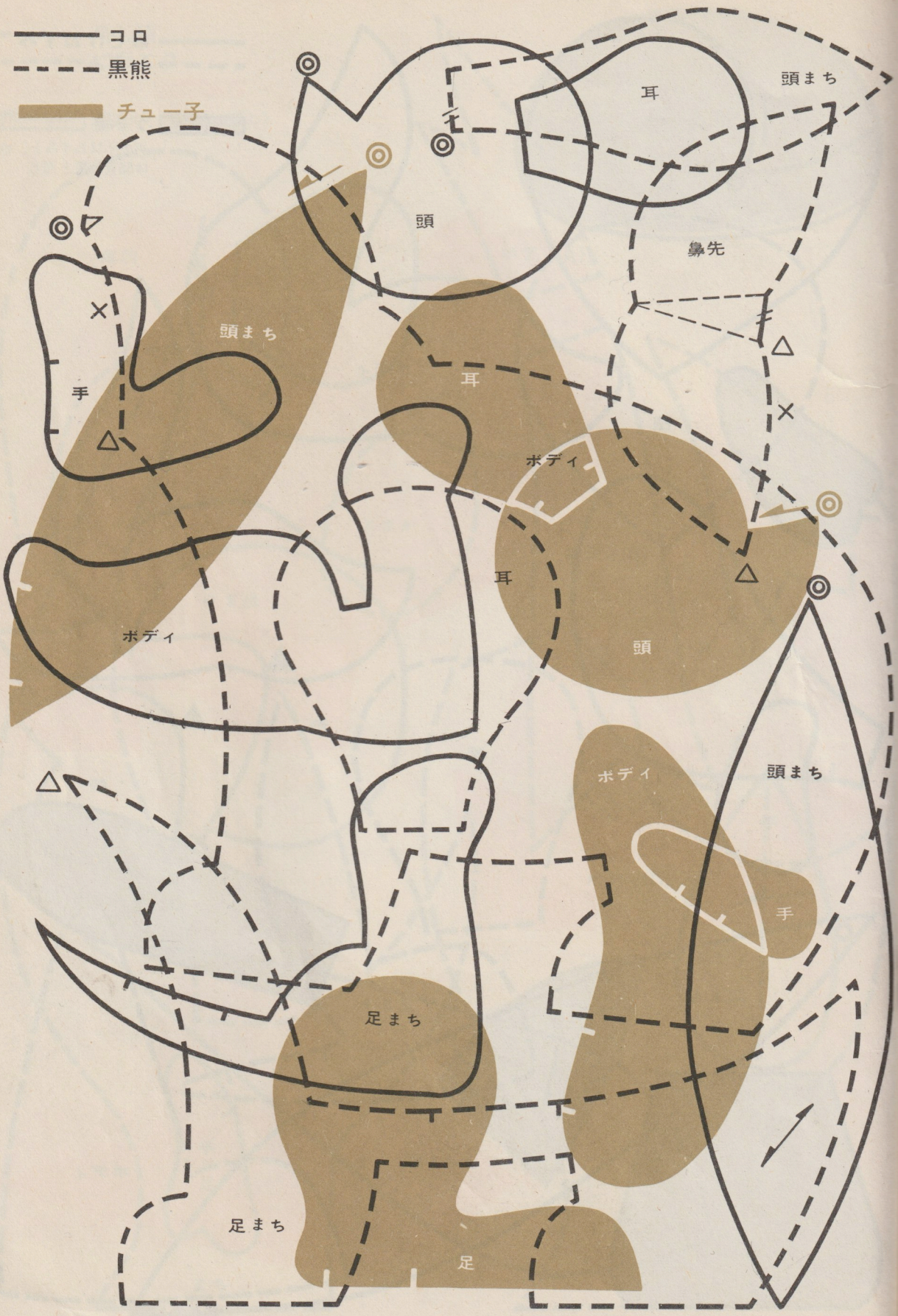
(8) 水色玉待針を目の位置にさして出来上ります。

猿
うさぎの小母さん
元気なうさぎ
頭
頭まち
耳
顔
頭まち
ボディ
頭まち
ボディ
胸まち
手
ボディ
耳
手
足まち
耳
足
後足

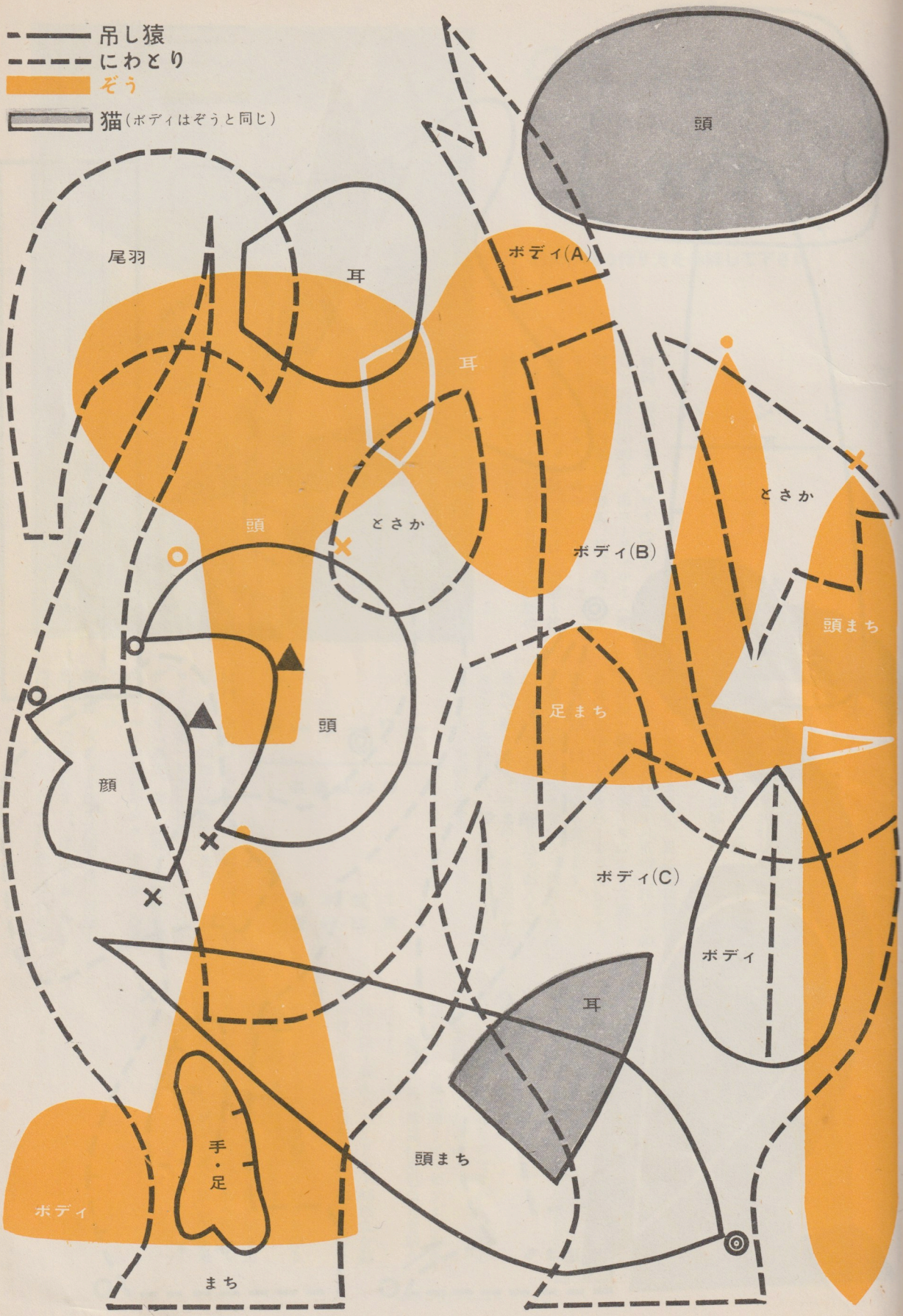

寒がりの熊
ペギー
ペッグ
頭
耳
鼻
耳
手
尾
足まち
頭まち
ボディ
ボディ
足まち
尾
耳
頭まち
頭まち
ボディ
足まち

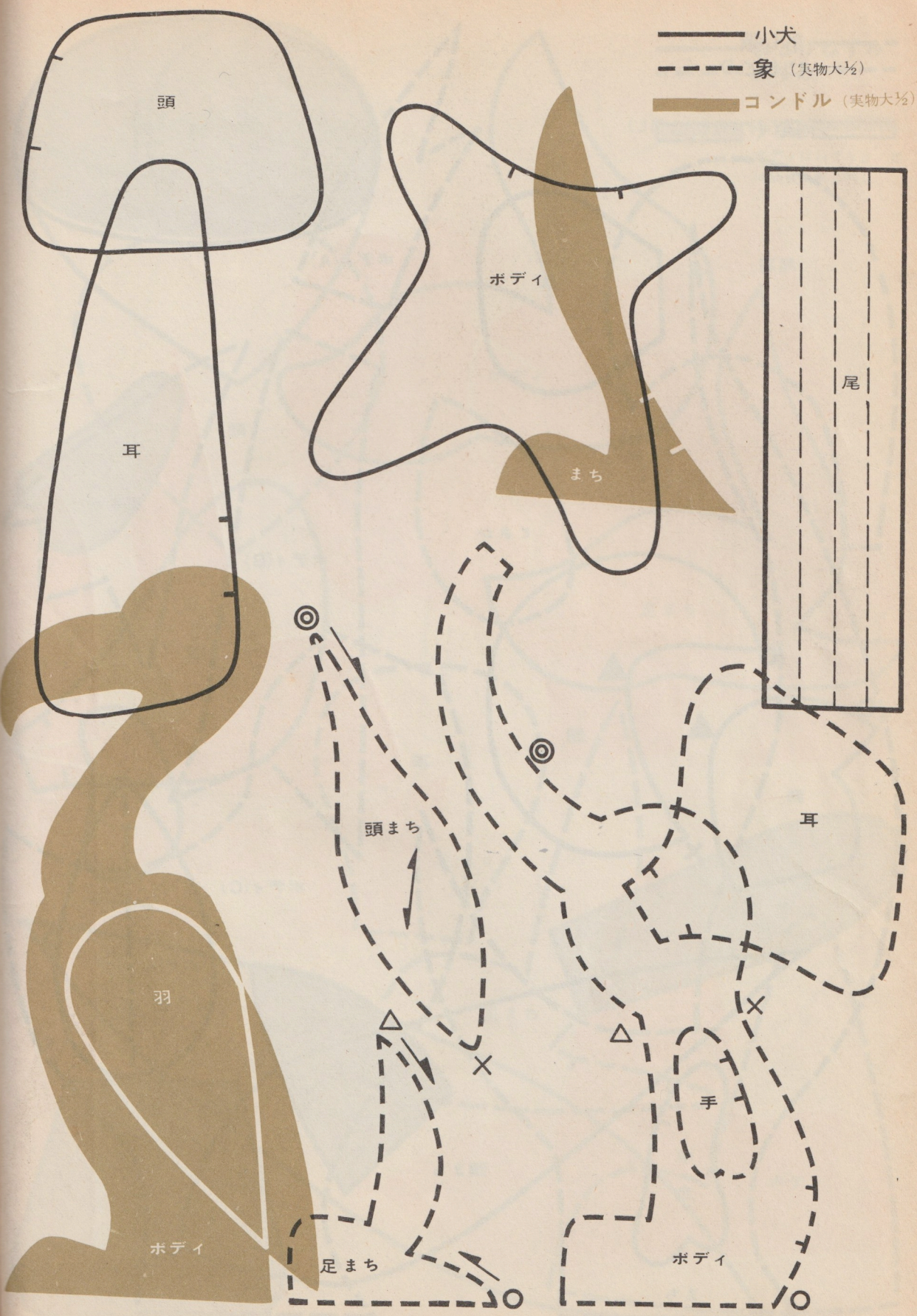

ペルシャ猫
プードル
いたずら猫
耳
頭まち
ボディ
足まち
足まち
耳
ボディ
尾
頭まち
ボディ


タヌキ
バンビ
ダクシー
耳
耳
頭まち
前足まち
ボディ
頭まち
鼻
ボディ
尾
耳
手
ボディ
A
足まち
尾
B
足まち
後足


コロ
黒熊
チュー子
耳
頭まち
頭
鼻先
頭まち
手
耳
ボディ
耳
頭
ボディ
ボディ
頭まち
手
足まち
足まち
足

おどけねずみ
ねずみ
象
うさぎ
ボディはねずみと、襠は55頁の象と同じ
頭
頭
手
耳
ボディ
耳
ボディ
足まち
耳
手
足まち
耳
頭まち
足まち
頭
頭まち
ボディ

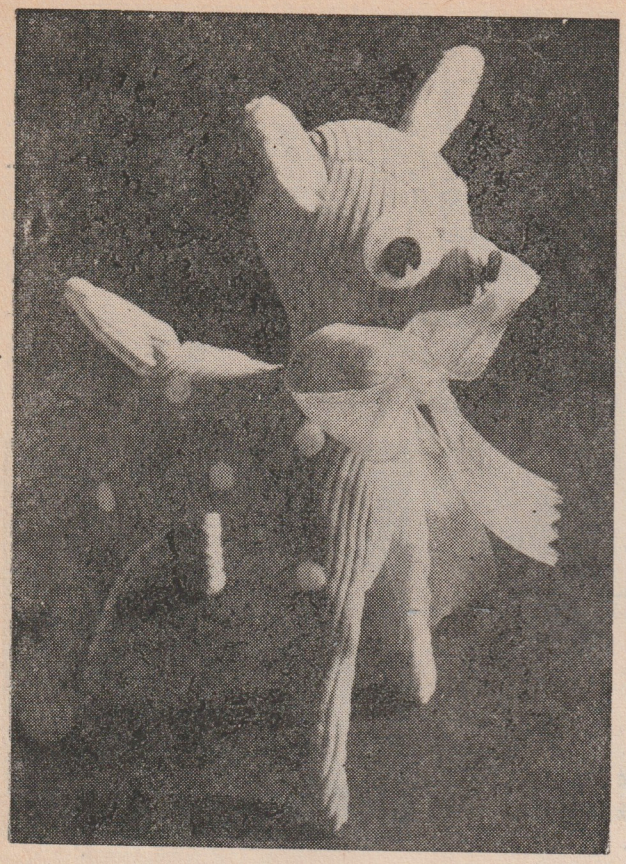

吊し猿
にわとり
ぞう
猫（ボディはぞうと同じ）
頭
尾羽
耳
ボディ(A)
耳
頭
とさか
とさか
ボディ(B)
頭まち
足まち
頭
顔
ボディ(C)
ボディ
耳
手・足
頭まち
ボディ
まち


小犬
象（実物大½）
コンドル（実物大½）
頭
耳
ボディ
まち
尾
頭まち
耳
羽
手
ボディ
足まち
ボディ

口絵作品の作り方

基本型 I

33頁仔馬の作り方を参照して下さい



バンビ

基本型 I
型紙 52頁

材料 薄茶コーデュロイ（ボディ、頭、耳目）25糎巾30糎丈　白コーデュロイ（襠耳、尾裏）12糎巾22糎丈　黒、白フエルト少々　ブルーリボン

裁ち方 ボディ2枚　頭2枚　頭襠1枚　足襠2枚　耳と尾は表裏3枚ずつ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

縫い方は基本型Iの馬と同じで、たてがみの代りに襠が入ります。これでバンビのあどけない可愛さが出るのです。頭襠の細い方を鼻先にきちんと合せ、つれないようにピンを打つて縫います。耳の型で尻尾もとり、白裏をつけて3枚縫つておきます。

詰めにかかりますが、足には新聞紙を巻いたものを入れます（紙の入れ方は40頁参照）頭は丸くボールのような感じに鼻先はきゆつと上を向くようにします。お腹は細く詰めて綴じ合せます。

鼻先に小さな黒丸を貼り、目は1糎の白丸と0.6糎の黒丸（切り込みが入る）を重ねて貼ります。白丸の小さな斑紋を点々と五ケ所位貼り、耳と尻尾を目打でさしてリボンを結びます。

チーワーワー

裏表紙参照

基本型 I
型紙 80頁

材料 朱色コーデュロイ（ボディ、頭襠耳、尾表）25糎巾20糎丈　黄色コーデュロイ（足襠）10糎巾10糎丈　ピンクコーデュロイ（鼻先、耳、尾裏）10糎巾5糎丈　ブルー中細毛糸少々　リボン　白黒フエルト

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ、尾は表裏1枚ずつ、鼻先2枚をそれぞれ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

縫い方は基本的なものですから、馬の工程を参照してください。

詰めてから鼻の囲りに、ピンクの布を巻き、糊付けし、鼻先に茶色の布を貼りつけます。

目は白1糎丸の上にブルー0.5糎丸を貼りつけ、その上に黄色半円を貼りつけます。

頭にブルー毛糸で3糎のリングを作り（66頁参照）縫いつけておきます。

耳は外側へ向けて（根元を広く切り込みを入れた方がよい）尻尾は上へ向けてさしこみます。リボンを首に結んで出来上ります。

跳び兎

基本型 I
型紙 49頁

材料 薄茶ウール（ボディ、耳表）20糎巾33糎丈　ピンク色ウール（耳裏）20糎巾22糎丈　ピンク毛糸少々　目用布少々　リボン

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

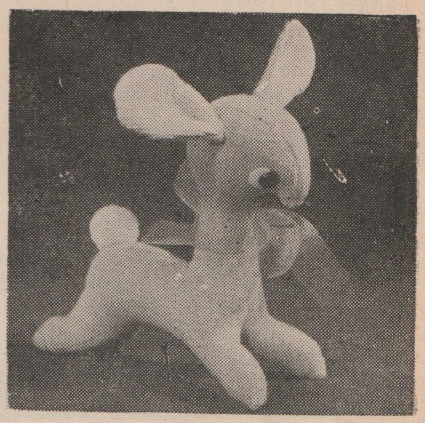
鼻先が下に向いていますから、他のものとは一寸様子が違いますが、別にむずかしいものではありません。

足襠を縫い合せ、ボディと接ぎ、頭襠をいれて続けて背中まで縫い下るのはすべて同じ。鼻先に兎の表情の生命がありますから形よく作るように。詰めも端からきれいに詰めてください。元気に跳んでゆく格好がでればよいのです。

耳は目打ちでさしこみ、目は白1糎、黒0.8糎丸をずらして貼り、黒丸にはホワイトを一点いれます。

尻尾はピンクの毛糸で直径2.5糎位のぽんぽんを作り縫いつけます。

首にグリーンのリボンを結びます。



プードル

基本型 I
型紙 51頁

材料 ボディ用ビロード25糎巾25糎丈　同色の極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚　足襠2枚をそれぞれ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

ボディと足襠の縫い合せ方は基本的なものです。ただ足が非常に細いため、ずれ易いので角々にピンを打つて縫つてください。表返す時は先端を痛めないように。足には紙を巻いて詰めます（40頁参照）きれいに固く詰められましたら、両足が開きすぎないように綴じ合せてください。

形が出来たら頭、足、尾に毛糸をとりつけます。

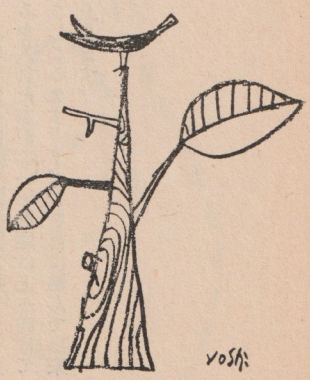
まず鉛筆、箸などの両端に一寸切込みをいれ、カタン糸（八番）を挟んでおき、その上へ毛糸を五本どりで長さ160糎に切つたものを足の周囲の長さの間だけ往復しながら巻付けます。カタン糸を切込から外し、毛糸と一緒に持つて鉛筆をそつと抜きとります。

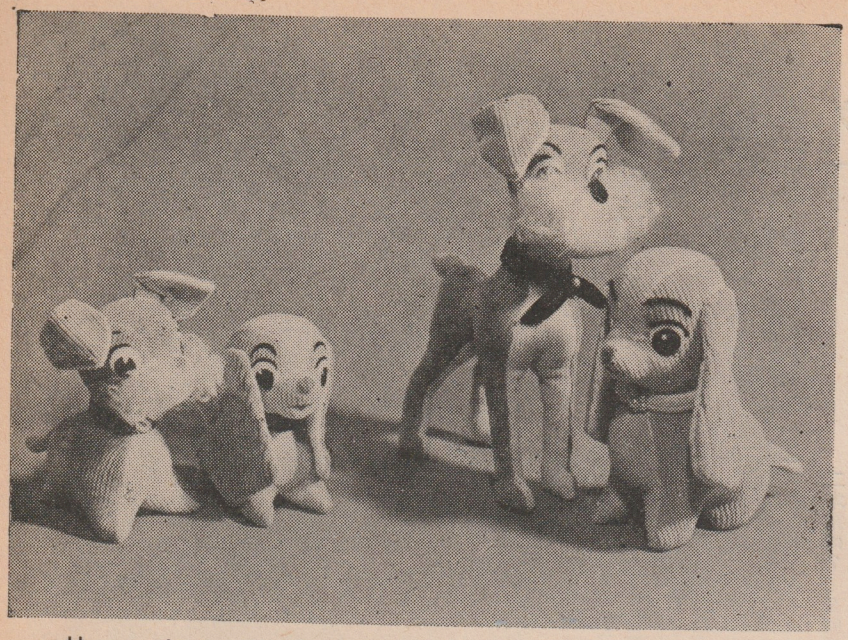
足の長さの中央部に1糎巾にぐるつと糊を廻し付け、その上に今の毛糸を当てカタン糸をぎゆつと結び合せます。

四本足が済みましたら頭の角からあごの下へ斜めに糊を廻し付け、毛糸は12本にしてしつかり結えます。しつぽは指に毛糸を巻いて大きさをみながらぽんぽん玉を作ります。共布を細く切つて針金を芯にして糊で巻き乾いたら先端に玉をとじつけます。

糊が乾くのを待つて頭と足の毛糸の輪を切り気長に丸く刈込みます。

首にパールを糸でつないで巻き出来上ります。





ノラ公の一家

基本型 I
型紙 27・30頁

ノラ公

材料 グレーコーデュロイ（ボディ、頭襠、耳表）30糎巾30糎丈 クリームコーデュロイ（足襠、鼻先、耳裏）25糎巾30糎丈 黒、白少々 クリーム色ループヤーン少々

裁ち方 ボディ2枚、頭2枚、頭襠1枚、鼻2枚、アゴ襠1枚、耳、尾は表裏各2枚ずつ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方 これは42頁のノラ公とボディが違うだけで、頭、顔は全く同じです。

ボディは57頁のバンビと同様ですから参照してください。足の詰めは、40頁を参照して、紙をいれますが、先が太くなっていますから、鋸屑を先に詰めて、あとから紙をさしこみます。後足は曲がっていますから、うまくいかないようでしたら鋸屑だけでもよいでしょう。

首にリボンを巻き玉待針でとめて出来上ります。

レディ

材料 オレンジ色コーデュロイ（頭、ボディ、尾）22糎巾22糎丈 クリームコーデュロイ（襠）22糎巾35糎丈 エンジコーデュロイ（耳表）12糎巾15糎丈 ピンクコーデュロイ（耳裏）10糎巾10糎丈 リボン パール

裁ち方 ボディ2枚、頭2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ、尾1枚ずつ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方 先ず、鼻とボディとを接ぎ合せ、次に足襠を合せて胸から縫い下します。頭襠は鼻の先端から入れ、続けて背を縫います。耳裏はピンクを使い形よく作つておきます。

詰めは、鼻先を上に向けますと可愛くなります。耳は表に針目が出ないようにきれいに縫いつけ、尻尾はさしこみ、鼻、口、目は貼りつけます。眉毛をを黒毛糸で貼ると表情が出ます。首にリボンかパールを巻いてください。

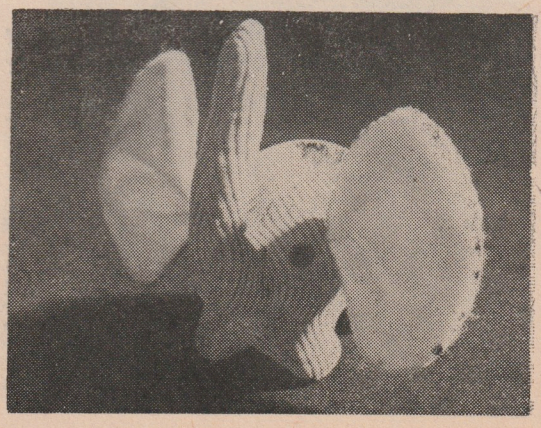
ノラとレディの仔

材料、裁ち方はノラとレディに同じです。

作り方 縫い方順序はノラと同じです。子供ですから全体を丸々と可愛く作ってください。仕上げも同じです。

豆ダンボ

基本型 I
型紙 54頁



材料 淡グレーコーデュロイ（ボディ、襠、耳）15糎巾25糎丈 ピンクコーデュロイ（耳裏）10糎巾12糎丈

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

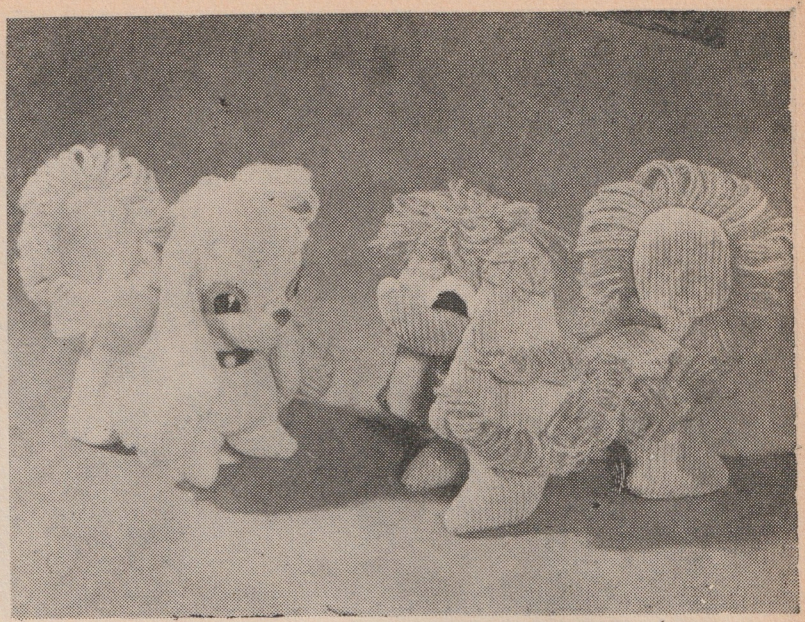
作り方 足襠を縫い合せ、ボディと接ぎ合せます。頭襠は鼻の上方の付け根からいれ、お尻で終るようにします。鼻が途中でつかえないように上手に返してください。

詰めは子供の象ですから、丸くボールのように詰めます。

耳は基本型Ⅱの象と要領は同じです。尖つた方を下にして目打でさしこみます。

象のすぐそばに黒い丸い目を貼ります。

尻尾は毛糸を2～3本捩つてさしこみます。



ペギーとペッグ

どちらも型紙が一寸違うだけで、材料も作り方も殆ど同じですから一緒に説明します。

基本型 I
型紙 50頁

材料 ボディ、耳表、襠用35糎巾30糎丈耳裏12糎巾10糎丈ボディと共色の極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、尻尾2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

ボディは鼻先がきゆつと空を向いているところが違うだけで、バンビと同じです。

尻尾を縫う時2糎巾の毛糸リング（41頁参照）を1.5糎外に出して、狭みこみ、針金を中に丸く通します。

体につける毛糸はペギーは一本どりで二本指に7～8回巻いて、片端を結んだ花を頭に一つ、両耳下に一つずつ縫いつけます。ペッグは頭に大小二段に、耳はまるめないでのばしたまゝ、二段とりつけます。

鼻先に小布を貼りつけ、目は半円形を下向きにつけます。

尻尾はボディにさしこんでから形をととのえます。耳は縫いつけます。

首にリボンを結んで出来上ります。

トラスティ

基本型 I
型紙 31頁

材料 茶色コーデュロイ（ボディ）35糎巾70糎丈 オレンジ色コーデュロイ（耳裏、鼻、前足襠）30糎巾20糎丈 焦茶コーデュロイ（耳）18糎巾15糎丈 黒別珍 オレンジ、クリーム毛糸少々 針金

裁ち方

ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、鼻2枚、鼻襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

先ず鼻先をボディの標と合せて接ぎ合せます。前足の襠のA～B線を縫い割りボディと合せて胸先から縫い下します。

頭の襠は鼻のつけ根からいれ、背へぬい下します。あきは背中の方が詰めいいでしょう。続けてお腹迄縫つておきます。

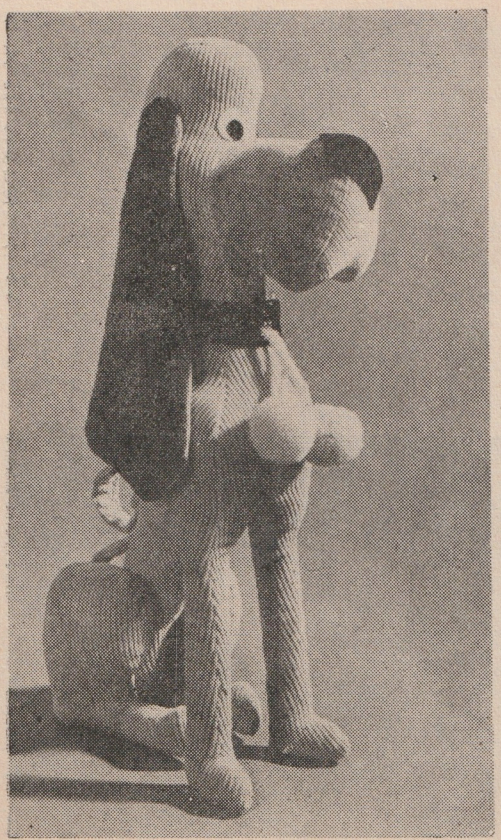
最後に鼻の襠を鼻の囲りへぐるつと縫い合せます。尻尾は三つ折りにして20糎の長さにして針金を芯にいれます。

後足も左右縫い合せ、表へ返します。

詰めは、前足の先に鋸屑を入れ、真直のところへは紙を巻いていれます。（40頁参照）つなぎ目の形がくずれやすいですから、気をつけてください。あごは四角に。

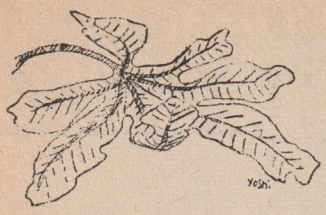
後足は本綿糸二本どりで縫いつけ、尻尾はさしこみ、鼻の頭に黒別珍、目は白黒の丸を貼り、耳は縫いつけます。

首輪は黒ビロードを三つ折りにして巻き、クリームとオレンジの毛糸で作つたぼん〳〵を飾つて出来上ります。



いたずら猫

基本型　I
型紙　51頁



材料　黒ビロード（ボディ、襠、尻尾、耳表）25糎巾25糎丈　ピンクコーデュロイ（耳裏）6糎巾10糎丈　クリーム、茶コーデュロイ少々

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

これは後足を前に曲げてすわっていますから、一寸感じが変りますが、縫方は同じです、返し口はやはりA～B線の中央にして足襠を縫い合せます。後足の付け根は詰める時に裂け易いので、二度縫するとよいでしょう。鼻先から頭襠をいれます。尻尾は共布を1.5糎巾15糎丈に裁ち、三つ折りにして中央に一本ミシンをかけ、針金を一本通します。

詰めは座りよく、まるまるとした感じに詰めます。

耳は根元が広くなるように、頭に切り込みをいれてさしこみます。

目はクリームに黒丸をのせ、黒丸の中央にポスターカラーの白で線をいれます。

尾をさしこみくるくると巻いた感じにいたします。

鼻先に茶色布を貼り、首に細いリボンを巻き、玉待針で留めます。頭にも結んだリボンを玉待針で留めつけます。

シャム猫

基本型　I
型紙　31頁

材料　辛子色コーデュロイ（ボディ、足襠、頭襠）5糎巾5糎丈　ピンクコーデュロイ（耳裏）5糎巾5糎丈　黒別珍（耳表　足先　顔先　尾）10糎巾30糎丈　グリーン空色地少々　スパンコール2個　紫色リボン

裁ち方　ボディ2枚、頭襠1枚、胸襠2枚、顔先2枚、耳は表裏2枚ずつを型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

黒で裁った両顔面をボディに接ぎ合せます。足襠はA～B線で返し口をあけ縫代を割り、胸先をボディの標と合せて足へ縫いおろします。両足とも縫えましたら、胸先から上へ鼻を縫い、標を合せて頭の襠を入れ、続けて背中を縫います。

尻尾は2糎巾15糎の布を三つ折りにして、芯に針金をいれます。

詰めにかかりますが、前足にだけ紙をいれ（40頁参照）すわりに気をつけて詰めるように。

詰め終りましたら、黒別珍を足丈の半分位のところまで糊でぐるつと貼りつけ鼻先にはグリーンを貼り、その先に黒別珍を貼りつけます。

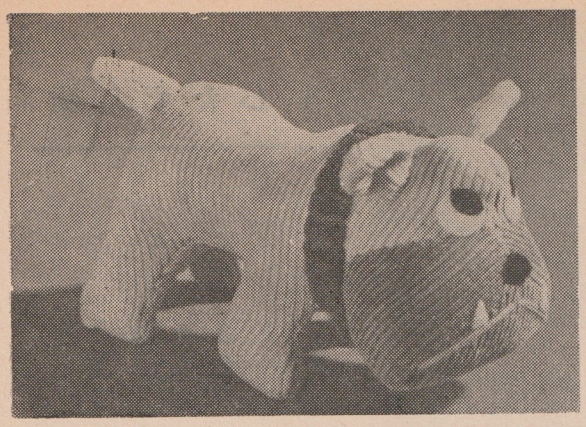
耳は1.5糎の切りこみをいれ前へ向けてさしこみます。尻尾は殆ど下にさし、形よくまるめます。

目は空色で細長く切り、黒色の顔先に貼つた上にスパンコールを虫ピンで留めつけます。

ひげは黄色の毛糸6本を刺し通します紫色のリボンを一寸大きく結びます。

ブルドック

基本型紙　I型　31頁



材料　茶色コーデュロイ（ボディ）15糎巾40糎丈　オレンジコーデュロイ（襠、耳、尾裏）15糎巾10糎丈　グレーコーデュロイ（鼻）6糎巾20糎丈

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、鼻2枚、鼻襠2枚、耳、尾は同じ型紙で表裏3枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます

作り方　鼻布をボディと接ぎ合せ、次に鼻の襠を標を合せて縫います。ここが違うだけで、足の襠の入れ方は馬と同様ですからそれを参照してボディ、続けて背を縫います。詰めは足が内側に曲がるように。

口はグレーの毛糸でへの字に刺し、三角に切つた白フエルトをキバの感じに貼ります。目は間をぐつと寄せて貼ります。

耳はちよこんと小さくさしこみます。尻尾はなくてもよいのですが耳と同じものを半分位出してさしてもよいでしよう

犀

基本型紙　I型　74頁

材料　グレーコーデュロイ（ボディ）50糎巾30糎丈　白コーデュロイ（耳裏）6糎巾8糎丈

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、角2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

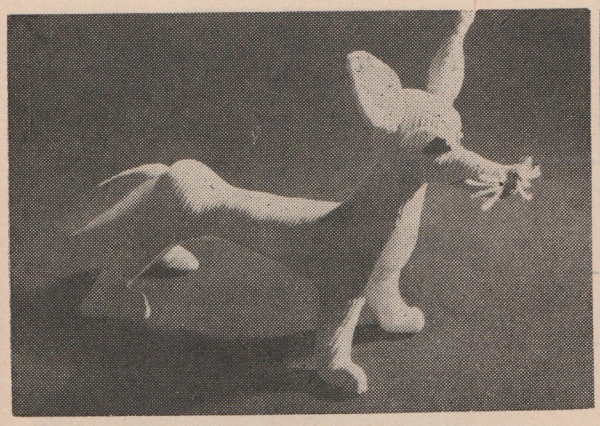
作り方　足襠をはぎ、ボディと縫い合せます。頭の襠はあごの下からつけます。鼻先が四角ですからミシンの針を下したまま布を廻し、しわを寄せないように。

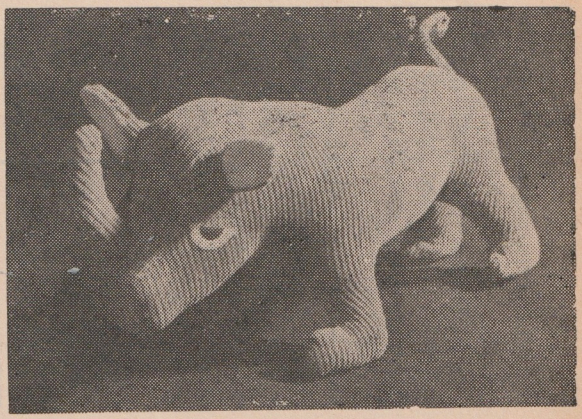
詰めは足の先に固く、角にも鋸屑を詰め、鼻の突端に穴を明けてさしこみます。

目は半円を上向きに白黒で貼ります。

尻尾は2糎巾5糎丈に裁ち、三つ折りにしてミシンをかけ、中に針金を通し、先を一寸丸めてさしこみます。

耳は横に倒して前向きにつけます。





きつね

基本型紙　II型　75頁

材料　辛子色コーデュロイ（ボディ、耳、尾）25糎巾30糎丈　白コーデュロイ25糎巾25糎丈　目、鼻先用布少々　黄色極細毛糸少々

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚、尾は表裏1枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　鼻先が細く尖つているだけで、作り方はバンビ（57頁）と殆ど同じです。

襠をつけて表に返したら、鼻先から少しずつ詰めます。胸側を心持ちふくらませ、胴は細く固く詰めるように。

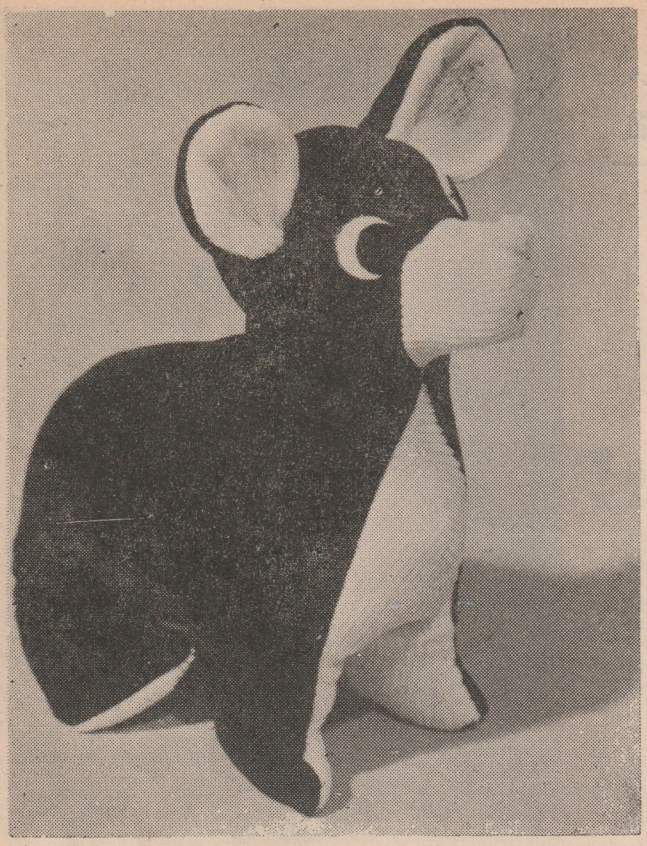
尻尾も鋸屑を詰めてふくらませ、下へ向けてさしこみます。

耳は内側に一つ折り両脇にピンと張つた格好にさしこみます。

鼻先に茶色別珍を貼り、ひげは黄色極細毛糸6本を両脇1.5糎出して鼻先に通します。目は水色2.5糎、黒1.3糎の半円を中心に寄せて重ねて貼ります。

黒　熊

基型　本紙53　I型　I頁



材料　黒別珍（ボディ、頭襠、耳表）35糎巾25糎丈　白コーデュロイ（足襠、鼻、耳裏）18糎巾25糎丈

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、鼻1枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

先ず頭襠の太い方を前に標を合せて、ボディの両面につけておき、次に縫い合せておいた足襠を胸からつけ、続けて背中を縫います。最後に鼻を白で1枚裁ち標を合せてピンと折り（中央点線で折る）ぐつとつき出た顔の囲りにぐるつと縫いつけ、口の下を縫い合せます。

ころころとよく太つた熊ですから、その感じにでこぼこのないように、丸く詰めます。

耳は内側に折つてさしこみます。

目は白1糎、黒0.8糎の円を、黒を内側にずらして重ねて貼ります。鼻先に小さく切つた黄色の小布を貼りつけます。

ひょう

基型　本紙75　I型　I頁

材料　辛子色コーデュロイ（ボディ、鼻襠、耳表、尾）25糎巾30糎丈　白コーデュロイ（足襠、耳裏）20糎巾15糎丈　黒別珍（斑紋）10糎巾10糎丈　毛糸少々

裁ち方、ボディ2枚、鼻襠1枚、足襠2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

グラビア41頁のライオンを参考にしてください。顔布が続いているのでライオンより簡単です。

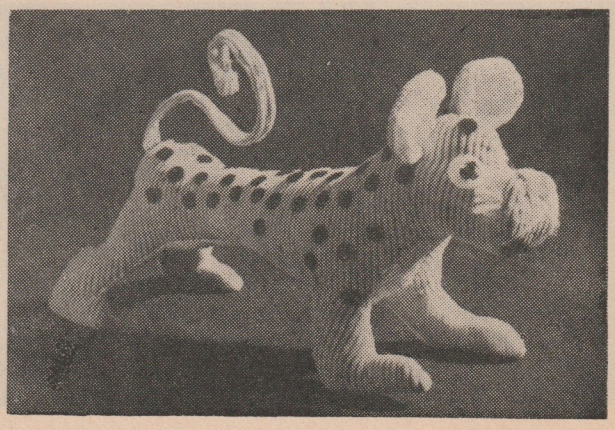
足襠とボディを接ぎ合せたら、やはり鼻の上部から襠を入れ、足襠を続けます。背中も縫い合せたら表に返し、鋸屑を詰めます。腰は細くきちつと綴じ合せます。

尻尾は出来上り0.5糎の三つ折りにし、12糎丈に作り、中に針金を通します。

耳は頭のてつぺんに正面を向けてさしこみます。尾はさしこんでから写真を参考に形よく曲げてください。

鼻先に茶別珍を貼り、目は白1糎、黒0.5糎丸を重ねて貼ります。黒目には白い点をいれます。

ひげはグレー極細毛糸6本を両側1.5糎に刺し通し、ピンク極細毛糸で鼻先から三角に写真のように渡します。



斑紋は黒別珍を0.5糎丸に切り、配置よく貼りつけます。

お行儀のいいペルシャ猫

基本型 I
型紙 51頁

材料 クリーム色コーデュロイ(ボディ、耳、襠)25糎巾35糎丈　ピンクコーデュロイ(耳裏)8糎巾10糎丈　クリームループヤーン半オンス　目用布少々

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

襠A～B線を縫い、ボディと合せて両足を縫います。続けて鼻の付け根から頭の襠をいれ、背を縫いおろします。尻尾は2糎巾10糎丈に裁ち、三つ折りにしてミシンをかけ、まわりにループヤーンをくるくると留めつけておきます。

形が出来たら前足には紙を巻いて詰め(40頁参照)あとは鋸屑を詰めます。

尻尾、耳をさしこみづけにします。

目は黒1.5糎、空色1.2糎、黒0.8糎丸を順に下に寄せて貼りつけます。

鼻先に茶色布を貼り、ひげは黄色毛糸6本を鼻先に通します。

〃おねんねしたペルシャ猫〃を参照して顔先を残してループヤーンをとりつけます。

おねんねしたペルシャ猫

基本型 I
型紙 76頁

材料 クリーム色コーデュロイ(ボディ、襠、耳)25糎巾25糎丈　ピンクコーデュロイ(耳裏)6糎巾8糎丈　クリームループヤーン半オンス

裁ち方 ボディ2枚　頭2枚　足襠2枚　頭襠1枚　耳は表裏2枚ずつ0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

これは頭とボディが別々になつていますが、襠の入れ方は同じです。別々に縫つて詰めてから、割箸を使つて接続します(39頁参照)

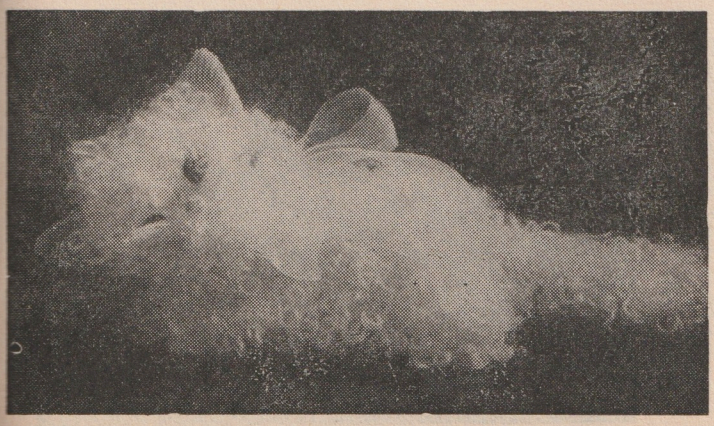
尻尾は2糎巾10糎丈に裁ち、三つ折りにしてさしこみます。

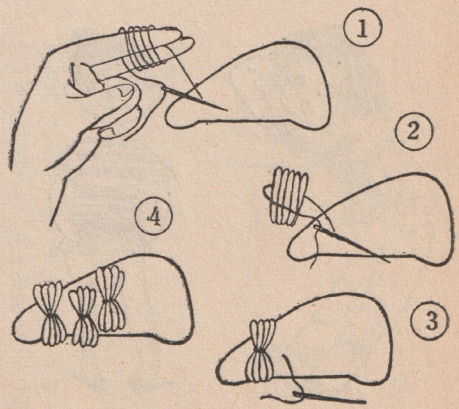
ピンクの裏をつけた耳は、一寸横にピンと立ててさしこみます。

形が出来たらループヤーンをボディにとりつけます。図のように、ループヤーンを左手人差指と中指の二本に5回巻きその中央を木綿糸でしつかり結び、花のようにしたものを顔だけ残して全体に縫いつけます。

目は空色で細長く切つた上に、黒1糎丸を重ねて貼ります。

鼻先に茶色布を貼り、ひげは黄色毛糸6本を鼻先に通します。ピンクのリボンを可愛く結んで出来上ります。





スペインの牛

基本型 I
型紙 75頁

材料 黒、エンジ色コーデュロイ各25糎巾30糎丈 白コーデュロイ（耳裏、角）10糎巾10糎丈 クリーム色ループヤーン

裁ち方 ボディ、襠、耳はエンジと黒で各1枚ずつ、耳裏2枚、角4枚を型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。2色が続かないように注意して裁つてください。

作り方

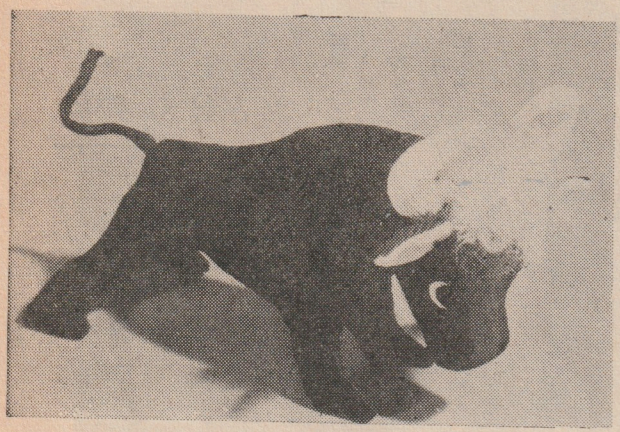
この写真ではボディと襠の色を分けましたが、前部同じ色で作つても勿論よいのです。

先ず襠をそれぞれ接ぎ合せます。足襠をボディに縫い合せたら、次に顔の襠をとり、長い方をあごの下に合せ、曲線に気をつけて頭へ縫いあげ、背へ縫い続けます。両方の襠をあご下で縫い合せ、所々切りこみをいれて表へ返します。

詰めは足先に固く、顔は四角い感じに詰めます。角は白で2本縫い、固く詰めて耳の上方にさしこみます。

尻尾は三つ折り（出来るだけ細く）12糎長さに、ループヤーン2～3本挟んで縫い、針金を芯にいれます。

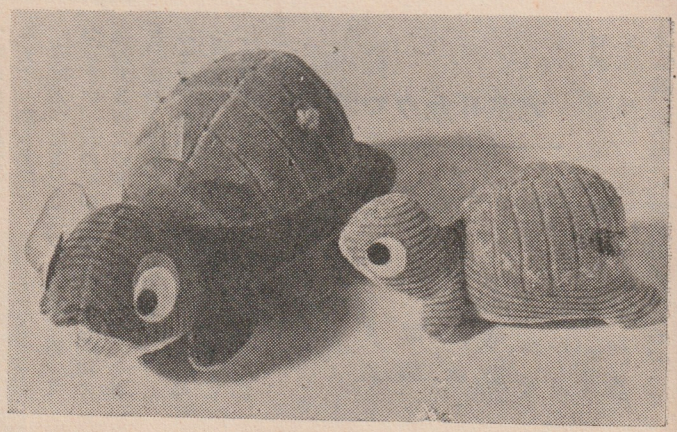
頭にループヤーンを輪にして縫いつけ、目は白1.3糎、黒1糎丸を一寸ずらして重ねて貼ります。耳、尻尾をさしこんで出来上ります。



亀の親子

基本型 I
型紙 77頁

材料 親亀 濃グレーコーデュロイ（ボディ）20糎巾18糎丈 水色コーデュロイ（甲羅）10糎巾12糎丈 黄色コーデュロイ（足襠）18糎巾10糎丈 子亀 水色コーデュロイ（ボディ）12糎巾12糎丈 ピンクコーデュロイ（甲羅）8糎巾10糎丈 クリームコーデュロイ（足襠）12糎巾10糎丈



裁ち方 ボディ2枚、甲羅2枚、襠2枚を型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

先ず片側のボディと甲羅を接ぎ合せ、次に襠を返し口を残して縫い、縫代を割つてボディと縫い合せます。その糸を続けてあごから背中を縫います。

甲羅が丸くもりあがつたような感じに固く詰め、返し口を綴じ合せます。

亀の甲羅のまわりに黄色の毛糸でクロス・ステッチを、親亀の方にはバリオンローズを刺します。

目は紺色0.5糎、白1糎、水色1.5糎丸を切り、子亀は小中2枚、親亀は3枚を前方に寄せて貼り、首にリボンを結びます。

縫いぐるみ動物をお子様のお友達に

子供はお母様のお膝の上で聞くお話が大好きです。そしてその折々のお話が、子供の豊かな夢と情操をはぐくんでゆくのですから、お子様へのお話は大切にしていただきたいものです。

そのお話の中に、この本の中の動物達に一役買つてもらいましょう。子供は聴覚より視覚からの感動の方が大きいのですから、お話の中のバンビが目の前でピョンピョン跳つたり、狸とお猿がお角力したらどんなに喜こぶことでしょう。

そして又、ただ与えておくだけでも、自分達で楽しく遊んでいるものです。子供達は私達大人よりも、動物に対して深い親近感を持つています。というよりも自分達と同じ感情を持つたものとして扱いますから、黙つてみていると思わず微笑まされるような状景にぶつかります。

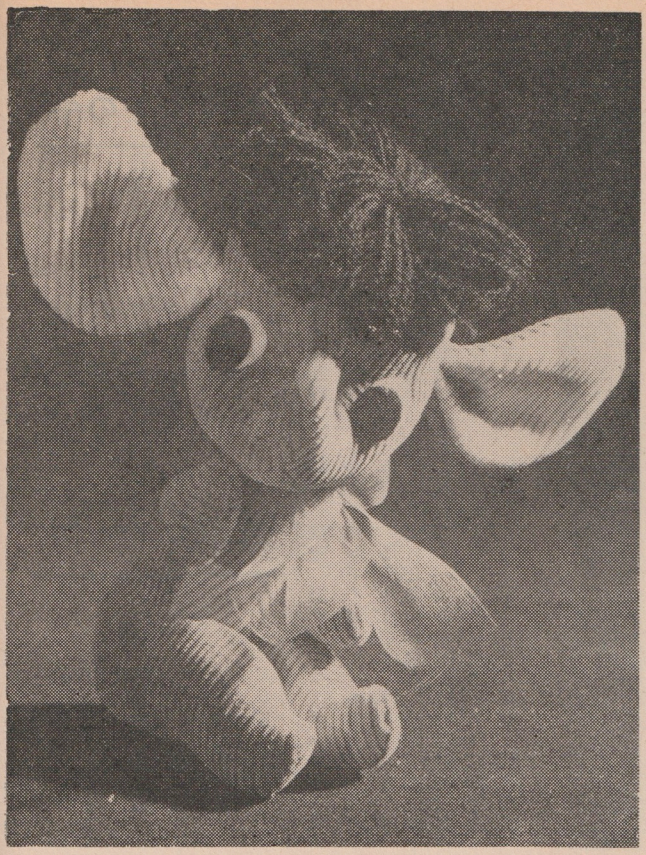
又この中の動物を、抱き人形としてお作りになる時は、方眼紙を使つて拡大なさるとよろしいのです。中の詰め物も、毛糸屑、パッキング、綿等をお使いになるとよいでしょう。

逆に頭の襠等をある程度省略すると、5糎位の大きさにまで縮められますから、小さいもののお好きな方は、試みてください。

口絵作品の作り方

基本型Ⅱ

36頁象の作り方を参照して下さい



おどけねずみ

基本型Ⅱ
型紙 54頁

材料 グレーコーデュロイ（ボディ、頭、手、耳表）25糎巾25糎丈　白コーデュロイ（足襠、耳裏）10糎巾25糎丈　濃ブルー極細毛糸少々　リボン

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、手4枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

ボディは38頁の座リカップと同じに縫います。

頭の襠は鼻の付け根から後へ向つて、形よく縫いつけます

表に返して固く詰めたら、足がひろがらないように、ひざの所で2～3針止めておきます。

両手を縫いつけてから、頭を割箸を使つてボディに差しこみます（39頁参照）

耳は尖つた方を上につんと横に張つてつけます。髪の毛のような感じに、紺の毛糸で3糎丈の花（41頁の要領で糸を巻き、ミシンをかけずに糸を通してひきしめます）を作り頭の上にのせて糸でとめつけます。目はまん丸の白黒を一寸ずらして貼ります、前にリボンを花結びにします。

寒がりなクマ君

基本型Ⅱ
型紙 50頁

材料 黒別珍（ボディ、手、頭、頭襠、耳表）25糎巾25糎丈　グレーコーデュロイ（鼻、足襠）15糎巾15糎丈　白コーデュロイ（耳裏）10糎巾6糎丈　霜降りウール（マフラー）少々

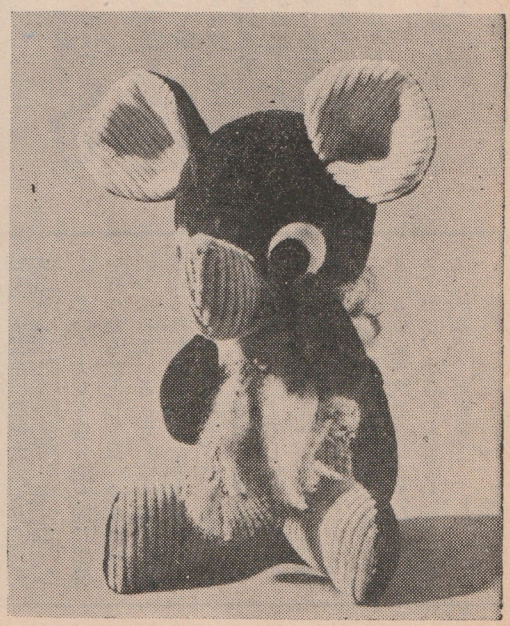
裁ち方 ボディ2枚、頭襠1枚、足襠2枚、手2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

頭とボディは別々に作ります。

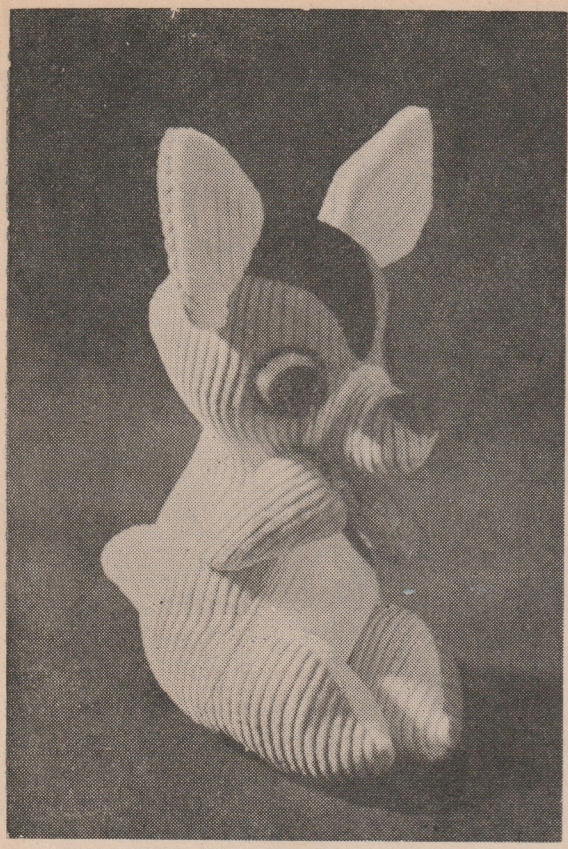
先づ鼻先の布をグレーでとり、頭布（黒）と接ぎ合せ、その接ぎ目から頭の襠を入れます。足の襠もグレーにしてぐるつと縫います。手は袷にして二つ作ります。耳裏は白にして、丸味をきれいに出して作ります。

足の座りをよく詰めて、頭と体を割箸でつなぎ（39頁参照）手は糸でしつかり綴じつけます。目は白1糎、黒0.7糎丸を下に寄せて重ねて貼ります。鼻は茶小布を貼り、耳はさしこみ付けにします。ウールの小布をマフラーにして、前をパールピンで留めます。



小　狸

基本型 Ⅱ
型紙 52頁



材料　辛子色コーデュロイ（ボディ、手、尾、耳表）25糎巾15糎丈　白コーデュロイ（足襠、鼻、耳裏）15糎巾20糎丈　黒別珍（頭襠）5糎巾10糎丈

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、鼻2枚、手4枚、耳は表裏2枚ずつ尾も表裏1枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

格好はそつくり「おどけねずみ」と同じですが、頭と胴が続いていますから、最初にお腹の襠を合せ、次に頭の襠を鼻の付け根からいれ、背中をぬい下します。尻尾の裏は白を使い、返して鋸屑を詰めてふくらませます。ボディの詰めはお腹をふくらませて、狸らしさを強調してください。やはりひろがらないように両足をくつつけて綴じます。

耳は切りこみをいれて上に立ててさしこみます。白黒の目を貼つたら白目のふちに黒の毛糸を一本ぐるつと糊付けすると狸らしい顔になります。

手は鼓を打つような格好にとじつけると面白いでしょう。

鼻の頭に黒丸を貼ります。

しつぽは目打でさしこみます。

お行儀の悪いコロ

基本型 Ⅱ
型紙 53頁

材料　グレーコーデュロイ（ボディ、頭、手、耳表）25糎巾20糎丈　クリームコーデュロイ（足襠）10糎巾20糎丈　ピンクコーデュロイ（耳裏）少々　縞プリント別珍（ズボン）少々

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、手4枚、頭2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

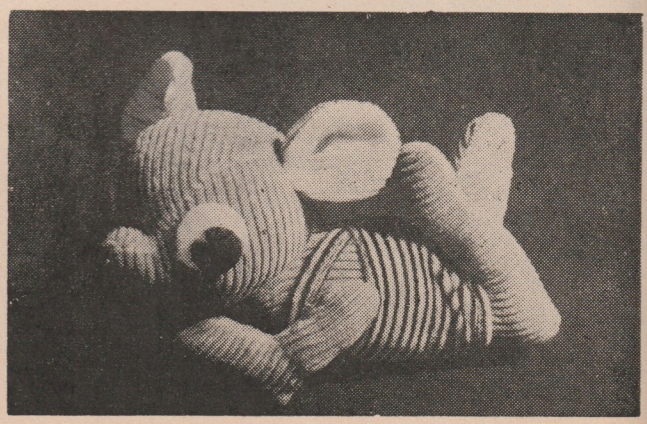
作り方

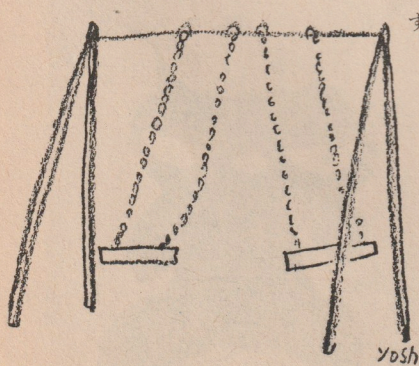
カッパと縫い方、詰め方は殆ど同じですが、頭の襠は逆に細い方を鼻先から下へつけてゆきます。

耳は襠の横に差しこみづけします。

手先があごの下へゆくように、しつかり縫いつけてからズボンをはかせます。

ズボンは胴囲りを計り、縫代を加えた長さを横とし、お尻がかくれるだけの丈を縦にした長方形を裁ち、上下を裏に折つてミシンをかけ、合せ目を下（前）にしてお腹に巻きつけ、縫い代を折つてかがり合せ、その糸で続けて股のところで一針上下をすくい止めにして、ズボンにみえるようにします。吊紐は0.5糎巾に三つ折りミシンをかけ、背で二つに折つてズボンに止め、端をお腹側でズボンの下にいれ留めます。

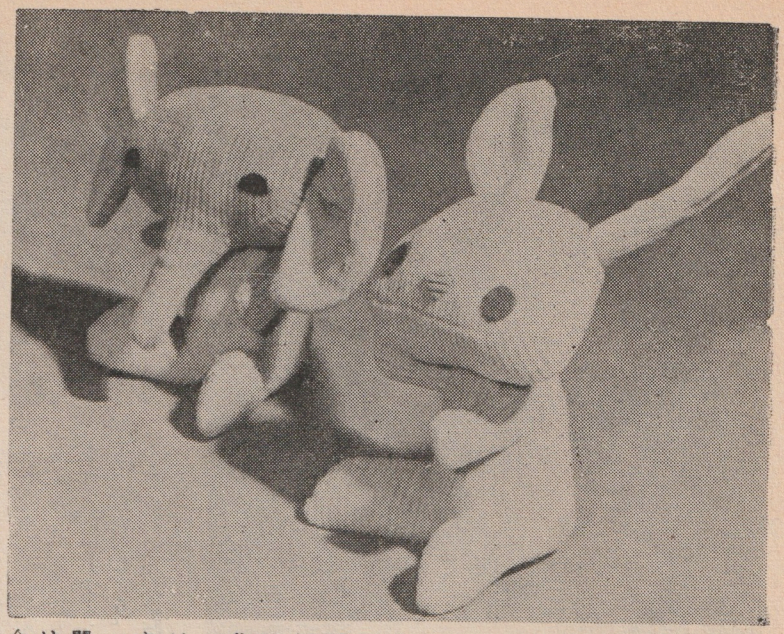




目は白1.5糎、黒1糎（小さく三角に切り込みをいれる）の丸を重ねて貼ります。

同じボデイに
仔象・小兎・小ねずみ・小猫

基本型Ⅱ
型紙 54・55 頁



仔象

材料 グレーコーデュロイ（ボディ、頭、手、耳表）20糎巾25糎丈　クリームコーデュロイ（足襠）10糎巾18糎丈　ピンクコーデュロイ（耳裏）8糎巾12糎丈

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、手2枚、頭2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方 これはボディと頭が別になつています。

足の襠に返し口を開けますが、角は避けてください。頭は今迄のと違つて囲りに厚みをつけるために細い襠をいれます。襠に返し口は作らず後頭部に切り込み（胴との接ぎ合せるところに）をいれて返します。詰めたら返し口をとじ、ボディに縫いつけます。少しゆるめにつけると動いて面白いでしょう。

手は縫いつけ、耳は差しこみます。

目は黒丸を半分に切つて間をはなして貼ると可愛いいでしょう。

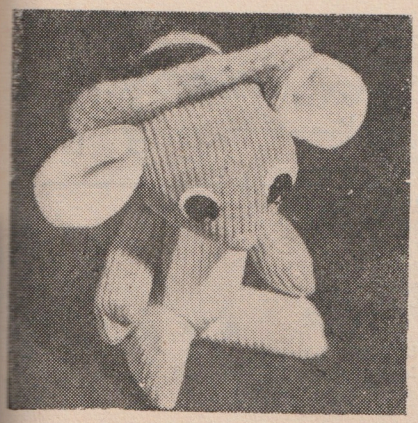
小兎

材料 クリームコーデュロイ（ボディ、頭、手、耳表）25糎巾15糎丈　白コーデュロイ（耳裏、足襠）15糎巾15糎丈

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、手2枚、頭2枚、頭襠1枚　耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方 ボディは前の象と同様です。

頭も要領は象と同じです。耳をピンと立てて、目は赤い丸をつけ、茶色の小さく切つた布を貼つて鼻とします。



小ねずみ

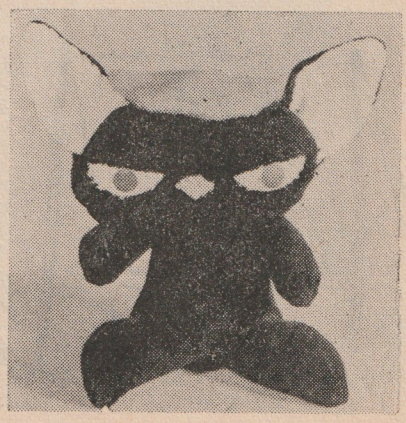
材料 グレーコーデュロイ（ボディ、頭、手）25糎巾15糎丈　白コーデュロイ（耳裏、襠）16糎巾15糎丈　クリーム色毛糸　エンジリボン

裁ち方 頭襠が入らないだけで象と同じ

作り方 ボディは前のと同様、頭は猫と同様襠が入らないので簡単です。

目は白丸に黒丸を少しずらして重ねて貼ります。鼻先は茶色別珍。

帽子は41頁のライオンの帽子と同じですから、クリーム色の糸で編み、リボンを巻いてかぶせてください。



小猫

材料 黒別珍（ボディ、頭、耳表）25糎巾15糎丈　白コーデュロイ（耳裏）10糎巾10糎丈　赤ウール4糎巾10糎丈　小ねずみと同じ。

裁ち方

作り方 これもボディは象、兎と同じです。頭の襠は入りません。

耳をつける時、耳穴に一寸切り込みをいれると下がひろがつて猫らしくなります。

ベレー帽は直径3糎の円を二枚合せて囲りを縫い、片面に切り込みをいれて表へ返すと出来ますから、頭に一寸縫いつけます。

白の長半円を平らな方を上に貼り、その上に黒丸を重ねて貼ります。（白目を逆に貼ると笑つた顔になります）

茶色の小布を貼つて鼻先とします。

りすの兄妹

基本型 Ⅱ
型紙 26頁

アクセサリーと目が違うだけですから一緒に説明します。色は口絵をみてください。

材料 ボディ、耳、手、頭襠用コーデュロイ20糎巾40糎丈　足襠、耳裏用コーデュロイ10糎巾20糎丈　極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠2枚、手2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁っておきます。

作り方

足襠2枚を中表に合せ、A～B線を縫い、次にボディと縫い合せます。頭襠は鼻先からいれ、尻尾の付け根まで縫ってきたら、毛糸リング（41頁を参照して2糎巾10糎丈）をはさんで縫います。

手は半分に折つて二方を縫い、鋸屑を詰めたら、綴じ合せておきます。

尻尾に気をつけて表に返したら詰めにかかります。尻尾の付け根が裂けないように。鼻先を可愛いく詰めてください。

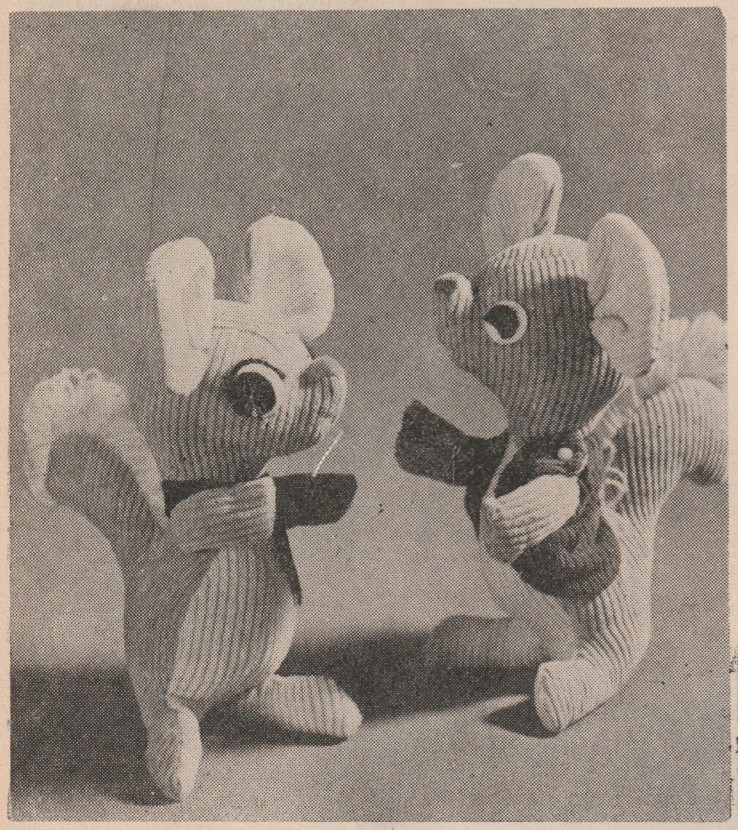
耳は前向きにぴんと立てて差しこみ、手はしつかり綴じつけます。

写真を参照して目を貼り、鼻先に茶別珍の小布を貼りつけます。

チョッキやリボンは、丁度着せ替え人形の着物のように、お好きなものを着せてやつてください。

お洒落なトン吉

基本型 Ⅱ
型紙 26頁



材料 ピンクコーデュロイ（ボディ、手、頭襠、耳表）25糎巾15糎丈　クリームコーデュロイ（耳裏、足襠）10糎巾15糎丈　黒別珍（ズボン）少々　目用布少々　ブルーリボン

裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、手2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

足襠2枚を中表に合せ、A～B線を縫い、標を合せてボディと縫い合せ、そのまま糸を続けて鼻を縫つたら、付け根に頭襠の先を合せて背中まで縫い下します。

手は二つ折りにして二方を縫い、鋸屑を詰めて、詰め口を綴じておきます。

ボディも表に返したら、倒れないように足に固く詰め、鼻はのびないように詰めます。

ピンクの裏をつけた耳は、外向きに差しこんでから前に折り、一寸留めておきます。

目は白丸の上に黒の三日月形を、鼻はやはり白丸の上に、黒丸を半分に切り、両側に分けて貼ります。

手をしつかり縫いつけてから、ズボン、スカート等をはかせてください（67頁のコロ、82頁のねずみ参照）。

コンドル

基本型 Ⅱ
型紙 56頁

材料 黒別珍（ボディ、頭襟、羽表）30糎巾30糎丈　白コーデュロイ（胸襟、羽裏）11糎巾13糎丈　グレーコーデュロイ（嘴）少々　白極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、胸襟2枚、頭襟1枚、羽は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

頭襟が入らないだけで、71頁のワシと縫い方の要領は同じです。

返し方が一寸面倒ですから、破らないように、嘴の先端をピンセットでしっかり挟んで一寸持ち替えて、今度は頭を挟み首の中へ押し込みます。返し口は襟にせず、背中の方が詰めるにも楽でしょう。足先を固くしっかり詰めてください。

羽は裏と合せて表に返したら、ミシンで3本ステッチをいれ、上から1糎位下つたところをボディにとりつけます。

嘴の付け根に白毛糸で小さなリング（ワシと同様）を作り貼りつけてから、グレーのコーデュロイを縦横に使つて嘴を作ります。

目は写真を参照して、白、グレー、白、黒と重ねます。

首に白毛糸で厚いリング（58頁参照）を作り巻きます。

孔雀

基本型 Ⅱ
型紙 73頁

材料 グリーンコーデュロイ（ボディ、後尾羽表）35糎巾50糎丈　紺色コーデュロイ（前尾羽表）12糎巾15糎丈　サックスブルーのコーデュロイ（襟、羽、尾羽裏）12糎巾12糎丈　スパンコール23個　パール23個　パール玉待針12本　グリーン極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、胸襟2枚、羽4枚、羽は表裏各1枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

ボディの作り方、詰め方はコンドルと同様です。

羽には色糸でミシン・ステッチをかけて一部縫いつけます

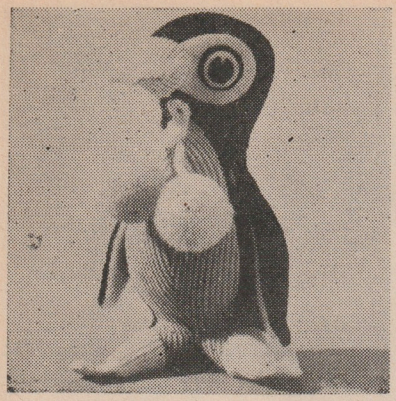
尾羽はブルーの裏をつけて表に返したら、外尾羽に14個、内尾羽に9個、ふち囲りにスパンコールを並べ、中心の穴にパールを糸でとめます。少し太めの針金を中に通して、ボディに差しこんだら形よく整えます。

目はブルー、白、黒を重ねて貼ります。

頭部の飾りは、針に毛糸を通し、一針すくつて2糎位糸を引き残し、次に進んで又一針すくう方法をくり返し、15回位したら糸の輪を切り揃え、その間にパール玉待針を一列に並べて12本位刺します。

ペンギン

基本型 Ⅱ
城型紙 73頁



材料 黒コーデュロイ（ボディ、頭襠、羽表）25糎巾20糎丈 白コーデュロイ（胸襠、羽裏）15糎巾16糎丈 クリームコーデュロイ（嘴、足先）少々 黄色、クリーム極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、胸襠2枚、頭襠1枚、羽は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

胸襠を中表に合せA～B線を縫い、ボディ布と、足先を合せて口の下迄縫いあげ、続けて頭襠を太い方を前に合せて縫い下し、背中の下で開けます。

羽の表裏を合せて2枚縫い返し、口をくけておきます。

詰めは、特に足先を固く詰めて、安定よく立つようにします。

目を図のように貼り、嘴、足先にクリーム色の布を糊で巻きつけ、乾いたら鋏で格好をみながら余分の布を落します。

羽は上部だけ糸で縫い留めておきます

胸元に黄色とクリームの毛糸で作ったぽんぽんをとりつけて出来上ります。

にわとり

基本型 Ⅱ
基型紙 55頁

材料 ボディはクリーム、ベージュ、辛子色など、同系統の3色の濃淡合せて25糎巾30糎丈 足襠10糎巾20糎丈 とさか10糎巾10糎丈

裁ち方 ボディ各2枚ずつ、足襠2枚、尾羽6枚、とさか後2枚、前4枚型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

先ず、ボディの3枚を接ぎ合せます。

襠A～B間を縫い、くちばしの下側からボディに合せます。両足が縫えたら口から頭へ縫い下げ、首の付根から尾羽の襠をいれます。とさかと羽を袷にぬい、返し口をきれいにくけておきます。

安定よく立つように詰めたらとさか、羽をかがりつけます、嘴は黄色の布をグルッと糊で巻きつけます。目は白、黒の丸にし、黒に切込を一寸いれます。」

ワシ

基本型 Ⅱ
基型紙 74頁

材料 焦茶色太縞コーデュロイ（ボディ羽表、頭襠）21糎巾35糎丈 白コーデュロイ（胸襠、羽裏）25糎巾22糎丈 黄色別珍（嘴）少々 焦茶色極細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚 胸襠2枚、頭襠1枚、羽は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

先ず胸襠を返し口をあけて、上から下まで縫い、次にその上端を嘴のすぐ下と合せて、足先へ縫い下します。

頭襠は太い方を嘴の付け根から背中へつけ下します。

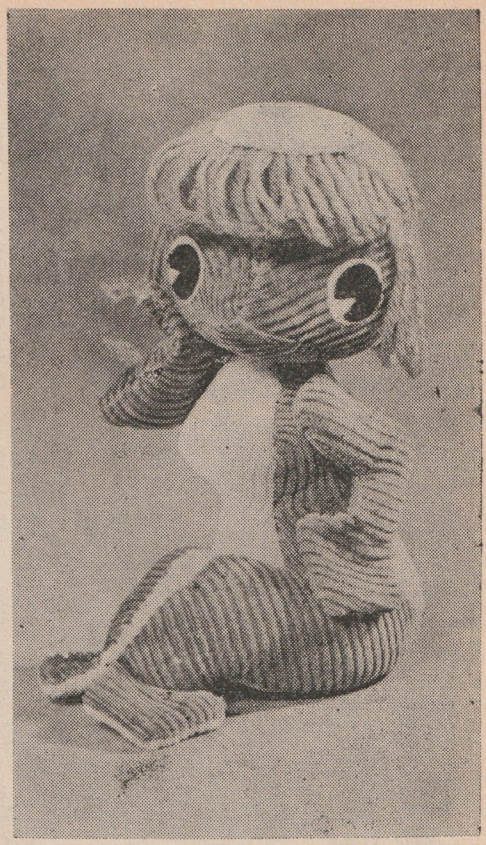
表に返したら、引つくり返らないよう、重心に気をつけ、足先は少し開くように詰めます。

羽は白裏をつけて縫い、表に返し上部だけボディに縫いつけます。

嘴の周りに黄色別珍をぐるりと糊づけします。

目は直径2糎の白丸を半分にして上向きに貼り、その上に1糎の黒丸を貼ります。

焦茶毛糸でリングを作り（41頁参照リングの先は切る）目の囲りと胸囲り、足囲りに適当に糊付けします。



乙女カッパ

基本型 Ⅱ
型紙 76頁

材料 わさび色コーデュロイ（ボディ、頭、手）25糎巾30糎丈　クリームコーデュロイ（足襠）12糎巾18糎丈　ピンクコーデュロイ（甲羅）10糎巾10糎丈　わさび色中細毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、背（甲羅）2枚、足襠2枚、頭2枚、頭襠1枚型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

顔の作り方は38頁の基本型Ⅲと同様ですから参照してください。

次にボディと背を縫い合せますが、上下をピンで合せ、釣合をとつて縫います。

出来たら胸襠と合せてぐるつと縫います。足の付け根は裂け易いので、二度縫いします。際まで切り込みをいれて表へ返します。

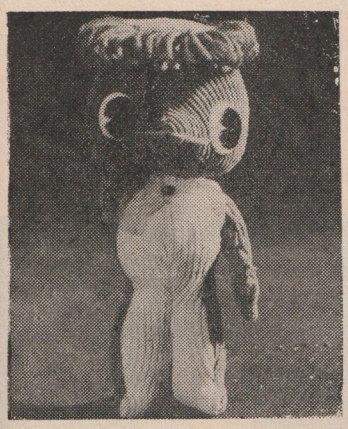
手、足の先は表に返してから、点線のようにミシンをかけます。

頭の髪は、前髪は出来上り巾2.5糎、後髪は6糎。これはお好みでお下げに編んだり、ポニー・テールにしたりして、人間のように扱つてよいのです。貼り方は基本型をみてください。

頭とボディの接続は割箸でします。

手は表情を工夫して、色々な向きにピンで止めてから木綿糸でしつかり綴じつけます。

首にリボンなどを可愛くつけます。



立カッパ

基本型 Ⅱ
型紙 76頁

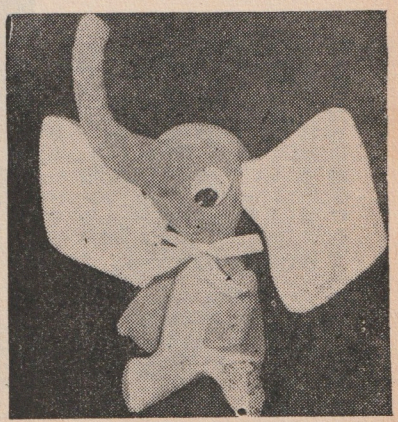
材料 わさび色コーデュロイ（頭、ボディ、手）25糎巾25糎丈　クリームコーデュロイ（襠）12糎巾8糎丈　わさび色中細毛糸

裁ち方 ボディ2枚、頭2枚、頭襠1枚、足襠2枚、手4枚を型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

頭は髪の毛を短かくするだけで座りカッパと同じで、ボディも背を別布にしないので前のよりやさしいのです。（頭の毛は輪のままでも切つてもよい）

詰め方は別にむずかしくありませんが、両足で立つように足を固くして下さい。手は糸で縫いつけます。



水浴びをするぞう

基本型 Ⅱ
型紙 56頁

材料 グレーコーデュロイ（ボディ、耳表、頭襠、手）30糎巾30糎丈　ブルーコーデュロイ（足襠）12糎巾18糎丈　クリームコーデュロイ（耳裏）15糎巾22糎丈　リボン

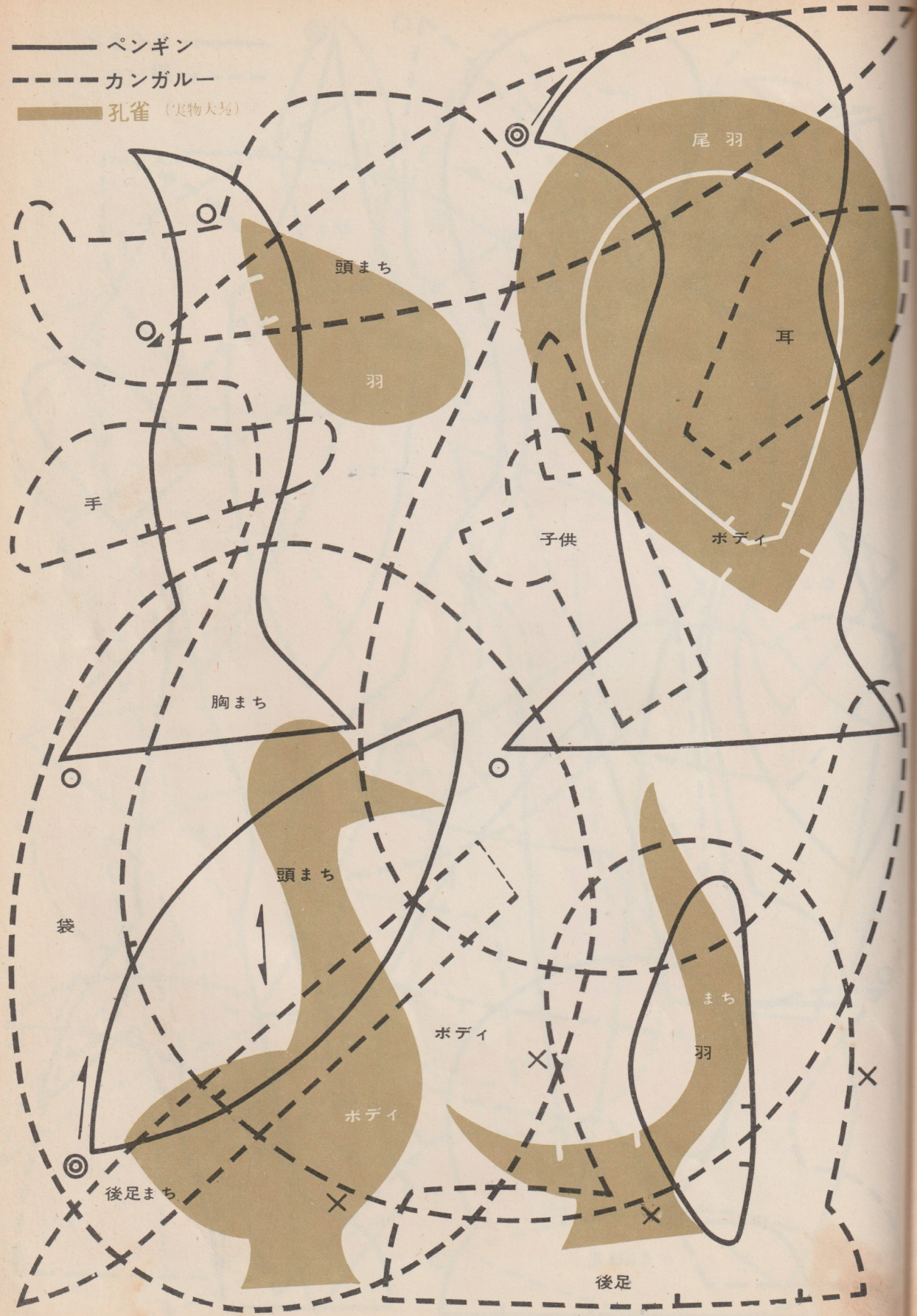
裁ち方 ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、手2枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

足襠A～B線を縫い、足先を合せてボディに縫いつけ、続けて鼻を縫い、頭襠を入れ背に開き口を作ります。

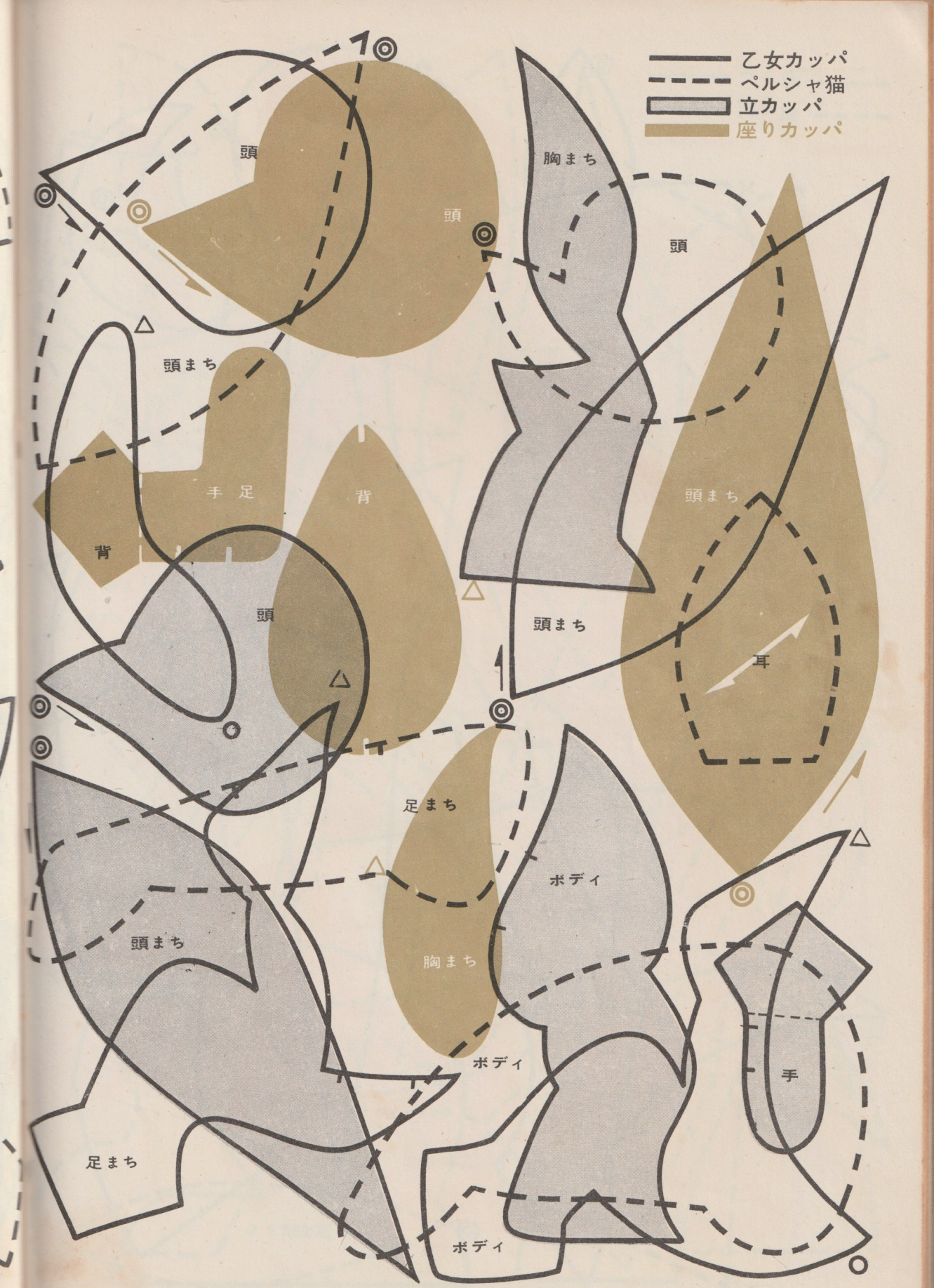
鼻の先をきれいに詰め、足は座りよくきちんと詰めます。手を作り、ボディにとじつけ、耳をさしこみます。

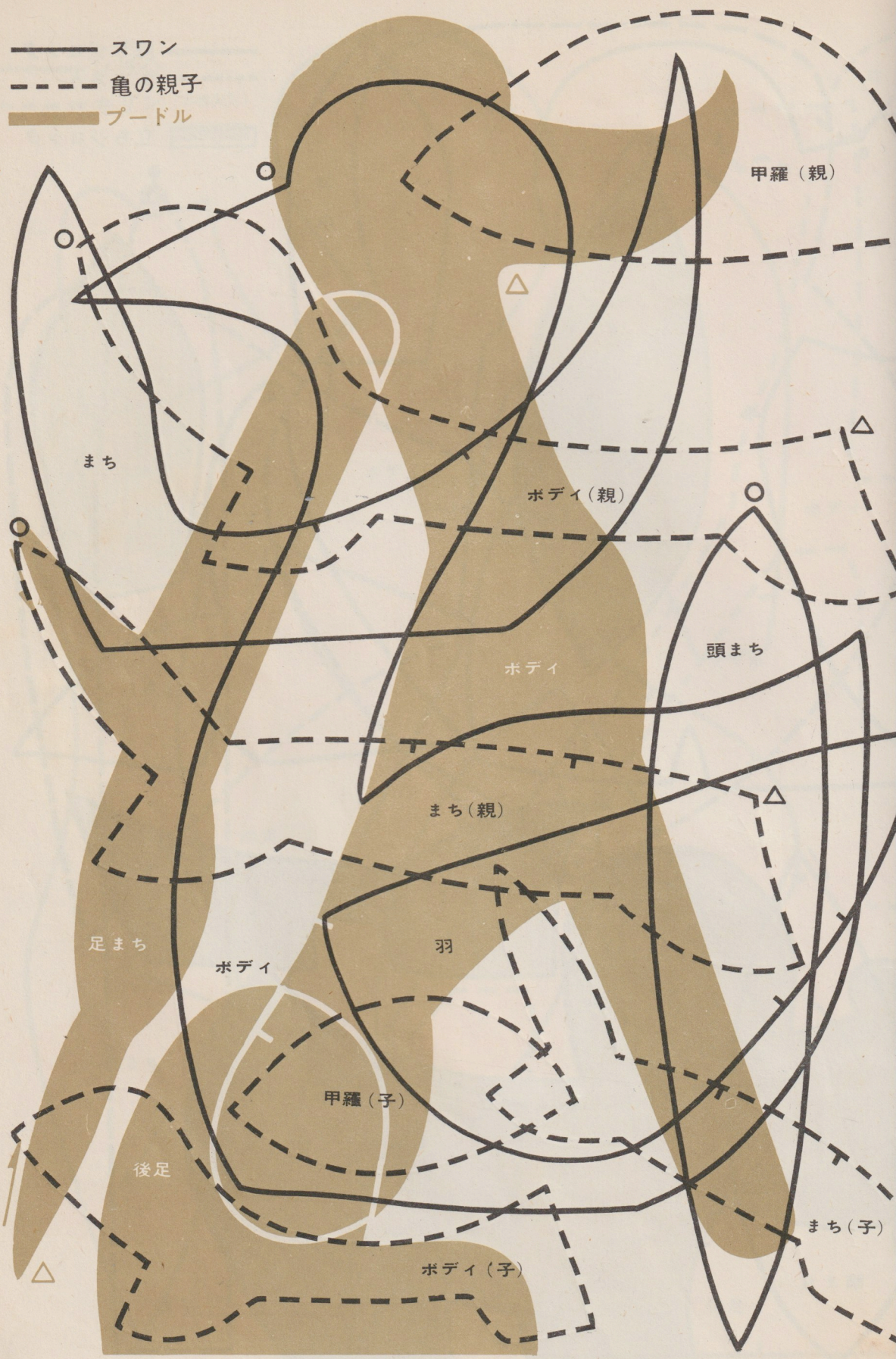
目は空色、白、黒を重ねて貼ります。

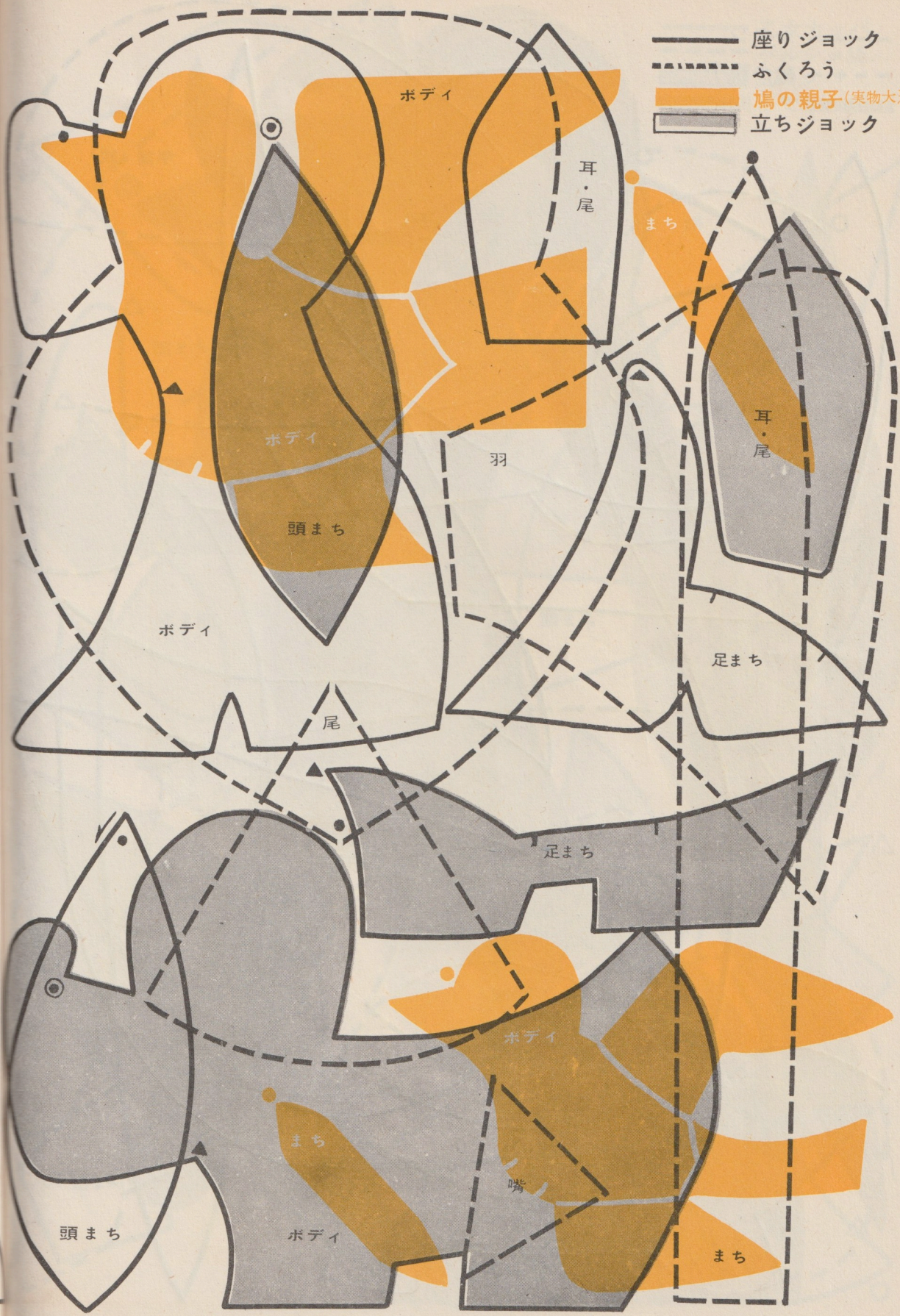

ペンギン
カンガルー
孔雀（実物大½）
尾羽
頭まち
耳
羽
手
子供
ボディ
胸まち
頭まち
袋
まち
ボディ
羽
ボディ
後足まち
後足

ライオン
犀
わし
ボディ
鼻
頭まち
耳
ボディ
頭まち
ボディ
耳
頭まち
鼻まち
キバ
羽
足まち
まち
足まち
後足

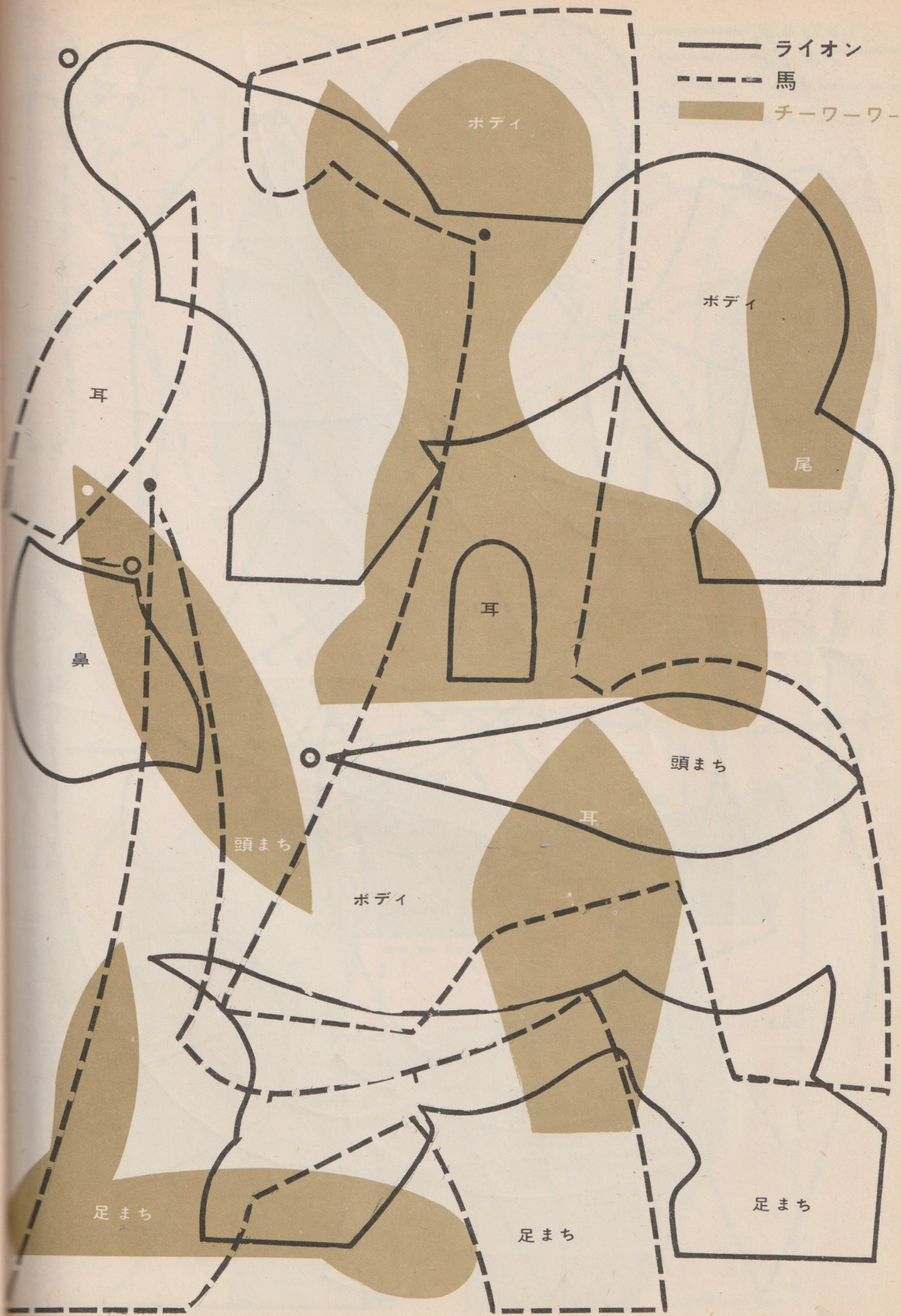
牛
狐
豹
耳
耳
耳
角
ボディ
頭まち
ボディ
足まち
ボディ
足まち
尾
鼻まち
頭まち


乙女カッパ
ペルシャ猫
立カッパ
座りカッパ
頭
頭
胸まち
頭
頭まち
手足
背
背
頭まち
頭
頭まち
耳
足まち
ボディ
頭まち
胸まち
ボディ
手
足まち
ボディ


スワン
亀の親子
プードル
甲羅（親）
まち
ボディ（親）
頭まち
ボディ
まち（親）
足まち
ボディ
羽
甲羅（子）
後足
まち（子）
ボディ（子）


座りジョック
ふくろう
鳩の親子(実物大½)
立ちジョック
ボディ
耳・尾
まち
ボディ
羽
耳・尾
頭まち
ボディ
足まち
尾
足まち
ボディ
まち
嘴
頭まち
ボディ
まち

ノラ公
キリン（実物大½）
ブラック・キャット
耳
頭
耳
鼻先
耳
尾
ボディ
ボディ
ボディ
頭まち
前足
胸まち
まち
頭まち
まち
後足


ライオン
馬
チーワーワー
ボディ
ボディ
耳
尾
耳
鼻
頭まち
耳
頭まち
ボディ
足まち
足まち
足まち

口絵作品の作り方

応用作品

バニー

基本型Ⅲ
型紙27頁

材料 グレーメルトン（ボディ、頭、耳表、手足）35糎巾50糎丈　白コーデュロイ（耳裏、チョッキの裏）12糎巾18糎丈　エンジコーデュロイ（チョッキ表）少々　クリーム毛糸（花籠）少々　グレー毛糸（尻尾）少々　リボン

裁ち方 ボディ2枚、足4枚、手4枚、頭2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

頭は両面と襠をつれないように縫い合せますが、鼻が下を向いていますから、気をつけて下さい。

耳はさし込んで付けますから片端は縫いつ放しでよいのです。

詰めの注意としては足の細い所が折れ易いのでしっかり詰めること、ボディは太い方が下になりますが、あまり厚く詰めないこと、顔は丸く口がちょつと引つ込むようにすることなどです。

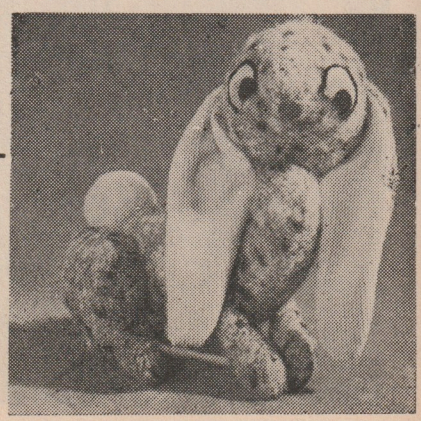
全部詰め終りましたら組立にかかります。まずボディに足を付けます。木綿糸2本どりで針は布団の綴針を使い、待針で3ケ所程とめてよくバランスをとりながらしつかり綴じつけます。踵の部分が平に落着くように気をつけます。次は手ですが、先に服を着せて（手の部分に穴をあける）その上に糸でしつかり縫いつけ、穴の周囲は内側へ折りこんでかがつておきます。着ているのはエンジと白を中表に合せ、長方形にぐるつと縫つたものを表返し、衿のつもりで白を外側に折り返しただけのものです。

頭は割箸を糊でさしこむのですが、位置をよく考えてから穴をあけないと、引つくり返つてしまいます。（39頁参照）

目は白黒の半円の囲りに黒毛糸を上側だけ貼りつけると目がはつきりしてきます。鼻先に茶色の小布を貼りつけます。

耳は長いので下向きにつけた方がよいでしよう、差しこみづけにします。籠は毛糸で適当に編んで下さい。

しつぽは直径3糎位のぽんぽん玉を作りぬいつけます。



兎の小母さん

基本型Ⅲ
型紙49頁

材料 霜降りグレーウール地（ボディ、頭、手足、耳表）25糎巾70糎丈　白コーデュロイ（耳裏）18糎巾12糎丈　ピンク毛糸少々

裁ち方 ボディ2枚、足各4枚ずつ、頭2枚、頭襠1枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

花籠兎と全く同じですが、ポーズ一つでこんなに感じが違つてきます。

スカートをはいたチュー子

基本型Ⅲ
型紙53頁

材料　グレーコーデュロイ（ボディ、頭手足、尻尾）30糎巾25糎丈　白ネル（耳裏）少々　スカート地少々　リボン

裁ち方　頭2枚、頭襠1枚、ボディ2枚手足各4枚ずつ、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　これも兎と全く同じ構成です。違う所は頭で鼻が上を向いています。そして67頁のコロと頭は全く同じです。

尻尾は細い三つ折り、12糎丈にして、差しこみづけにして、中程にリボンを結びます。スカートはお手持の余り布の中から、なるべく細かいチェック、縞などをお選びになり、24糎巾5糎丈の布を輪に縫い上方を縫いちぢめ、吊紐をつけてはかせます。

吊し猿

基本型Ⅲ
型紙55頁

材料　グレーコーデュロイ（頭、頭襠、ボディ、手足、尾）25糎巾20糎丈　赤コーデュロイ（顔）5糎巾10糎丈　白（腹）ピンク（耳裏）コーデュロイ少々

裁ち方　頭2枚、頭襠1枚、顔2枚、ボディ2枚、腹1枚、手、足各4枚ずつ、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　左右1枚づつ赤で裁った顔を頭布と接ぎ合せます。細かくピンを打たないと曲線が直線になりがちです。襠は太い方を前方から合せて縫い下方に返し口を作ります。

背布2枚はグレーお腹一枚は白で裁ち（同じ型紙）3枚を接ぎ合せます。返し口は背中にしても下方にしてもよいでしょう。

手足は周囲をぐるっと縫い、鋸屑を詰めてとじ合せます。しっぽは三つ折（長さ10糎）の中へ針金をいれ、先をくるくると丸めます。

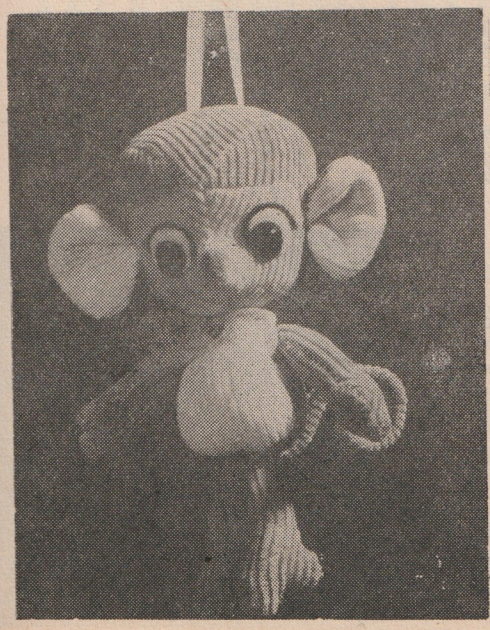
頬をなるべくふくらませて詰めると可愛くなります。木綿糸2本どりで各部分を接続しますが、釦をつける時の要領で渡した糸をクルクルと2～3回巻いて下さい。

足から始めて、糸を切らずに体の中を通して手に移り、最後に頭をつけるとよいでしょう。

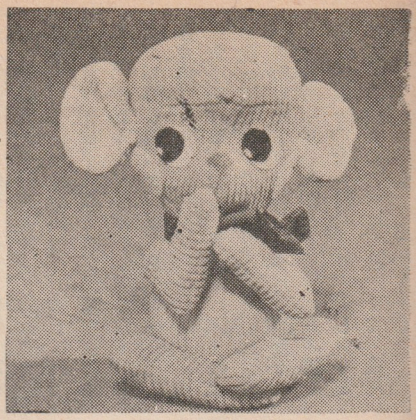
糸はあまりゆるくてもきつすぎてもいけません。吊してゆらゆらゆれる程度です。しっぽ、耳は目打でさしこみます。

目は白、黒を重ねて貼り、黒の極細毛糸で外廻りをとります。鼻先に茶色別珍を貼りつけます。

頭の後に細いしっかりしたリボン（16糎丈）を縫い付け吊紐とします。



物知り猿



基本型Ⅲ
型紙49頁

材料　茶色コーデュロイ（顔、頭襠、ボディ、手足）25糎巾25糎丈　白又はピンクコーデュロイ（腹、耳裏）20糎巾10糎丈　赤コーデュロイ（顔）少々　リボン

裁ち方

ボディ2枚、襠襠1枚、顔2枚、腹襠2枚、手2枚、足2枚、耳は表裏各2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方

これは頭と体が続いていますが、吊り猿と殆んど同じものです。最初に顔布をボディに接ぎ合せておき、次にお腹の襠中心を縫つて割り、鼻の下へ合せてボディと縫い合せます。

型の大きい方が足ですから、前で組ませて、お尻の下に綴じつけ、手に表情をつけて縫いつけます。

頬に白い丸を貼ると猿らしくなります。首にリボンを結びます。

スワン

型紙77頁

材料　白コーデュロイ（ボディ）35糎巾35糎丈　エンジコーデュロイ（羽）14糎巾14糎丈　クリームコーデュロイ少々　白極細毛糸少々　リボン

裁ち方

ボディ2枚、頭襠1枚、足襠2枚、羽各4枚型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

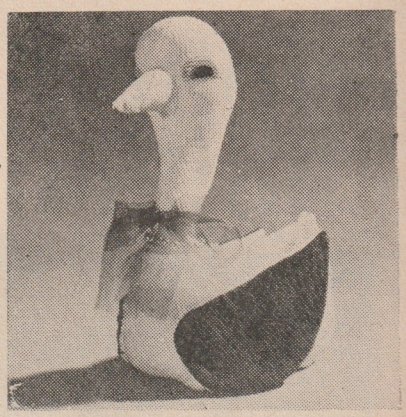
作り方

襠A～B線を縫つたら尾の方からボディと合せて縫います。頭の襠は、嘴の根元から太い方を前にしていれます。羽の裏は白にし、中表に合せて縫い、表に返します。座りよく詰めたら、羽を縫いつけます。

白毛糸6本どりで、毛糸のリング（41頁のように巻き、ミシンはかけない）を作り、胸に巻き糊でつけ、糊が乾いたら毛糸の輪を切り、刈込んで丸くします。嘴をクリーム色の布で巻き、糊づけにします。

目は空色と黒の半円を重ねて貼り、首にパールとリボンを結びます。

プードル



型紙77頁

材料　黒別珍30糎巾30糎丈　黒ループヤーン少々

裁ち方　型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

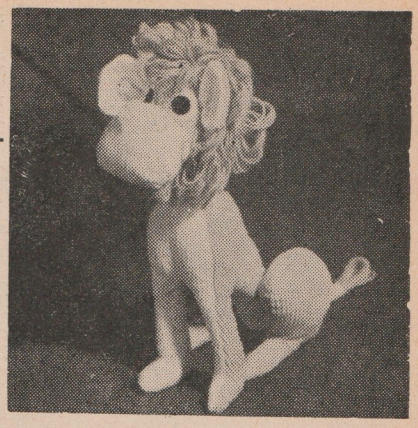
作り方

襠のA～B線は全部縫つてしまい、背中の下部をあけておきます。鋸屑をつめる時、前足には紙を固く巻いて入れます。（40頁参照）後足も縫い合せて鋸屑をつめ、形よく作つたものをしつかりとボディにとじつけます。

ループヤーンで巾2糎のリングを作ります。足には5本ずつ、胸に7本、頭に8本の割合で巻きつけ、糸で止めます。（41頁参照）後足と背中には2本指に巻いて中央を結んだ花（64頁参照）をつけ尻尾は三つ折りにして巻いた3糎の布に糊をつけ、ループヤーンを先に束ねてとじつけます。首にはパールの首飾りをつけ、目鼻を貼つてでき上ります。

ライオン

型紙74頁



材料　焦茶コーデュロイ（ボディ、後足、頭、耳表）30糎巾30糎丈　白コーデュロイ（足襠、鼻、鼻襠、耳裏）15糎巾12糎丈　焦茶極細毛糸少々

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、鼻2枚、鼻襠2枚、後足4枚、耳は表裏各2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　背を明けますから、足の襠はA～B線を縫ってしまいます。鼻をボディと接ぎ、鼻の襠をぐるりと廻してつけ、両面をつけたら足の襠を入れます。次に頭の襠を鼻の付根から背へ縫い下げ、返し口をあけて、お腹までつづけて縫います。後足は二つ作ります。前足には紙を固く巻いて詰め、後足を坐りよくとじつけます。耳をさし込んで止めつけ、たてがみをつけます。毛糸で巾3糎のリングを3本どりで作り、頭の周囲に糊と糸で5回位巻きつけます。尻尾は牛と同じに先に毛糸をはさみ、8糎の長さにさしこみます。

一番易しい小犬

型紙56頁

材料　エンジ別珍（耳、頭、背）14糎巾34糎丈　縞ウール（腹）8糎巾8糎丈　ピンク極細毛糸

裁ち方　耳4枚、頭2枚、ボディは1枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

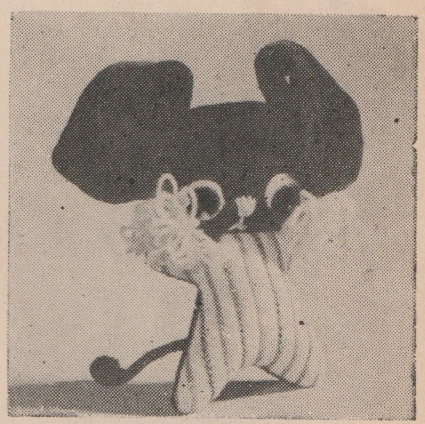
作り方　襠が入らないので、全部中表にして縫い合せ表に返します。頭と胴を詰めたら頭の下部を首の位置に合せ、木綿糸2本どりでしっかり縫いつけます。

鼻は黄色毛糸で刺し、目は白、黒で貼りつけます。

ピンクの毛糸を5～6回2本指に巻いて、中央を糸で結び、ひげにしてとじつけます。（64頁参照）

耳は上向きに縫いつけて前に折り返し目のわきにとじつけておきます。

尻尾は三つ折り10糎丈にし、針金を芯に入れます。目打で差しこみづけにし、先を丸めて胴の支えとします。



バンビのお兄さん

型紙26頁

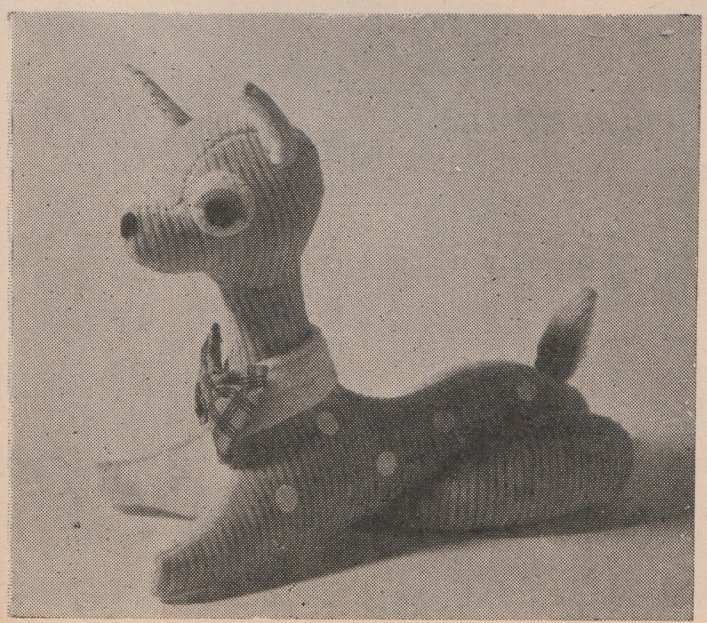
材料　焦茶コーデュロイ（ボディ、頭襠、耳表、後足）25糎巾35糎丈　白コーデュロイ（足襠、耳裏）15糎巾15糎丈

裁ち方　ボディ2枚、足襠2枚、頭襠1枚、後足4枚、耳と尾は同じ型紙では表裏3枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　頭の襠は鼻先からいれます。後足は2枚合せてぐるっと縫えばよいのです。

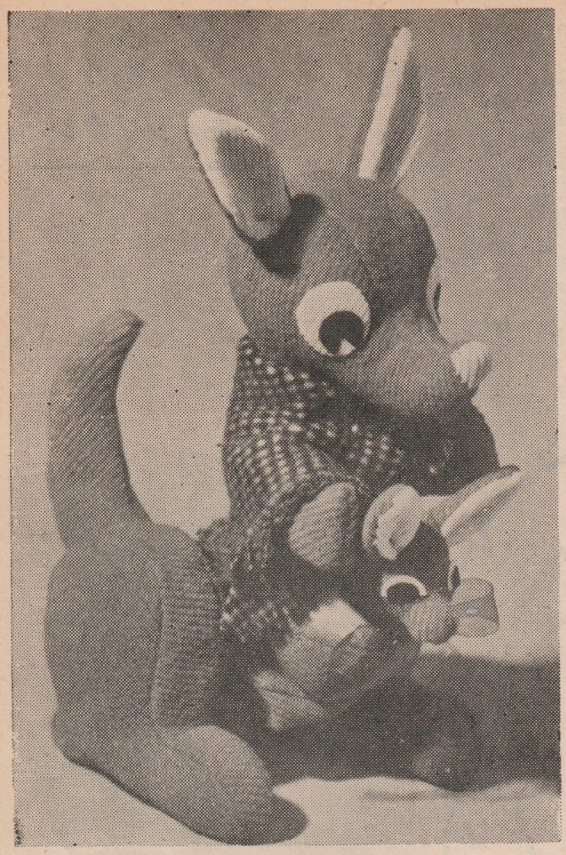
首にしわがよらないように詰め、後足は両方のかかとをくっつけるつもりにお尻を平につぶして綴じつけます。耳、尻尾は同じ型紙で3枚作り、それぞれさしこみ付けにします。斑紋は白丸、目は白丸に空色の半円、黒の小丸を貼ります。

首はリボンでも、写真のようにチェックの蝶ネクタイでも。



カンガルー

型紙73頁



材料　茶色メルトン（ボディ、頭、足、尾、子供、袋）35糎巾50糎丈　白コーデュロイ（耳裏）8糎巾8糎丈　チエックのウール地少々（ショール）リボン

裁ち方　ボディ2枚、頭襠1枚、袋1枚、後足4枚、後足襠2枚、手2枚、耳は表裏各2枚ずつ。子供は頭2枚　耳表裏各2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます

作り方　まず鼻の附け根から頭の襠を入れて両面を縫い合せたら、ボデイ2枚をぐるつと縫い廻ります。手、足、子供、耳は1枚だけ裁つてありますから、それを共布の上に中表にのせて縫い、あとから周囲を裁ち落すと、ずれないできれいにできます。角々や彎曲の多い所は切込みを入れて表に返します。袋の周囲を0.5糎内側に折つてぐるりとミシンをかけます。

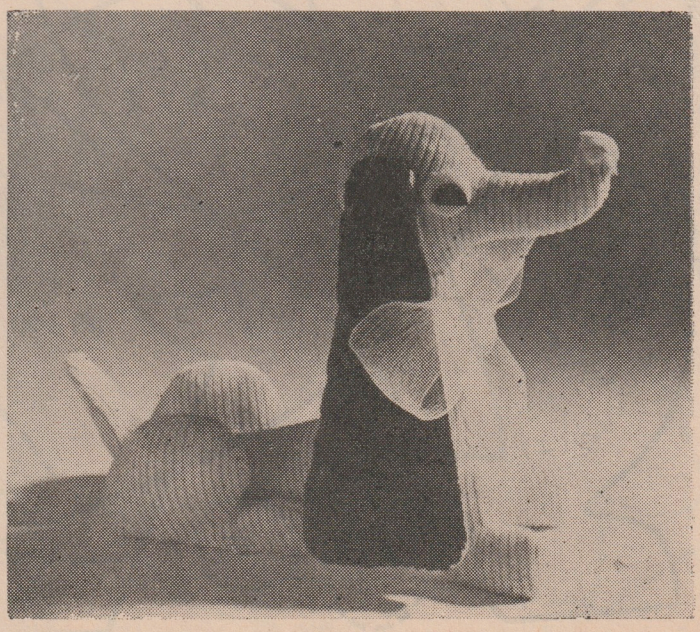
全部縫い終りましたら鋸屑をつめますが、鼻先、しつぽ、足の附け根など、特にしつかりつめ、口をとじ合せます。

袋布をボデイの合標に合せて、両側に襞を一つとり、虫ピンで止めておき、その上に足をのせて一緒にとじつけます。とじるのは、布団の綴針のように丈夫な針に8番のカタン糸を通して2本どりにするとしつかりしてよいでしよう。両手も外側がいくらか開くように表情をつけてとじつけます。子供には柔かいウール（黄色）の布を着物のように巻いて着せつけ、糸でちよつと止めておき、首にリボンを結びます。

母子とも目は白と黒で貼り、鼻の先に黄色い小布を写真のようにとめつけます。耳はさしこみにします。ショールの布は20糎の正方形を斜半分に折り、前で形よく合せてピンで止めます。

ダクシー

型紙52頁



材料　茶色コーデュロイ（ボディ、足、尾）25糎巾20糎丈　エンジコーデュロイ（表耳）12糎巾10糎丈　白コーデュロイ（足襠、耳裏）12糎巾30糎丈　リボン

裁ち方　ボデイ2枚、足襠2枚、後足4枚、耳は表裏2枚ずつ型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ちます。

作り方　頭の襠がないので、大変簡単です。

足襠を接ぎ、ボデイと縫い合せたら、続けてぐるりと頭鼻先を縫います。

後足は返し口を残して縫い、表に返したら出来るだけ固く詰めます。ボデイは鼻先に少しずつ端から詰めてゆきます。

足は木綿糸でしつかりかがりつけ、耳は上部だけ縫いつけ、尾はさしこみづけにします。目を貼り、リボンを結します。

腹鼓のチャンピオン

材料　濃茶ウール厚地1分程度　白、淡茶ウール厚地少々　黒（目と鼻先用に）少々　パッキング（綿）少々

作り方

(1) 型紙に0.5糎の縫代をつけて各枚数を裁ちます。頬とお腹は白く、尾の下側と耳裏、足の裏、鼻裏は薄茶に、口は赤で鼻先は黒に裁ちます。

(2) 頬の白い部分と茶の部分を縫い合せ、あご下も左右縫い合せます（縫いはミシン又は返し縫い）。

(3) 鼻先、鼻裏、口の赤を縫い合せ、型紙通りにつづけます。

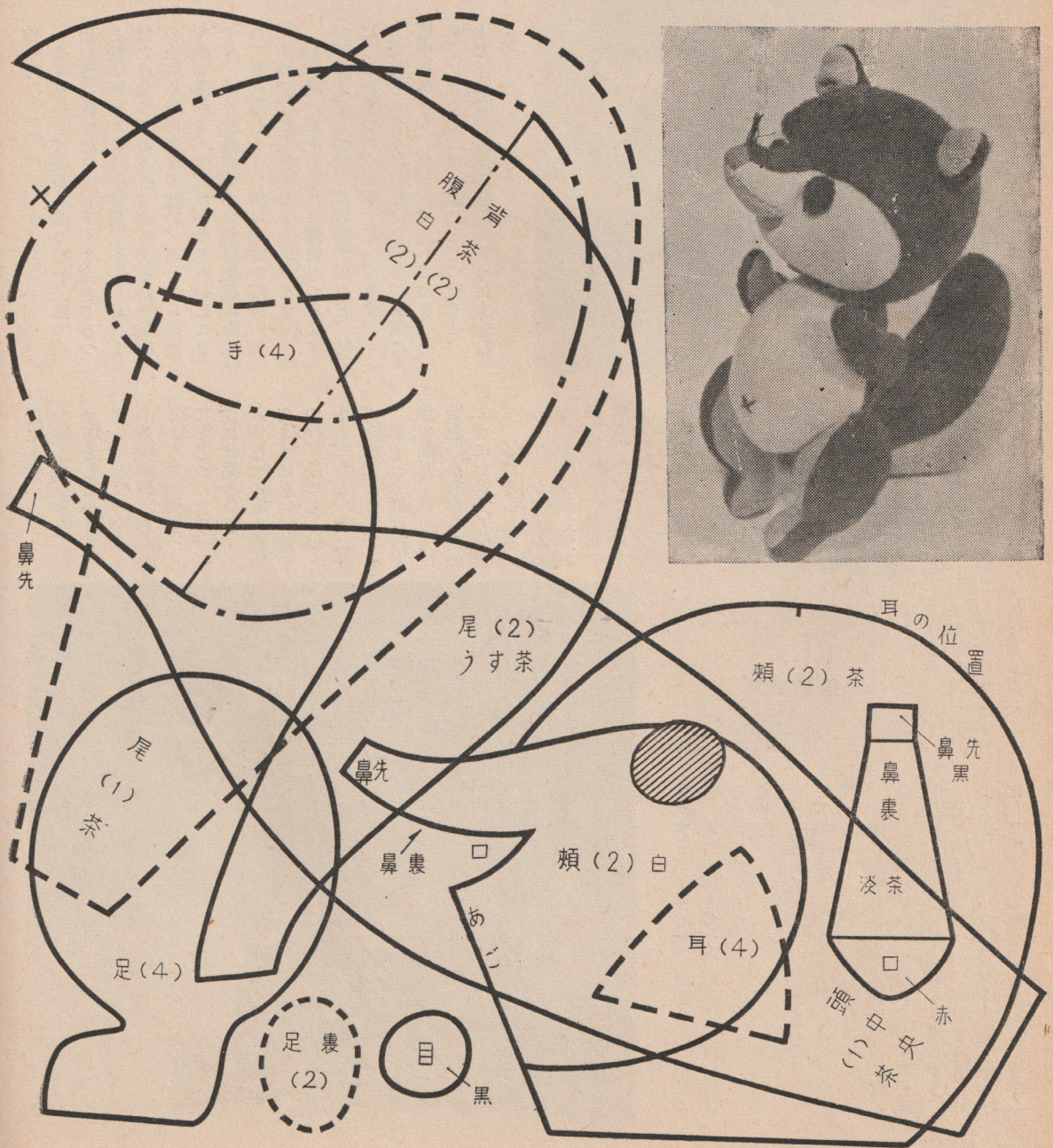
(4) 頭の中央を頬の間にはさみ、縫い合せます。この際型紙の点線の部分は各自軽く縫いちぢめておいて（左右同じ長さに）合せますと丸みが良くでます。

(5) 鼻先、鼻裏、口につゞいたものを顔にはさみこみ縫い合せます。（この時口の両端になるところは縫代一杯きりこみを入れておくと縫い合せやすくなります。）

(6) 返して綿を固くつめます。鼻先から少しずつ箸の先でおしこみ、固くつめます。頬は十分左右にひろげてふつくらと。

(7) 首の部分をすつかり縫いちぢめます

(8) 耳を裏表2枚ずつ合せ縫い、つけ根を3つにたたんで、左右縫い目の上にく



きつね

材料　グレー縞ウール地1.2分　淡茶ウール（耳裏、手足裏、鼻裏、尾裏）25糎巾20糎丈　赤、焦茶少々　パッキング（綿）少々

作り方

殆どたぬきと同じです。

頬、胴のつぎ合せがないだけ簡単ですが、只足はひざを曲げ、腰をおろしている格好にしましたので、足の点線の部分は綿を詰めてから糸で縫いしめてすじをつけてください。

(9) 背の茶と腹の白の布を左右合せて首の部分を残して縫い合せ綿をつめます。

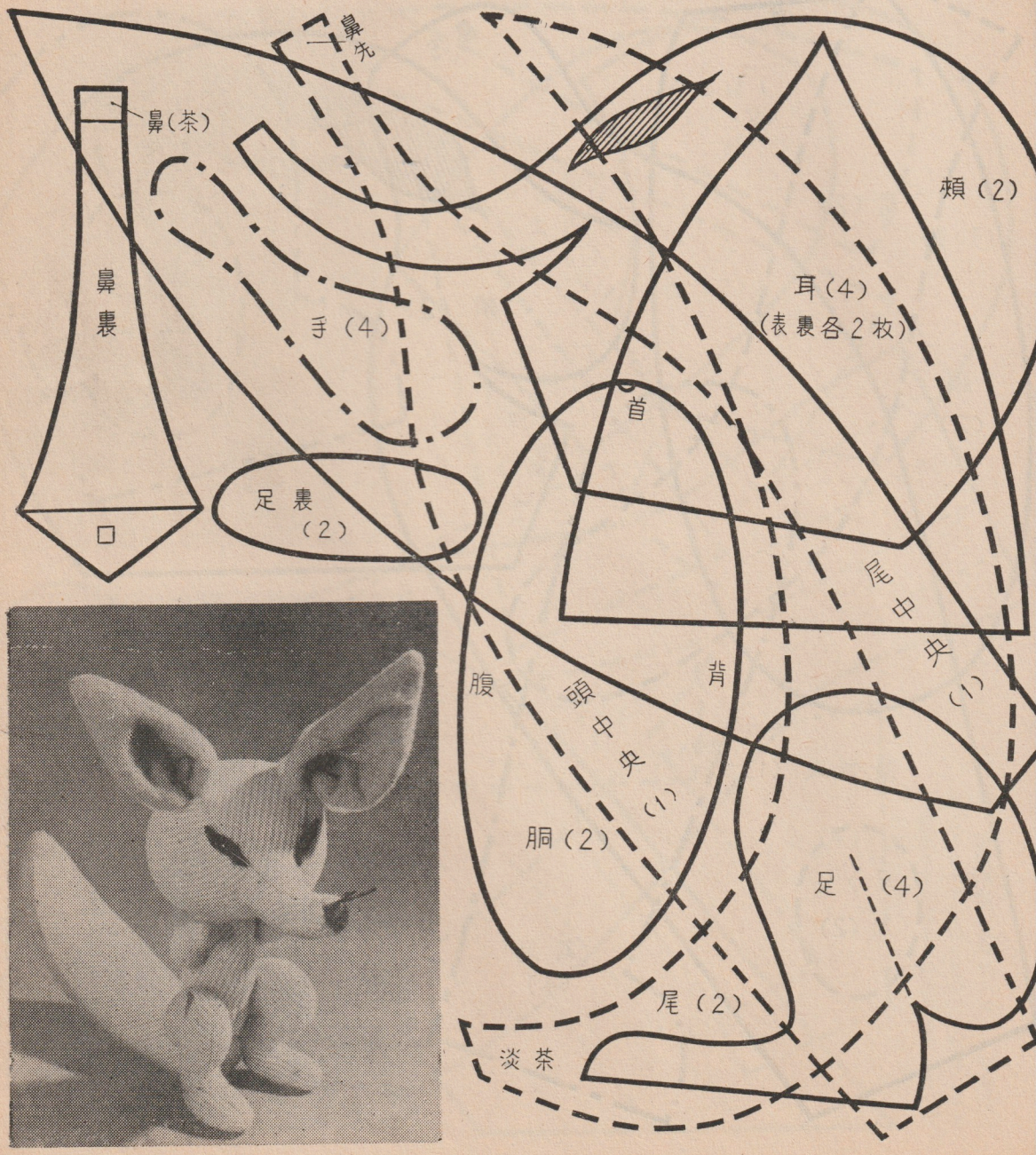
(10) 手、足を縫い合せ、綿を詰めてくけつけます。

(11)(12) 胴に手、足、頭を形よくくけつけます。

(12) 2枚の尾のふくらんだ側を縫い合せ、へこんだ側に中央のこい茶の尾をはさみ入れ、綿を詰め、つけ根ときれいに始末して胴にくけつけます。この際尾と足の3点で身体が良く立つようにつけてください。

(13)(14) 1糎丸の目をくけつけます。

(14) 鼻先に5～6本黒の木綿糸でひげをたたせ、おへそも一寸つけて出来上ります。



虎の子トラちゃん

材料　草色と黒のまじったウール地35糎巾30糎丈　ベージュウール地(足裏、目)少々　赤、薄茶、黒少々　パッキング(綿)少々

作り方

手、足、胴、尾はたぬき、きつねと同様ですが、顔の作り方が少し違います。

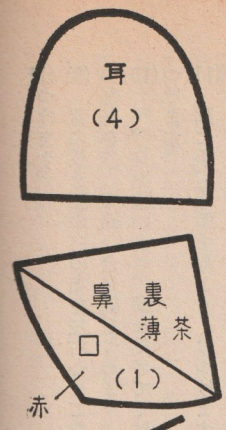
(1) 先ず頭の中央の鼻先の部分をしるしの間、糸一杯にひいて縫いちぢめて、鼻のふくらみを示しておきます。

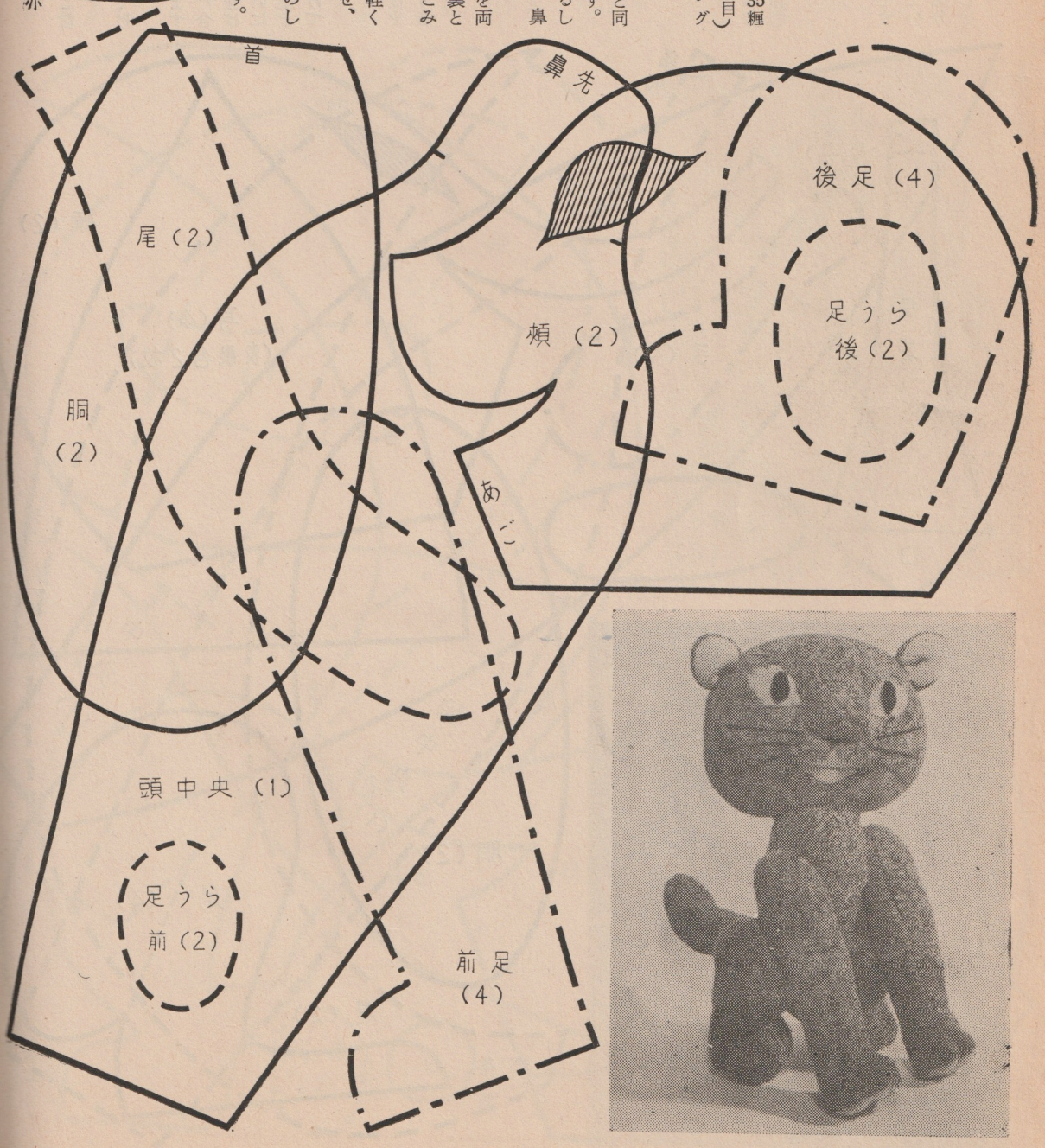
(2) 頬の布も鼻の下の部分上唇の所を両側を糸一杯にひいて縫いちぢめ、鼻裏と口の赤を縫い合せた布を中にはさみこみ縫います。

(3) 頭の中央の布を両頬の布の間に軽く両側を縫いちぢめておいてはさみ合せ、縫うのはたぬき等と同じです。

(4) 足先に黒い木綿糸2本取りで指のしるしをつけるとひきたちます。

(5) 仕立げに、ひげをぴんとつけます。





赤いお靴のからすの赤ちゃん

材料　黒厚地ウール1分余り　濃緑コーデュロイ（嘴）少々　淡茶ウール（口の裏側）少々　目に黄色　赤コーデュロイ（長靴）少々　パッキング（綿）

作り方

(1) 嘴の上下を縫います。内側に厚紙を入れて固くし、上下の内側を口もとでしっかりとじつけておき、綿を詰めます。

(2) 頭の中央を両頬を縫い合せ、あごも左右合せて縫い、丸いあきに口ばしを入れてくけつけます。

(3) 頭にも綿を入れ、首の部分を縫いちぢめます。

(4) 首の布を縫い合せて綿をつめ、下の口を縫いしぼつておきます。

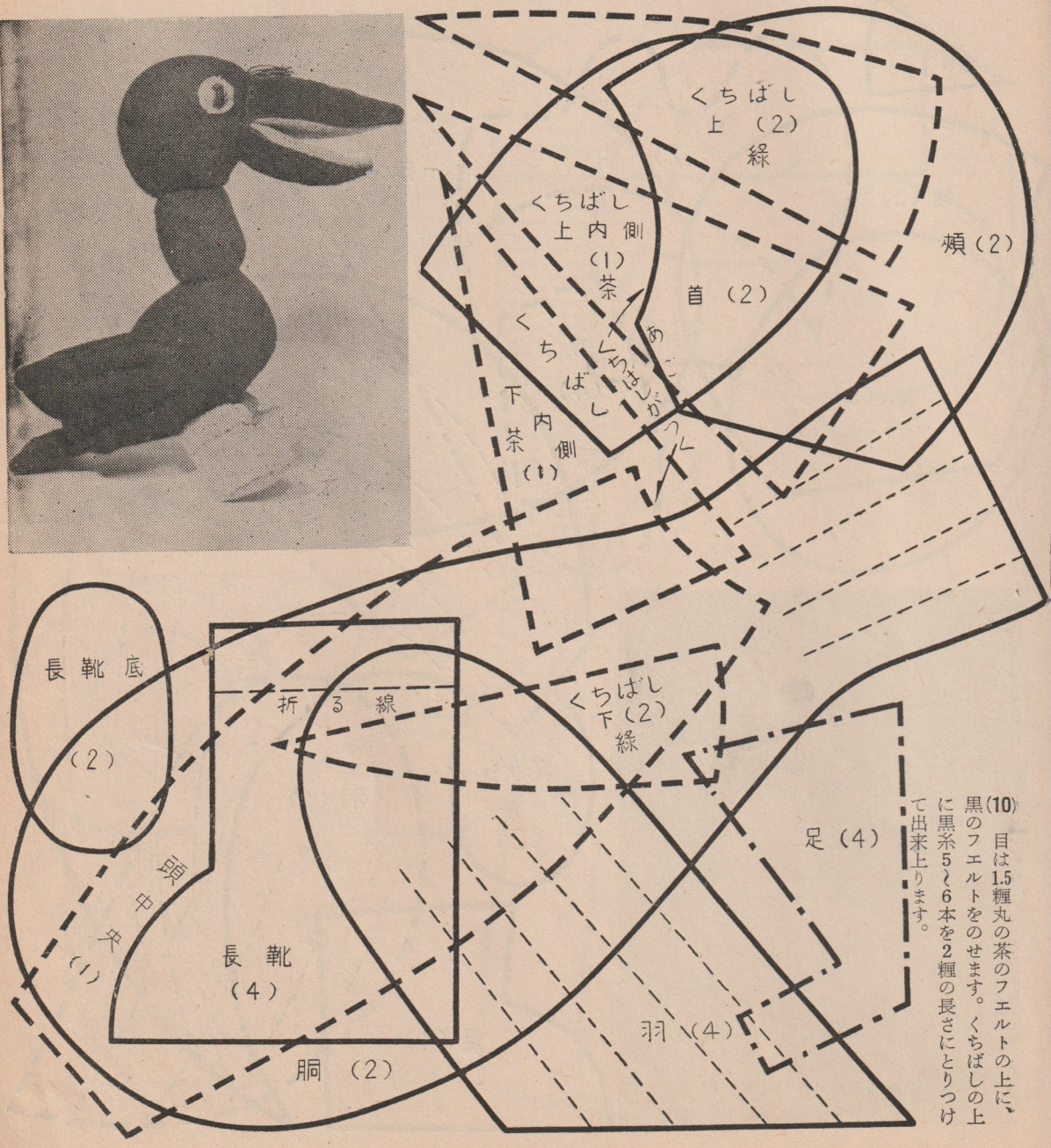
(5) 胴と尾の先の部分を残し、ぐるっと縫い綿をつめます。この際尾の部分だけ綿を少しつめ、横に平につぶしてくけ合せ、黒い糸で5～6本縫いしめて尾のすじをつけます。

(6) 頭、首、胴とくけ合せます。

(7) 足を縫ってくけつけます。

(8) 左右の羽を縫い、薄く綿を入れて、ステッチをかけ胴にくけつけます。

(9) 長靴を縫ってはかせます。茶色ウールの底に赤いコーデュロイをとりつけ、上部は1糎折り返します。



(10) 目は1.5糎丸の茶のフエルトの上に、黒のフエルトをのせます。くちばしの上に黒糸5～6本を2糎の長さにとりつけて出来上ります。

おんどり

材料　白ウール厚地40糎巾25糎丈　赤ジャージー（古いメリヤス地を赤く染めたのが一番よい）少々　黄色ウール地少々　薄茶メリヤス地少々　黒フエルト又はウール地少々

作り方

(1) 頭はからすと大体同じです。ただ嘴は小さいのでボール紙は入れる必要はありません。

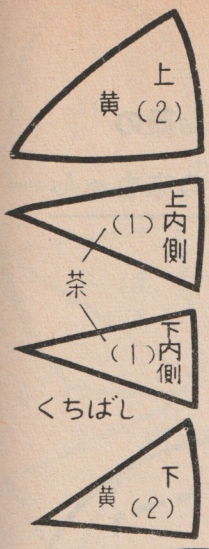
(2) とさかは薄く綿を一緒に縫つて返し、頭の中央につけます。

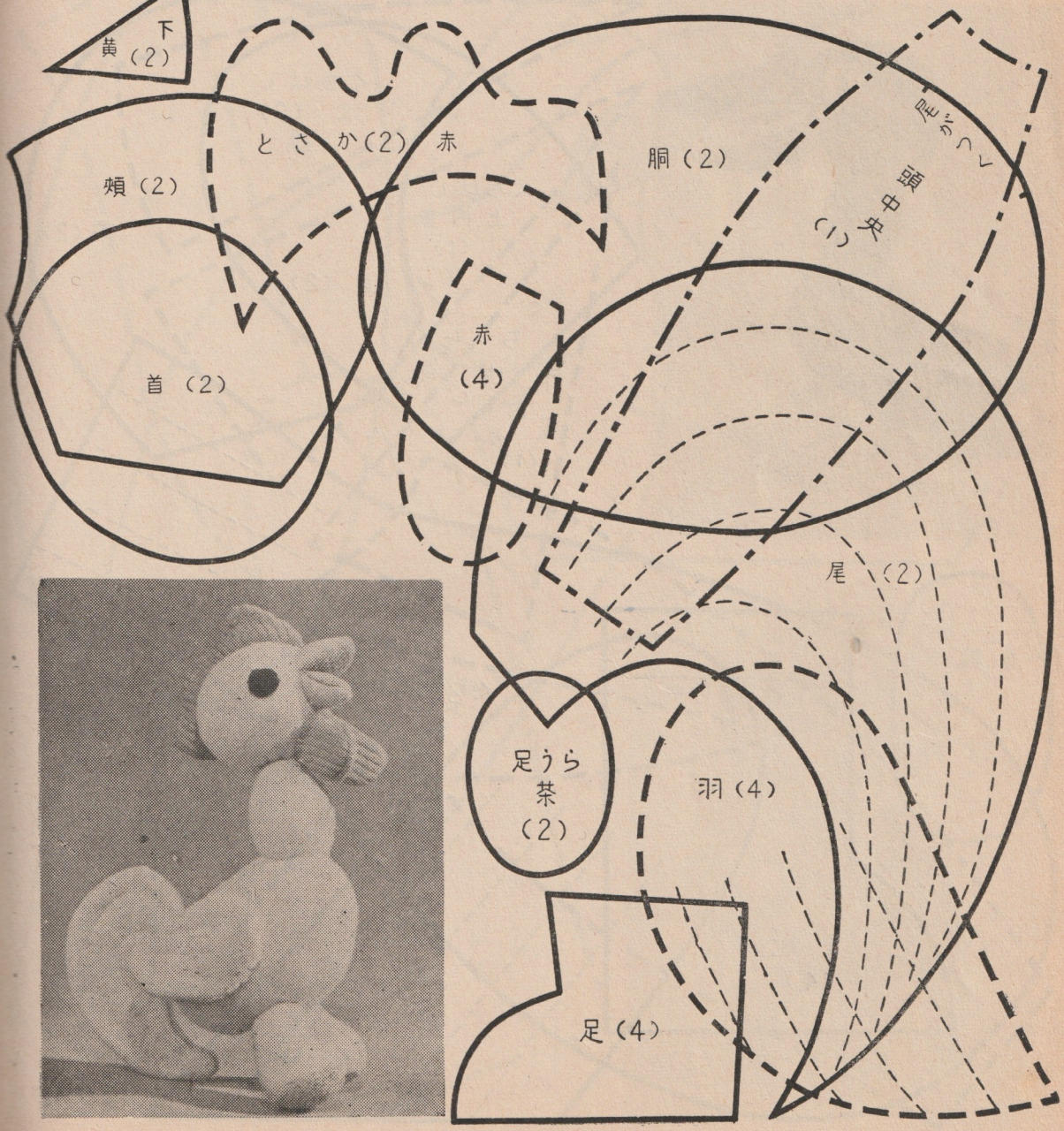
(3) 首、胴、別々に縫い合せて綿をつめてくけつけ、頭もくけつけます。

(4) 尾と羽はとさかのように綿も一緒に縫い返して、図のようにステッチをかけ各々胴にくけつけます。

(5) これはからすと違つて、長靴の形の足にして綿をつめて胴にくけつけます。

(6) 目は1糎丸に切つた黒フエルトを貼りつけます。



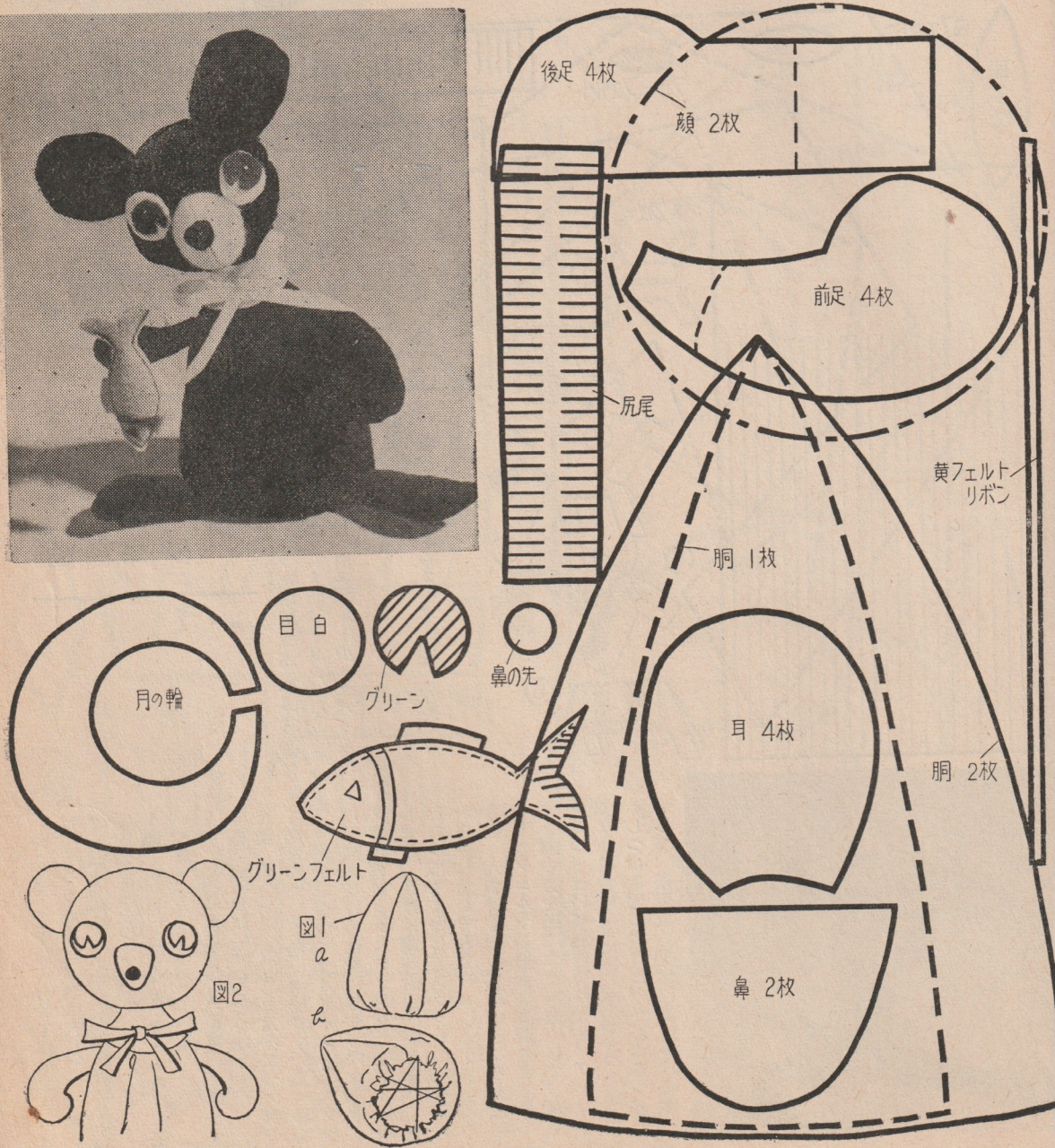


釣りがお上手

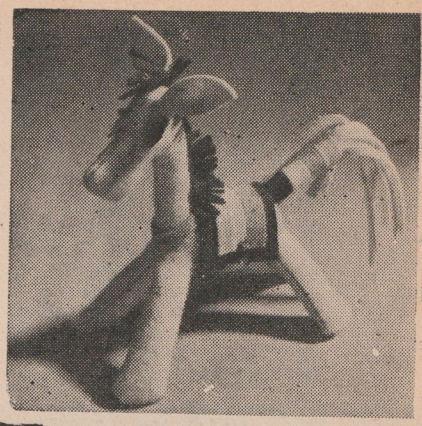
材料　黒ベルベッティ25糎巾28糎丈　白　グリーン濃淡、黄色、黒フェルト各少々　黄玉待針1本　虫ピン　パッキング

作り方

AからEまで指定の枚数だけ裁ちます。先ず図1のように、胴A2枚とB1枚を縫い合せ、パッキングを詰めて図のように糸でかがり共布でかがり口がみえないように円形のものを貼りつけます。手、足、耳、顔それぞれ2枚ずつ中表に合せて縫い、表に返してパッキングを詰めます。写真を参照し耳を除いてそれぞれ形よくとりつけます。鼻は白フェルトで裁ち、接ぎ合せて綿を詰め、顔にかがりつけます。鼻の先に0.8糎丸に切つた黒フェルトを虫ピンで留めつけます。目も図の如く裁つたフェルトを虫ピンで留めつけます。首には白フェルトで月の輪のようなカラーをつけ、黄色フェルトのリボンを結び黄玉待針でとめつけます。0.3糎巾2.5糎丈に切つた黒フェルトをぼんぼんのようにまとめて尾の位置につけ、フェルトで作つたお魚を平に持たせて出来上ります。



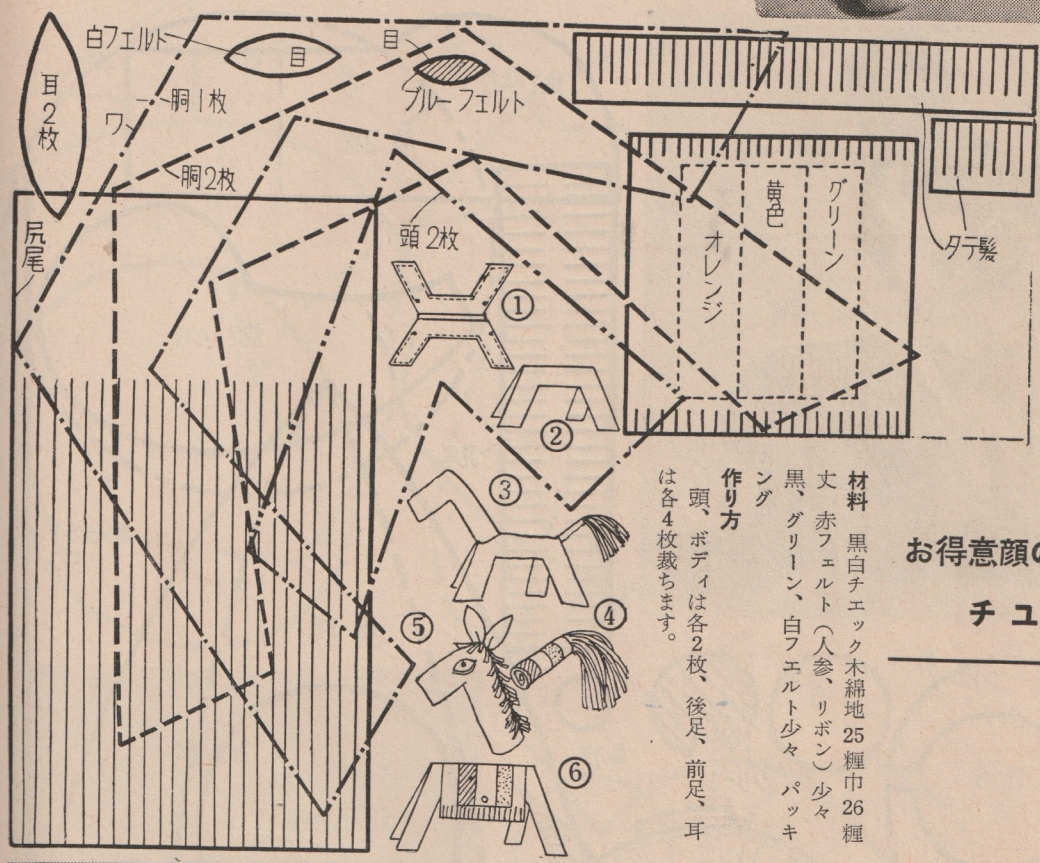
坊やのお馬



材料　黄色フエルト（ボデイ、耳、尾）25糎巾15糎丈　ブルー、グリーン、オレンジフェルト少々　青玉待針4本　パッキング

作り方

1図のように胴に襠を中表に重ねて縫い、表に返して2図のようにパッキングを詰めます。3図のように頭を縫ってパッキングを詰めて胴に縫いとめ、黄色フエルトを5糎巾9糎丈に切り、6.5糎程細く切り込みをいれ、4図のように丸めて4色のフエルトで巻きつけ、定位置に縫いつけます。たてがみは5図のように小さい方は耳をつけた間に縫いとめ、長い方はねじつて首すじにとめてゆきます。くらは型紙の通りフエルトを裁ち、点線のところは3色のフエルトを縫いつけ、胴に待針で両側からとめます。



お得意顔のチユー助

材料　黒白チエック木綿地25糎巾26糎丈　赤フェルト（人参、リボン）少々　黒、グリーン、白フエルト少々　パッキング

作り方

頭、ボディは各2枚、後足、前足、耳は各4枚裁ちます。各2枚ずつ中表に合せ1糎位の口をあけてミシンで縫い、表に返してパッキングを詰め、あき口を糸でかがり合せます。各部が出来上つたら、

1図　胴(D)と後足(A)をAのかげで縫いつけます。

2図　胴(D)に前足(E)を縫いつけます

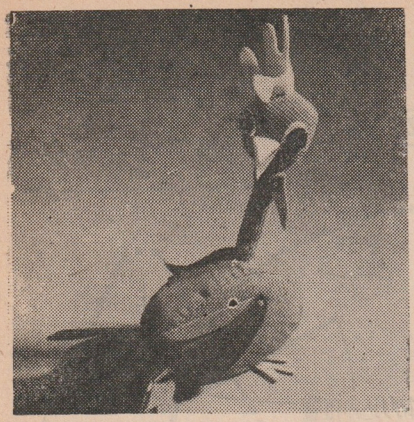
3図　胴(D)に顔(C)をつけます。

4図　顔(C)に耳(B)を元を二つに折つて図を参照して縫いつけます。鼻、目をフェルトで切つてセメダインではりつけ、図のひげの位置にきりで穴をあけ、プラスティックのブラッシの毛を3本通します。ひげは細い針金に紙を巻いて色をぬつてもよいし、ブラッシの毛を両方からさし込んでもよいでしょう。

5図　人参は型紙の点線のところを縫い合せ、フエルトの場合は裏返さず、そのまま頭の方を糸でつまみ縫いして、葉をぐるつとまいて縫いつけます。フエルトでない場合は、表に返して綿をつめます。

しつぽは図のように一ぺんぐるつと一巻して、糸で止めて定位置につけます。

おめかしをした ニワトリ



材料　エンジコーデュロイ10糎巾22糎丈
フェルト（グリーン濃淡、オレンヂ、黄色、白、ブルー）各少々　グリーン玉待針3本　パッキング

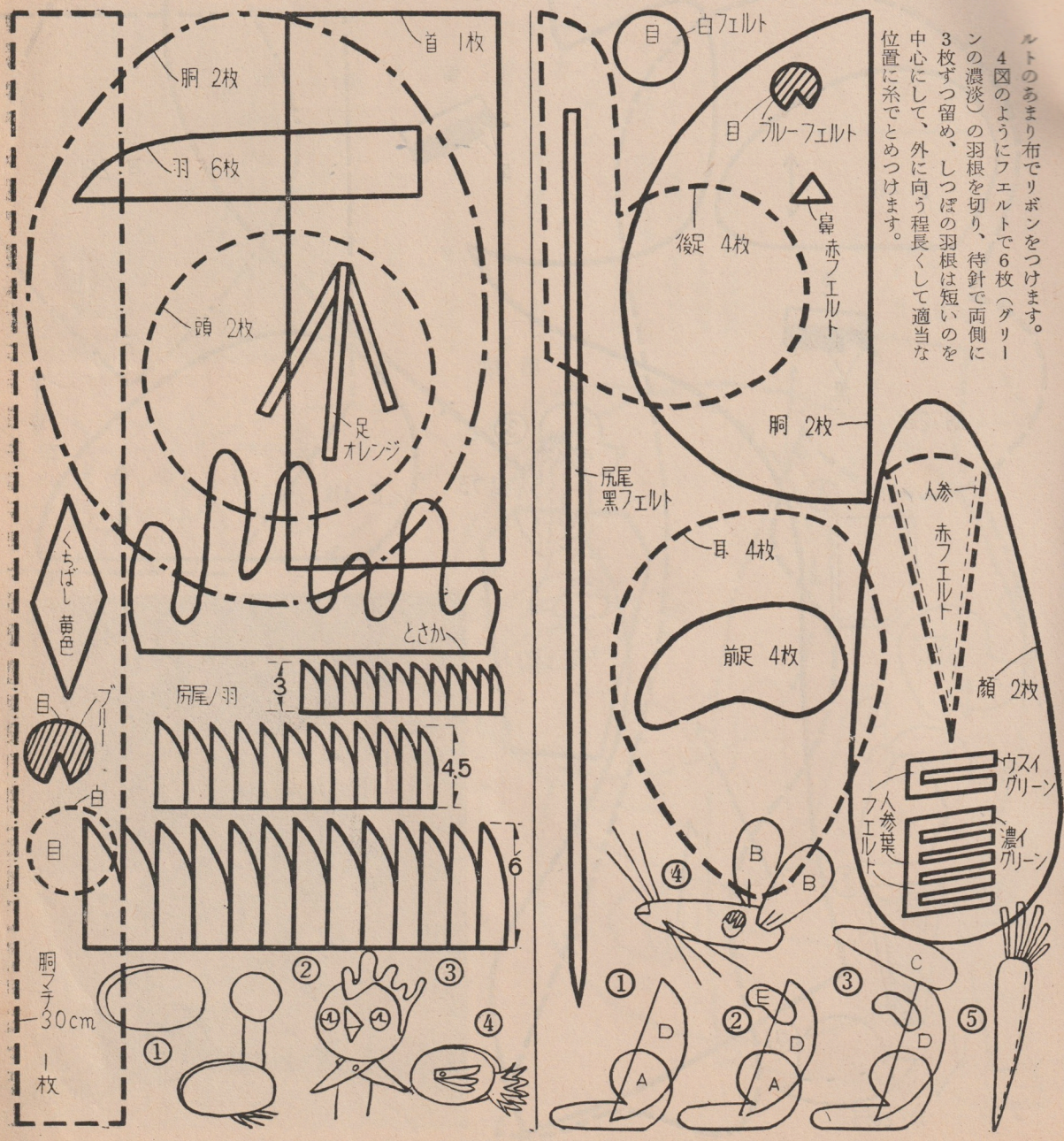
作り方

胴の型紙2枚の間に襠をはさんで、1図のようなものを作り、パッキングを詰めます。

首の型紙で円筒形を作り、パッキングを詰め、頭も縫い合せてパッキングを詰め、2図のように接続し、フエルトで足を切つて定位置に縫いつけます。

3図のように目、とさか、嘴をフエルトで作つてとりつけ、首にグリーンフエルトのあまり布でリボンをつけます。

4図のようにフエルトで6枚（グリーンの濃淡）の羽根を切り、待針で両側に3枚ずつ留め、しつぽの羽根は短いのを中心にして、外に向う程長くして適当な位置に糸でとめつけます。



小粋な犬のアヴェック

淑女

材料　ピンクコーデュロイ25糎巾20糎丈　黒、黄別珍　赤フエルト少々　白フエルト8糎四方　花飾り用残り布3色少々　茶並太毛糸　赤オーガンディリボン27糎　パッキング

作り方

(1) 型紙に0.5糎の縫代をつけて裁ち、縫い返します(胴と足)。

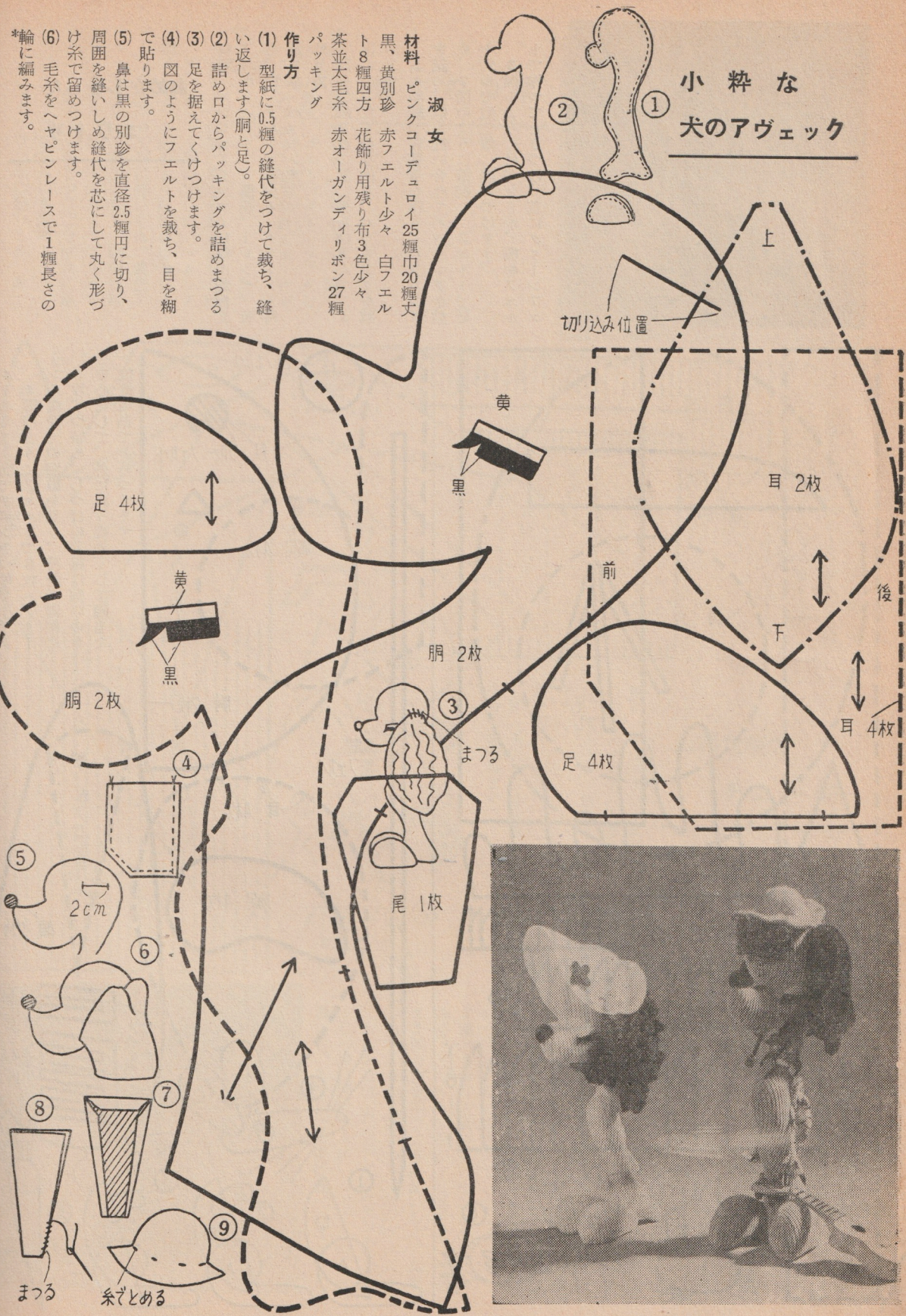
(2) 詰め口からパッキングを詰めまつる

(3) 足を据えてくけつけます。

(4) 図のようにフエルトを裁ち、目を糊で貼ります。

(5) 鼻は黒の別珍を直径2.5糎円に切り、周囲を縫いしめ縫代を芯にして丸く形づけ糸で留めつけます。

(6) 毛糸をヘヤピンレースで1糎長さの*輪に編みます。



(7) 耳は型紙通りに裁ち切り、布の裏側に糊をつけ、編んだ毛糸を編目の見えないように貼りつけ、耳を糸で留めます。

(8) 帽子は8糎の円に裁ち中央に糊をつけ頭に貼り、両横を糸で胴に留めます。

(9) 3色のウール地を花型に切り両横に並べて糊づけします。

(10) 胴の細い位置にリボンを結びます。

(11) 赤フエルトを0.3糎巾1糎丈に切り、一方の先を丸く切つて口の位置に目打で穴を明け、糊をつけて差し込みます。

紳士

材料 グリーンコーデュロイ25糎巾21糎丈 黒別珍27糎巾9糎丈 赤フエルト5糎四方 マフラー用チエック地3糎巾22糎丈 茶並太毛糸 パイプ用に割箸 茶のラッカー パッキング

作り方

(1)～(5)までは淑女と同じ。

(6) 耳は図のように縫って返します。

(7) 耳の位置に2糎の切込みを入れます

(8) 耳の上部にヒダを一つとり、切り込みに差し入れまつり、裏側奥をくけます。

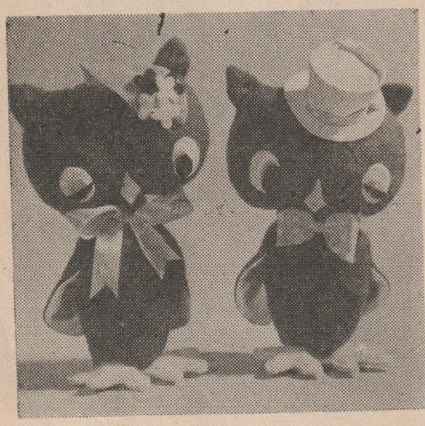
(9) 尾を図のように作り、胴につけます。

(10) 赤フエルトを直径5糎の円に裁ち切り、中央に湯気を当て、親指で静かに押し充分ふくらんだら形がくずれないようにパッキングを詰めておきます。

(11) 頭に毛糸を髪の感じに貼り、その上に帽子をのせてとめます。

(12) パイプは割箸を30糎の長さに切り、小刀でパイプの形に削り、ラッカーで色つけし、乾いたら顔に目打で穴を明け、糊をつけて差し込みます。赤フエルト少々を一緒に舌の感じに差し込んでおきます

(13) チエック地を首に巻き糸でとめます



ふくろう

材料 茶別珍又は化繊地43糎巾15糎丈 帽子用赤フエルト又はウール6糎四方 足用茶フエルト9糎四方 1/2吋ピンクリボン25糎丈 帽子の花飾りと眼に白、黒、水色、紺のフエルト又はウール地少々 パッキング

作り方

(1) 型紙に各0.5糎の縫代をつけて裁ち、胴、羽をミシンで縫つて、表に返します。

(2) 顔と胴にパッキングを詰め、詰め口をまつります。

(3) 顔の下から1.5糎上つた所に目打で穴をあけ胴の先を差し込みまつります。

(4) 図のように羽を胴に正面から見て開いているように浮かせて据え、まつります。

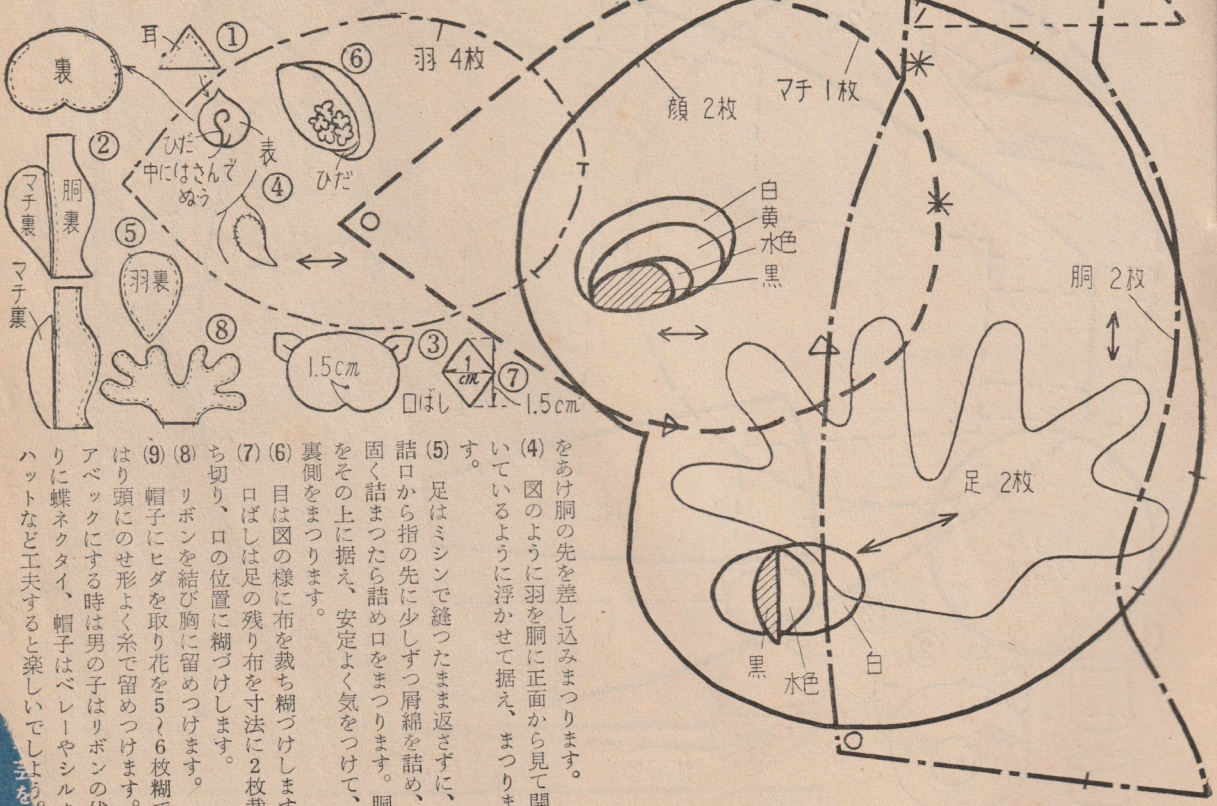
(5) 足はミシンで縫つたまま返さずに、詰口から指の先に少しずつ屑綿を詰め、固く詰まつたら詰め口をまつります。胴をその上に据え、安定よく気をつけて、裏側をまつります。

(6) 目は図の様に布を裁ち糊づけしますロばしは足の残り布を寸法に2枚裁ち切り、口の位置に糊づけします。

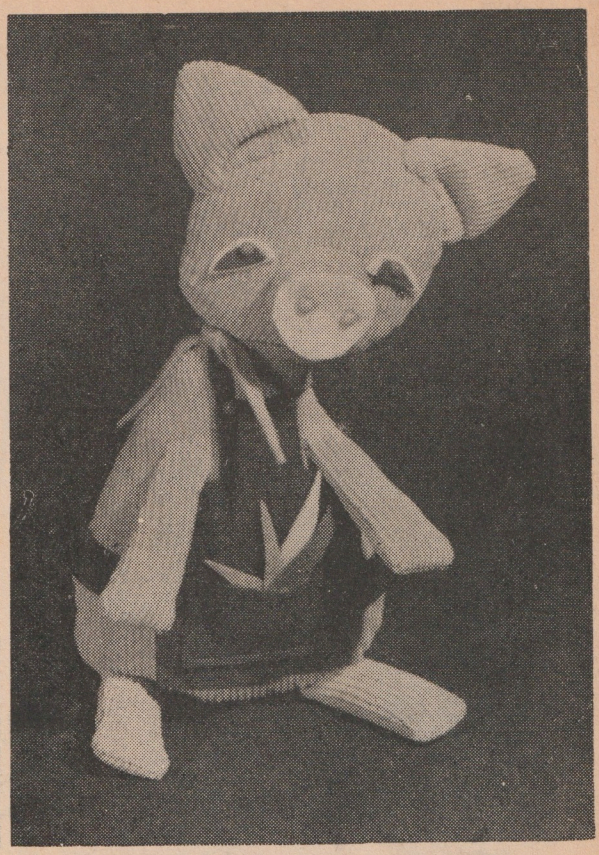
(7) リボンを結び胸に留めつけます。

(8) 帽子にヒダを取り花を5～6枚糊ではり頭にのせ形よく糸で留めつけます。

(9) アベックにする時は男の子はリボンの代りに蝶ネクタイ、帽子はベレーやシルクハットなど工夫すると楽しいでしょう。



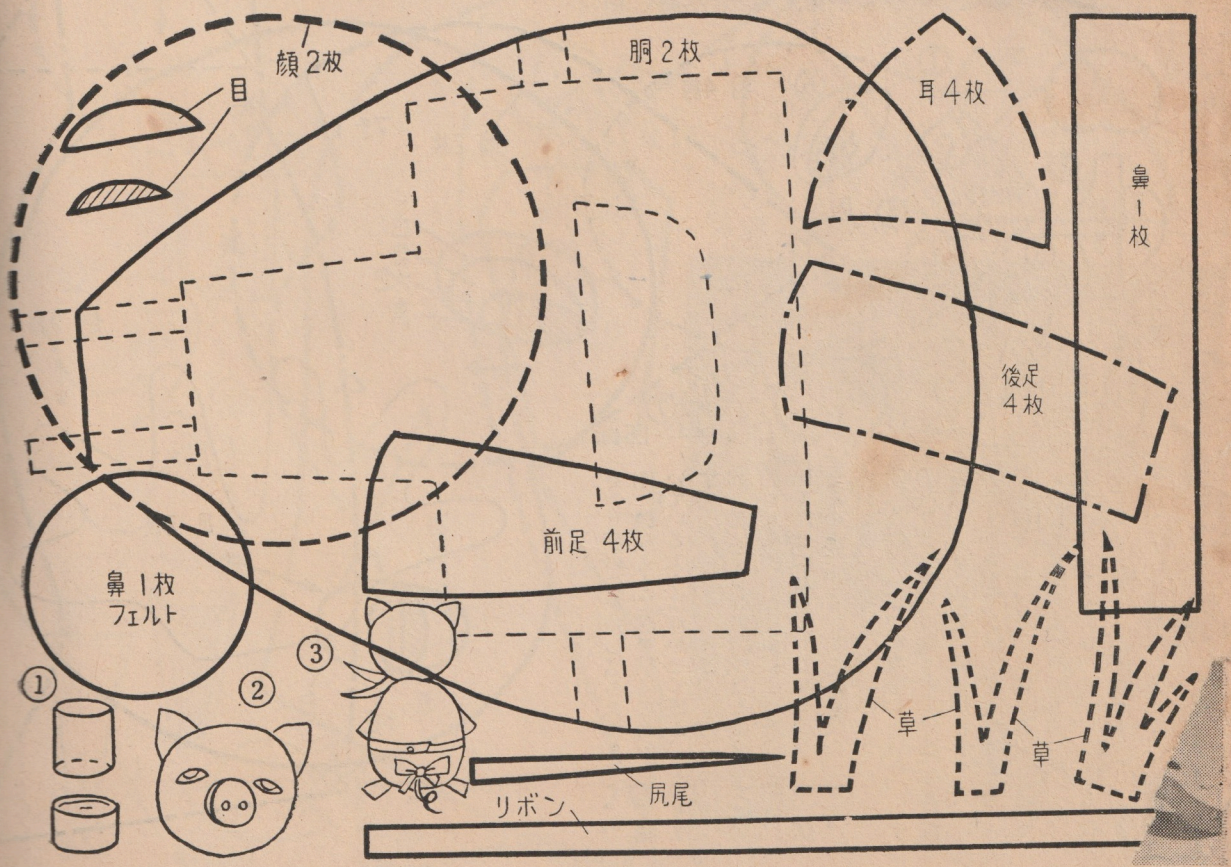
畠に行つたブーちゃん



材料　ピンクコーデュロイ20糎巾30糎丈　グリーンフエルト10糎巾12糎丈　クリーム、草色、ピンク、ブルー、白フエルト少々　赤玉待針2本　グリーン玉待針4本　パッキング

作り方

胴、顔、耳、足を各2枚ずつ縫い合せ耳を除いて全部パッキングを詰めます。頭と胴を接続し、写真を参照して手、足をとりつけます。次に鼻は型紙を円筒型に縫つてパッキングを詰め、両端を縫いちぢめ、フエルトで裁つた鼻先をセメダインで貼つて、待針の赤2本で2図のように中心に止めます。耳、目をつけ、点線でかいたエプロンをフエルトで裁ち着せつけ、ポケットに草を5～6本フエルトで切つてさし込みます。3図のように尻尾をつけ、根元に赤いリボンを結びます。



手芸入門叢書

一つの手芸を一冊で完全にマスターできます

B6判　美本　　各冊定価　80円

——以下各種手芸続刊予定——

手芸に興味のある方のために。
はじめて手芸をなさる方に。
手芸をなさる中学・高校の皆様のために……
雄鶏社の手芸入門叢書は、一つの手芸を一冊で完全にマスターするという目標で、どなたにも楽しみながら美しい作品が作れるように、完全な基礎——基礎から作品まで——優れたデザインの応用作品と、分りやすく編集してあります。
一つずつ、楽しい手芸を身につけて行って下さい。

縫いぐるみの　かわいい動物集

昭和32年3月20日初版
昭和38年10月10日13版

編集兼発行者　武内俊三
印刷者　柳川太郎
印刷所　凸版印刷株式会社
株式会社東京印書館

版権所有
©

東京都中央区日本橋江戸橋1～7
改正定価 200円
発行所　株式会社 雄鶏社
電話（271）2791～2　振替東京 26255

定価200円